

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
2 仮設工事	5 工事用水 6 工事用電力 7 仮囲い等 8 設計GL	2 土・鉄筋・コンクリート工事	10 構造体強度補正值 (6.3.2) ※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温 (°C) 補正值 期 間 (打設日) 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/6 ~ 3/10 11/1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm2 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事
	11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 13 寒中コンクリート (6.11.1) 14 暑中コンクリート (6.12.2) 15 コアミドリ車の受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。						
2 土・鉄筋・コンクリート工事	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 鉄筋の種類 (5.2.1) 4 溶接金網 (5.2.2) 5 コンクリートの種類 (6.2.1) 6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) 7 セメントの類別 (6.3.1) 8 骨材 (6.3.1) 9 混和材料 (6.3.1)	3 防水改修工事	1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 2 既存下地の処理 (3.2.6) 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 5 合成高分子系ルフィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 5 合成高分子系ルフィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 5 合成高分子系ルフィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 5 合成高分子系ルフィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)
	※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 {Fc + 構造体強度補正值(S)} N/mm2 (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○ 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____) ※ 混合剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) ○ 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)						
訂	正	訂	正	訂	正	訂	正



一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No. _____
工事名
菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事

SCALE 1:100 (A2)
No. _____
特記仕様書 (2)

A
2

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
3 防水改修工事	<p>※ 掃除口を設ける (開放性のある自転車置き場のといを除く)</p> <p>○ 養生鉄管を設ける (径 _____ 厚さ _____ 長さ _____)</p> <p>○ 既存といの撤去及び養生 (_____)</p> <p>○ 銅管製といの防露巻 (※ 改修仕様表3.8.4による ○ _____)</p> <p>○ ためたい受金物 (_____)</p> <p>(表3.9.1) (表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面 処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>○ AB-1種 ○ AB-2種</td> <td rowspan="4">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>○ 300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>○ AC-1種 ○ AC-2種</td> </tr> <tr> <td>○ 350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>○ BA-1種 ○ BA-2種</td> </tr> <tr> <td>○ _____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>○ BB-1種 ○ BB-2種</td> </tr> <tr> <td>○ 曲げ材</td> <td>○ _____</td> <td>※ 2.0</td> <td>○ BC-1種 ○ BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ オープン形式</td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> <td>○ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フラット形式</td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> <td>○ _____</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 ○ 行う (範囲 ○ 図示 ○)</p> <p>○ 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※ 図示 ○</p> <p>板材折曲げ形の笠木取付方法 ※ 図示 ○</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 ※ 図示による ○ _____</p> <p>12 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (3.9.3)</p> <p>13 アクリルゴム防水防錆工法</p> <p>水洗(10~15Mpa) ケレン・清掃・下地調整</p> <p>参考品番：アロンQD防錆コート 東亜合成株式会社同等品以上</p> <p>ハゼ部補強材張り(両側50mm幅)</p> <p>密着試験 ※ 行う</p>	種 類	幅	板厚(mm)	表面 処理	備 考	○ 250 形	250	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。	○ 300 形	300	1.8	○ AC-1種 ○ AC-2種	○ 350 形	350	2.0	○ BA-1種 ○ BA-2種	○ _____	_____	_____	○ BB-1種 ○ BB-2種	○ 曲げ材	○ _____	※ 2.0	○ BC-1種 ○ BC-2種		○ オープン形式	○ _____	○ _____	○ C種		○ フラット形式	○ _____	○ _____	○ _____		4 外壁改修工事	<p>(4.1.4)</p> <p>(4.3.5)</p> <p>~(4.3.8)</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <p>○ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>○130</td> </tr> <tr> <td>○ 手動式注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>○50~100</td> <td>○40</td> </tr> <tr> <td>○ 機械式注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>○100~200</td> <td>○70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>○150~250</td> <td>○130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>抜き回数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ○ _____</p> <p>抜き部の補修方法 ○ 図示 ○</p> <p>○ Uカットシール材充填方法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ○ _____</p> <p>ポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法</p> <p>○ パテ状エポキシ樹脂</p> <p>○ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <p>○ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>○130</td> </tr> <tr> <td>○ 手動式注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>○50~100</td> <td>○40</td> </tr> <tr> <td>○ 機械式注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>○100~200</td> <td>○70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>○150~250</td> <td>○130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認</p> <p>○ コア抜き検査</p> <p>抜き回数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ○ _____</p> <p>抜き部の補修方法 ○ 図示 ○</p> <p>○ _____</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 変成シリコン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ コンクリート打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>※ エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.2.4)</p> <p>(4.2.7)</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.3.9)</p> <p>(4.4.9)</p> <p>~(4.4.15)</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>※ エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ モルタル塗替え工法</td> <td>※ 改修仕様表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</td> </tr> </table> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ タイル張替え工法</td> <td>○ 張付けモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 現場調査材料</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 既調合モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.7)</p> <p>~(4.4.8)</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧注入工法	0.2以上1.0未満	※200~300	○130	○ 手動式注入工法	0.2以上0.3未満	○50~100	○40	○ 機械式注入工法	0.3以上0.5未満	○100~200	○70		0.5以上1.0未満	○150~250	○130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧注入工法	0.2以上1.0未満	※200~300	○130	○ 手動式注入工法	0.2以上0.3未満	○50~100	○40	○ 機械式注入工法	0.3以上0.5未満	○100~200	○70		0.5以上1.0未満	○150~250	○130	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル			○ 変成シリコン樹脂			○ ウレタン樹脂		○ タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル			○ ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル			○ ポリマーセメントモルタル		○ モルタル塗替え工法	※ 改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル			○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		○ タイル張替え工法	○ 張付けモルタル			○ 現場調査材料			○ 既調合モルタル			○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>位置 ○ 改修仕様表4.4.2による ○</p> <p>○ 行う ○ 行わない</p> <p>抜き取り部の補修方法 ○ 図示 ○</p> <p>○ セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>外装タイル ○ 密着張り ○ 改良圧着張り</p> <p>外装ユニットタイル ○ マスク張り ○ モザイクタイル張り</p> <p>○ 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ○</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※ 変性シリコン系 ○</p> <p>タイルの種類 ○ 外装タイル ○ ユニットタイル</p> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>フカピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン部分注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>注入工法用材料</p> <p>○ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>○ 充填工法用材料</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.9)</p> <p>~(4.4.15)</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>フカピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン部分注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○		○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○		○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		4 外壁改修工事	<p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.16)</p> <p>○ 目地ひび割れ部改修工法</p> <p>○ 伸縮調整目地改修工法</p> <p>位置 ※ 改修仕様表4.4.2による ○ 図示による</p> <p>寸法(幅×深さ)</p> <p>コナリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ 20mm以上×10mm以上 ○ _____</p> <p>その他 ※ 10mm以上×10mm以上 ○ _____</p> <p>建築補修用注入エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ○ 中粘度形</p> <table border="1"> <tr> <th>ひび割れの幅 (mm)</th> <th>0.2~0.3未満</th> <th>0.3~0.5未満</th> <th>0.5~1.0以下</th> </tr> <tr> <th>注入孔の間隔 (mm)</th> <td>200程度</td> <td>300程度</td> <td>300程度</td> </tr> <tr> <th>注入量 (CC/mm)</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ○ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>○ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認</p> <p>○ コア抜き検査</p> <p>(抜き回数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ○ _____)</p> <p>(抜き部分の補修方法 _____)</p> <p>○ _____</p> <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル</p> <p>○ 行う</p> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>モルタル ○ 現場調査材料</p> <p>○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p>	ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下	注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度	注入量 (CC/mm)				5 目地改修工法	<p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>注入工法用材料</p> <p>○ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>○ 充填工法用材料</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.9)</p> <p>~(4.4.15)</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>フカピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン部分注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○		○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		6 樹脂注入工法	<p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>注入工法用材料</p> <p>○ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>○ 充填工法用材料</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.9)</p> <p>~(4.4.15)</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>フカピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン部分注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○		○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		7 Uカットシール材充填工法	<p>アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>注入工法用材料</p> <p>○ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢28日)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日)</th> <th>吸水性 (72時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(N/mm²)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘調係数 0.50~1.00</p> <p>○ 充填工法用材料</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○</p> <p>(4.1.4)</p> <p>(4.4.5)</p> <p>(4.4.9)</p> <p>~(4.4.15)</p> <p>○ タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>フカピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン部分注入工法</td> <td>※20 ○</td> <td>※20 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フカピン全面注入工法</td> <td>※13 ○</td> <td>※12 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン部分注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※25 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※9 ○</td> <td>※9 ○</td> <td>○</td> <td>※50 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 注入口付フカピン全面注入工法</td> <td>※16 ○</td> <td>※16 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○		○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○		○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○		○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○		8 アンカーピン注入工法	<p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>モルタル ○ 現場調査材料</p> <p>○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p>	9 注入口付アンカーピン注入工法	<p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>モルタル ○ 現場調査材料</p> <p>○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p>	10 モルタル塗替え工法	<p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>○ _____</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度</p> <p>○ _____</p> <p>モルタル ○ 現場調査材料</p> <p>○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 ○ 使用する (形状 _____)</p>
種 類	幅	板厚(mm)	表面 処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 250 形	250	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 300 形	300	1.8	○ AC-1種 ○ AC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 350 形	350	2.0	○ BA-1種 ○ BA-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ _____	_____	_____	○ BB-1種 ○ BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 曲げ材	○ _____	※ 2.0	○ BC-1種 ○ BC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ オープン形式	○ _____	○ _____	○ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ フラット形式	○ _____	○ _____	○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※ 自動式低圧注入工法	0.2以上1.0未満	※200~300	○130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 手動式注入工法	0.2以上0.3未満	○50~100	○40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 機械式注入工法	0.3以上0.5未満	○100~200	○70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	0.5以上1.0未満	○150~250	○130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※ 自動式低圧注入工法	0.2以上1.0未満	※200~300	○130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 手動式注入工法	0.2以上0.3未満	○50~100	○40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 機械式注入工法	0.3以上0.5未満	○100~200	○70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	0.5以上1.0未満	○150~250	○130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 変成シリコン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 充填工法	※ エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ モルタル塗替え工法	※ 改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ タイル張替え工法	○ 張付けモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 現場調査材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 既調合モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
注入量 (CC/mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
広がり	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(cm/s)	(%)	(N/mm ²)	(N/mm ²)	(%)	(N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	フカピン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ フカピン部分注入工法	※16 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※25 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン部分注入工法	※20 ○	※20 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ フカピン全面注入工法	※13 ○	※12 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン部分注入工法	※9 ○	○	※25 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※9 ○	※9 ○	○	※50 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 注入口付フカピン全面注入工法	※16 ○	※16 ○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
訂 正		BCY'S 一級建築士事務所 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	FILE No. 工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事		SCALE A	特記仕様書 (3)	(A2) No. 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																
④ 11 タイル部分張替え工法 及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ～(4.4.8)	<p>施工箇所及び タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <td>形状寸法(mm)</td> <td>生地</td> <td>釉薬</td> <td>役物</td> <td>色</td> <td>耐凍害性</td> <td>耐滑り性</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>○ 図示</td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 無釉</td> <td>○ 有り</td> <td>※ 標準</td> <td>○ 有り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ せつ器</td> <td>○ 施釉</td> <td>○ 無し</td> <td>○ 特注</td> <td>○ 無し</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 陶器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 既調合モルタル () タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う (施工箇所) タイルの見本焼 ※ 行わない ○ 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による接着力試験を行う ○ 行わない</p>	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法	○ 図示	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り				○ せつ器	○ 施釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し				○ 陶器																																																																																																																						
形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法																																																																																																																																										
○ 図示	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り																																																																																																																																												
	○ せつ器	○ 施釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し																																																																																																																																												
	○ 陶器																																																																																																																																																
12 窓下人研面台の 補修	<p>タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 改修仕様表4.4.2による ○ 図示による</p>																																																																																																																																																
⑬ 13 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	<p>○ シール工法 (※ 仕上塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) ※ 塗膜防水 (※ 弾性ウレタン系 ○ エポキシ系)</p> <p>薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 外装薄塗材 S i</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材 S</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装薄塗材 E</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 平坦状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形外装薄塗材 E</td> <td>○ 砂壁状 ○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 平坦状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形外装薄塗材 E (○ 増塗材)</td> <td>○ ゆず肌状 ○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装薄塗材 S</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 外装厚塗材 C</td> <td>○ 吹放し ○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 平坦状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○ 上塗材)</td> <td>○ ひき起こし ○ かき落とし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装厚塗材 S i</td> <td>○ 吹放し ○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 外装厚塗材 E</td> <td>○ 平坦状 ○ 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(○ 上塗材)</td> <td>○ ひき起こし</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 C E</td> <td>○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 S i</td> <td>○ 凹凸状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 複層塗材 R E</td> <td>● ゆず肌状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形複層塗材 C E</td> <td>○ 凸部処理 ○ 凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 C E</td> <td>○ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 E</td> <td>○ 凹凸状</td> <td>(○ 増塗材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防水形複層塗材 R E</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> </table> <p>可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類 (呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材 E</td> <td>○ 平坦状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材 R E</td> <td>○ さざ波状</td> <td>ローラー塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 可とう形改修塗材 C E</td> <td>○ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※ なし ○ _____ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 ※ 行う (参考工法: _____ 製造所: _____) ○ 行わない</p> <p>仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 ○ _____ 仕上塗材の上塗材 溶媒 ※ 水系 ○ _____ 樹脂 ※ アクリル系 ○ _____ 外観 ※ つや有 ○ つやなし ○ メタリック</p> <p>⑭ 14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)</p> <p>既存塗膜の除去方法 ※ 試験施工実施 ○ サンダー工法 ○ 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ○ 30MPa ○ _____) ○ 塗膜はく離工法 (製造所: _____) ○ 水洗い工法 (○ デックブラシ ○ 高圧洗浄機 10～15pa) ● アスベスト含有建材の為、13.7A'対策工事参照</p> <p>既存塗膜の除去範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ○ 既存壁面の (_____%) ● 別図に示す範囲</p>	種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 外装薄塗材 S i	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け			○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り		○ 可とう形外装薄塗材 S	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け			○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り		○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け			○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り			○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り			○ 着色骨材砂壁状	こて塗り吹付け		○ 可とう形外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け			○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り			○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り		○ 防水形外装薄塗材 E (○ 増塗材)	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り			○ 凹凸状	吹付け		○ 外装薄塗材 S	砂壁状	吹付け		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 外装厚塗材 C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け			○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り		(○ 上塗材)	○ ひき起こし ○ かき落とし			○ 外装厚塗材 S i	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け		○ 外装厚塗材 E	○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り		(○ 上塗材)	○ ひき起こし	ローラー塗り		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 複層塗材 C E	○ 凸部処理	吹付け		○ 複層塗材 S i	○ 凹凸状			○ 複層塗材 E				● 複層塗材 R E	● ゆず肌状	ローラー塗り		○ 可とう形複層塗材 C E	○ 凸部処理 ○ 凹凸状	吹付け			○ ゆず肌状	ローラー塗り		○ 防水形複層塗材 C E	○ 凸部処理	吹付け		○ 防水形複層塗材 E	○ 凹凸状	(○ 増塗材)		○ 防水形複層塗材 R E	○ ゆず肌状	ローラー塗り		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○ 可とう形改修塗材 E	○ 平坦状	ローラー塗り		○ 可とう形改修塗材 R E	○ さざ波状	ローラー塗り		○ 可とう形改修塗材 C E	○ ゆず肌状	吹付け	
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																														
○ 外装薄塗材 S i	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																															
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 可とう形外装薄塗材 S	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																															
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																															
	○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																															
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
	○ 着色骨材砂壁状	こて塗り吹付け																																																																																																																																															
○ 可とう形外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																															
	○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																															
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 防水形外装薄塗材 E (○ 増塗材)	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
	○ 凹凸状	吹付け																																																																																																																																															
○ 外装薄塗材 S	砂壁状	吹付け																																																																																																																																															
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																														
○ 外装厚塗材 C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																															
	○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																															
(○ 上塗材)	○ ひき起こし ○ かき落とし																																																																																																																																																
○ 外装厚塗材 S i	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																															
○ 外装厚塗材 E	○ 平坦状 ○ 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																															
(○ 上塗材)	○ ひき起こし	ローラー塗り																																																																																																																																															
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																														
○ 複層塗材 C E	○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																															
○ 複層塗材 S i	○ 凹凸状																																																																																																																																																
○ 複層塗材 E																																																																																																																																																	
● 複層塗材 R E	● ゆず肌状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 可とう形複層塗材 C E	○ 凸部処理 ○ 凹凸状	吹付け																																																																																																																																															
	○ ゆず肌状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 防水形複層塗材 C E	○ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																															
○ 防水形複層塗材 E	○ 凹凸状	(○ 増塗材)																																																																																																																																															
○ 防水形複層塗材 R E	○ ゆず肌状	ローラー塗り																																																																																																																																															
種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																														
○ 可とう形改修塗材 E	○ 平坦状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 可とう形改修塗材 R E	○ さざ波状	ローラー塗り																																																																																																																																															
○ 可とう形改修塗材 C E	○ ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																															

章 項 目	特 記 事 項																																						
④ 15 マステック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	<p>下地処理 下地のひび割れ部等の補修 ○ 図示による 下地調整材 ※ セメント系下地調整材 (JIS A 6916) C-2 ○ ポリマーセメントモルタル ○ 防水形仕上塗材主材 (JIS A 6910 (複層仕上塗材))</p> <p>種別 ○ A種 ※ B種 (表4.6.1)</p>																																						
16 部分改修工法 (4.5.7)	<p>仕上げ塗材の種類 ○ 薄付け仕上塗材 ○ 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 ○ 防水形複層仕上塗材 ○ マステック塗材 施工箇所 ○ 別図に示す範囲 ○ _____</p>																																						
17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	<p>外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 _____ 工法 _____ 外壁用仕上げ塗材の耐候性 ○ _____ 下地準動緩衝材の適用 ○ 適用する ○ 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²) 外壁用仕上げ塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p>																																						
5 1 性能	<p>※ 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p>																																						
5 2 施工数量調査 (1.6.2)	<p>※ 行う (○ 建具金物 ○ ガラス ○ ガラス止め材 ○ _____) ※ 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 ○ 行わない</p>																																						
3 改修工法 (5.1.3)	<p>既存建具を新規建具に改修する場合 ※ かぶせ工法 (○ カバー工法 ○ 持出し工法 ○ ノンシール工法) ○ 撤去工法 (○ はつり工法 ○ 引き抜き工法) 新規建具を設置する場合 新規建具を設ける開口方法 ※ 図示による ○ _____ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による ○ _____</p>																																						
4 防火戸 (5.1.4)	<p>※ 図示による ○ _____ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○ 連動させる (※ 建具表による ○ _____) ○ 連動させない</p>																																						
5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	<p>建具見本の製作 ○ 行う (建具番号 _____) 特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具番号 _____) ○ ブラインドボックス等の再使用 (_____)</p>																																						
6 防犯建物部品 (5.1.7)	<p>開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____)</p>																																						
7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ～(5.2.5)	<p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-3 ○</td> <td>○</td> <td>※ A-4 ○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※ W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>粒見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○ 70</td> <td>○ 100</td> <td>○ 図示 ○</td> </tr> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ BB-1種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○ BB-2種</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td>※ 図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 標準 ○ 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 ※ 図示による ○ _____ 水切り、ぜん板等 ※ 図示による ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○	水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○	粒見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○	種 別	色	施 工 箇 所	○ BB-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○ BB-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○	○	○ 標準 ○ 特注		○	○ 標準 ○ 特注		○	○ 標準 ○ 特注	
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																																				
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																																				
気密性	※ A-3 ○	○	※ A-4 ○																																				
水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○																																				
粒見込み(mm)	※ 図示 ○ 70	○ 100	○ 図示 ○																																				
種 別	色	施 工 箇 所																																					
○ BB-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																					
○ BB-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○																																					
○	○ 標準 ○ 特注																																						
○	○ 標準 ○ 特注																																						
○	○ 標準 ○ 特注																																						

章 項 目	特 記 事 項																				
8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	<p>防虫網 網の種類 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※ 外部可動式 ○ 固定式 線径、網目 ※ 0.25mm以上、16～18メッシュ ○ _____ 防鳥網 ○ 設置する</p>																				
5 9 樹脂製建具 (5.3.2) ～(5.3.5)	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>○ A種</th> <th>○ B種</th> <th>○ C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※ S-4 ○</td> <td>※ S-5 ○</td> <td>※ S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※ A-4 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※ W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※ W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>粒見込み(mm)</td> <td>※ 図示 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ H-7 ○ H-8)</p> <p>ガラス ※ 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○ _____ 表面色 ○ 標準色 ○ 特注色 水切り、ぜん板等 ※ 図示による ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p>	性能等級	○ A種	○ B種	○ C種	耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○	気密性	※ A-4 ○	○		水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○	粒見込み(mm)	※ 図示 ○		
性能等級	○ A種	○ B種	○ C種																		
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○																		
気密性	※ A-4 ○	○																			
水密性	※ W-4 ○	○	※ W-5 ○																		
粒見込み(mm)	※ 図示 ○																				
10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ～(5.4.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密型の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) ○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による) ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ ※ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ _____ mm ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p>																				
11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) ～(5.5.4)	<p>簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない ○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) ○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>鋼板 ※ 表面処理垂れつき鋼板 ○ ピニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 鋼板類の厚さ ※ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ _____ mm 召合せ、縦小口白み板の材質 ※ 鋼板 ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____ 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※ 建具表による</p>																				
12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ～(5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密型の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1) ○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○ T-3) ○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-2 ○ H-3) ○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 ○ D-1 ○ D-2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL ○ _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ</p>																				

章 項 目	特 記 事 項																																																																																													
5 13 建具用金物 (5.8.2) ～(5.8.4)	<p>マスターキーの製作 ※ 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) ○ 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 ※ 3本1組 (室名札付き) ○ _____ 鍵箱 ※ 無 ○ 有</p> <p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○ シリンダー錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7&#246;合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 本締り錠</td> <td>リソグ-カー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○</td> </tr> <tr> <td>○ 空錠</td> <td>○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7&#246;合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>○ グレモン錠</td> <td>レバーノド: 重鉛合金、(○ ステンレス)</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>重鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス、(○ 黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ピボットヒンジ</td> <td>カバー部: ステンレス、(○ 重鉛合金)</td> <td>重鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>○ 自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>○ フロアヒンジ</td> <td>カバー部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>○ ヒンジカバー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>○ 遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>○ ヒンジカバー (ヒンジ型)</td> <td>カバー部: ステンレス、(本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ドアクローザー</td> <td>本体: 7&#246;合金 7-部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>ステンレス、(○ 鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 押棒・押板</td> <td>○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>重鉛合金程度、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7-&#246;カバー</td> <td>鋼 (かみめつき)、(○ ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>重鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)</td> <td>○ おり止め付き</td> </tr> </table> <p>引戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>引戸用錠</td> <td></td> <td>木製建具の場合 リソグ-カー等はステンレス</td> </tr> <tr> <td>○ クレセント</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td>○ 取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>引手類</td> <td></td> <td>木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)</td> </tr> <tr> <td>戸車 (上吊りの場合を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール (上吊りの場合を除く)</td> <td>ステンレス、 (○ 7&#246;合金 ○ 黄銅)</td> <td>黄銅は木製建具用のみ</td> </tr> </table> <p>意 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>クレセント・調整器 ・ ヒンジ等</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td></td> </tr> </table> <p>金属製建具用丁番 ※ 表5.8.2による ○ _____ 樹脂製建具用丁番 ※ 表5.8.3による ○ _____</p> <p>14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ～(5.9.3)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能 ○ 引き戸用駆動装置性能値 ※ 改修仕様表5.9.1による (○ SSLD-1 ○ SSLD-2 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2) ○ 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 ※ 改修仕様表5.9.2による ○ 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7ö合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○	○ 本締り錠	リソグ-カー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○	○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7ö合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 ()	○ グレモン錠	レバーノド: 重鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	重鉛合金程度、(○ ステンレス)		丁番	ステンレス、(○ 黄銅)		○ ピボットヒンジ	カバー部: ステンレス、(○ 重鉛合金)	重鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き	○ フロアヒンジ	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー	○ ヒンジカバー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き	○ ヒンジカバー (ヒンジ型)	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)		○ ドアクローザー	本体: 7ö合金 7-部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	ステンレス、(○ 鋼)		○ 押棒・押板	○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂	○ 取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	重鉛合金程度、(○ ステンレス)		○ 7-öカバー	鋼 (かみめつき)、(○ ステンレス)		戸当り	重鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ おり止め付き	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	引戸用錠		木製建具の場合 リソグ-カー等はステンレス	○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 ()	引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)	戸車 (上吊りの場合を除く)			レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (○ 7ö合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	クレセント・調整器 ・ ヒンジ等	建具製作所の仕様による。													
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																												
○ シリンダー錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7ö合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 () 実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																												
○ 本締り錠	リソグ-カー: ステンレス	実用性能項目 ※ グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○																																																																																												
○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーノド: 7ö合金 (○ ステンレス、○ 黄銅)	○ 取付位置 ()																																																																																												
○ グレモン錠	レバーノド: 重鉛合金、(○ ステンレス)	○ 取付位置 ()																																																																																												
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																													
点検口錠	重鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																													
丁番	ステンレス、(○ 黄銅)																																																																																													
○ ピボットヒンジ	カバー部: ステンレス、(○ 重鉛合金)	重鉛合金は木製建具用のみ																																																																																												
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き																																																																																												
○ フロアヒンジ	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																												
○ ヒンジカバー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き																																																																																												
○ ヒンジカバー (ヒンジ型)	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)																																																																																													
○ ドアクローザー	本体: 7ö合金 7-部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																													
閉鎖順位調整器	ステンレス、(○ 鋼)																																																																																													
○ 押棒・押板	○ ステンレス、○ 黄銅、○ 合成樹脂	○ 取付位置 ()																																																																																												
上げ落し (フランス落し)	重鉛合金程度、(○ ステンレス)																																																																																													
○ 7-öカバー	鋼 (かみめつき)、(○ ステンレス)																																																																																													
戸当り	重鉛合金程度、(○ ステンレス、○ 黄銅)	○ おり止め付き																																																																																												
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																												
引戸用錠		木製建具の場合 リソグ-カー等はステンレス																																																																																												
○ クレセント	建具製作所の仕様による。	○ 取付位置 ()																																																																																												
引手類		木製建具の場合: ステンレス (○ 黄銅)																																																																																												
戸車 (上吊りの場合を除く)																																																																																														
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (○ 7ö合金 ○ 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ																																																																																												
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																												
クレセント・調整器 ・ ヒンジ等	建具製作所の仕様による。																																																																																													

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5	<p>○ 引き戸用検出装置性能値 ※ 改修標仕 表5.9.3による</p> <table border="1"> <tr> <td>放射無線周波数 電磁界耐性</td> <td>耐電圧</td> <td>防 錆</td> <td>防 滴</td> <td>電 源</td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 ※ 建具表による ○ _____ 引き戸検出装置の種類 ○ 表 5.9.4 () による ※ 建具表による タッチスイッチの種類 ○ 無線式タッチスイッチ ○ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便扉 ○ 大形押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ○ 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>○40以下</td> <td>○40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※20以下 ○</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>※15以下 ○</td> <td>※2以下 ○</td> </tr> </table> <p>性能等 _____ 品質・規格 _____</p> <p>種 類 ○ 管理用シャッター (シャッターケース ○ 設ける) 耐風圧強度 () ○ 外壁用防火シャッター(シャッターケース ※ 設ける) 耐風圧強度 () ○ 屋内用防火シャッター(シャッターケース ※ 設ける) ○ 屋内用防煙シャッター(シャッターケース ※ 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 _____ Pa 開閉方式 ※ 電動式(手動併用) ○ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3302</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3312</td> <td>○ Z12又はF12を満足するもの ○</td> </tr> </table> <p>開閉方式 ○ 電動式(手動併用) ※ 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 ※ 図示による ○ _____ 耐風圧強度 _____ Pa スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3312</td> <td>○ Z06又はF06を満足するもの ○</td> <td>○ インターロッキング形</td> </tr> <tr> <td>○ JIS G 3322</td> <td>○ AZ90を満足するもの ○</td> <td>○ オーバーラッピング形</td> </tr> </table> <p>15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p>	放射無線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源	適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を超えるもの	手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○	手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※2以下 ○	材 質	めっきの付着量	○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○	○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○	材 質	めっきの付着量	形 状	○ JIS G 3312	○ Z06又はF06を満足するもの ○	○ インターロッキング形	○ JIS G 3322	○ AZ90を満足するもの ○	○ オーバーラッピング形	5	<p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>建 具 の 種 類</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材(SR-1) ○ グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>○ グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>※ シーリング材(SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ パテ(木製用)</td> </tr> </table> <p>※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>パ タ ー ン</th> <th>防 火 認 定</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ クリア ○ 白()</td> <td>○</td> <td>※ なし</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 乳白 ○ 熱線反射</td> <td>○</td> <td>○ あり</td> </tr> </table> <p>※ 品質規格はJIS A5212 による ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>○ 壁用金属枠及び補強材 _____ ○ カ骨 材質 ※ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 ○ _____ ○ シーリング ※ 表3.7.11による ○ SR-1 ○ PS-1 ○ _____ ○ 化粧目地モルタルの色 ○ 白 ○ グレー ○ 金属製化粧カバー 材質 ○ SUS304 ○ _____ 寸法・形状 ※ 図示による ○ _____</p> <p>○ 目地幅の寸法 ○ 平積みの場合 ※ 8mm以上、15mm以下 ○ _____ ○ 曲面積みの場合 ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径は「5」の幅寸法の1.0倍以上) ○ _____ ○ 伸縮調整目地の位置 ※ 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。 ○ _____</p> <p>21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 ※ A種 ○ B種 代用樹種の適用 ※ 可 ○ 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>○ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 改修標仕5.7.2(2)(イ)による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※ 図示による ○ _____ (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ○ 適用しない ○ 適用する</p> <p>○ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ○ _____</p> <p>○ ふすま 張りの種別 ○ I型 ○ II型 上張り(押入等の裏側以外) ○ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 ※ 19.5mm ○ _____</p> <p>○ 戸ぶすま 表面板の仕上 ※ 図示による ○ _____ 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>○ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ○ _____</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板</p>	建 具 の 種 類	材 質	アルミニウム製	※ シーリング材(SR-1) ○ グレイジングチャンネル	樹脂製	○ グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材(SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種	木製	※ パテ(木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定	○	○	○ クリア ○ 白()	○	※ なし	x	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射	○	○ あり	表面材の合板の種類	規 格 等	備 考	○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)		○ MDF			6	<p>① 揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)</p> <p>2 他の部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>3 既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>工 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ ビニル床シート等</td> <td>○ 下地材の除去</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 合成樹脂塗床材</td> <td>○ 機械的除去工法</td> <td>※ 図示による ○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ フローリング張り床材</td> <td>○ 目荒し工法</td> <td>○ _____</td> </tr> <tr> <td>○ 床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 ※ A種(15%以下) ○ B種(20%以下) 造作材 ※ A種(15%以下) ○ B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">○ 下地用製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等 級</th> <th>含 水 率</th> <th colspan="2">保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1級 ※ 2級</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">○ 造作用製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等 級</th> <th>含 水 率</th> <th colspan="2">保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">○ 広葉樹製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等 級</th> <th>含 水 率</th> <th colspan="2">保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 特等 ※ 1等 ○ 2等 ○</td> <td>※ 10%以下</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>○ JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材 面 の 品 質</th> <th>防 虫 処 理</th> <th>含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ A種 ○ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲() 仕上げ()</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示による ○ 範囲() 仕上げ()</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示による ○ 範囲() 仕上げ()</p> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 ※ 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ○ 行う ○ 行わない) ○ _____</p>	種 別	工 法	施 工 箇 所	○ ビニル床シート等	○ 下地材の除去	※ 図示による ○ _____	○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法	※ 図示による ○ _____	○ フローリング張り床材	○ 目荒し工法	○ _____	○ 床タイル			○ 床組			○ 下地用製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理					○ 1級 ※ 2級				○ 造作用製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理					○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並				○ 広葉樹製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理					○ 特等 ※ 1等 ○ 2等 ○	※ 10%以下			使用箇所	樹 種	寸 法	材 面 の 品 質	防 虫 処 理	含 水 率				※ A種 ○ B種			6	<p>使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 ○ 工事完成までに、「ウッドマイルズ」002京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイルズ002計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。</p> <p>○ 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。</p> <p>※ 京都府木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都府木材規格(KTS)材証明書(発行機関: (一社) 京都府木材組合連合会)を提出すること。</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">○ 造作用集成材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ○ 2等</td> </tr> </table> <p>○ 化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ○ 2等</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">○ 造作用集成材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> <th colspan="2">含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">※ 15%以下 ○</td> </tr> </table> <p>○ 化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸 法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下 ○</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">○ 造作用単板積層材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th colspan="2">防 虫 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工</td> <td colspan="2">○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">○ 造作用単板積層材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>含 水 率</th> <th colspan="2">防 虫 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工</td> <td>※ 14%以下 ○</td> <td colspan="2">○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> </table> <p>○ JAS 3079 (直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ性能 (強度等級)</th> <th>種 別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>樹 種 名</th> <th>接 着 程 度</th> <th>板 面 の 品 質</th> <th>其 他 処 理</th> </tr> <tr> <td>※ 押入れ、 物入れ</td> <td></td> <td>※ 5.5mm ○ _____</td> <td></td> <td>※ 1類 ○ 2類</td> <td>広葉樹 ○ 2等以上 針葉樹 ※ C-D以上 ○ _____</td> <td>○ 防虫処理 ○ 難燃処理 ○ 防炎処理</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>等 級</th> <th>厚 さ</th> <th>樹 種 名</th> <th>接 着 程 度</th> <th>板 面 の 品 質</th> <th>保 存 処 理</th> <th>其 他 処 理</th> </tr> <tr> <td>※ 畳床下 地材、フ ロ ー リ ン グ 張 り 下 地 材</td> <td></td> <td>※ 2級 以上 ○ _____</td> <td>※ 12mm ○ _____</td> <td></td> <td>※ 1類 ○ 特類</td> <td>※ C-D 以上 ○ _____</td> <td></td> <td>○ 防虫処理 ○ 強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>単 板 の 樹 種 名</th> <th>接 着 程 度</th> <th>防 虫 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 特類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th> <th>厚 さ</th> <th>接 着 程 度</th> <th>防 虫 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 2類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 目</th> <th>厚 さ</th> <th>接 着 程 度</th> <th>単 板 の 樹 種 名</th> <th>化 粧 加 工 の 方 法</th> <th>防 虫 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 1類 ○ 2類</td> </tr> </table>	○ 造作用集成材						使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質						※ 1等 ○ 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質							※ 1等 ○ 2等	○ 造作用集成材						使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含 水 率						※ 15%以下 ○		使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸 法	化粧板厚	見付材面の品質	含 水 率							※ 15%以下 ○	○ 造作用単板積層材						使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防 虫 処 理					○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	○ 適用する ○ 適用しない		○ 造作用単板積層材						使用箇所	寸 法	表面の品質	含 水 率	防 虫 処 理				○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	※ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない		施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)								使用箇所	品 名	厚 さ	樹 種 名	接 着 程 度	板 面 の 品 質	其 他 処 理	※ 押入れ、 物入れ		※ 5.5mm ○ _____		※ 1類 ○ 2類	広葉樹 ○ 2等以上 針葉樹 ※ C-D以上 ○ _____	○ 防虫処理 ○ 難燃処理 ○ 防炎処理	使用箇所	品 名	等 級	厚 さ	樹 種 名	接 着 程 度	板 面 の 品 質	保 存 処 理	其 他 処 理	※ 畳床下 地材、フ ロ ー リ ン グ 張 り 下 地 材		※ 2級 以上 ○ _____	※ 12mm ○ _____		※ 1類 ○ 特類	※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 強度等級	使用箇所	品 名	厚 さ	単 板 の 樹 種 名	接 着 程 度	防 虫 処 理						○ 1類 ○ 特類	使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接 着 程 度	防 虫 処 理					○ 1類 ○ 2類	使用箇所	品 目	厚 さ	接 着 程 度	単 板 の 樹 種 名	化 粧 加 工 の 方 法	防 虫 処 理							○ 1類 ○ 2類	<p>訂</p> <p>正</p> <p>BCY'S</p> <p>一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山 本 勝 義</p> <p>FILE No.</p> <p>工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>SCALE</p> <p>A</p> <p>特記仕様書 (5)</p> <p>No. 5</p> <p>DATE</p>
放射無線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
適用戸の総質量(kg)	○40以下	○40を超えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動開き力(N)	※15以下 ○	※20以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動閉じ力(N)	※15以下 ○	※2以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材 質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
材 質	めっきの付着量	形 状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ JIS G 3312	○ Z06又はF06を満足するもの ○	○ インターロッキング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ JIS G 3322	○ AZ90を満足するもの ○	○ オーバーラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
建 具 の 種 類	材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
アルミニウム製	※ シーリング材(SR-1) ○ グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
樹脂製	○ グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	※ シーリング材(SR-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木製	※ パテ(木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○	○	○ クリア ○ 白()	○	※ なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
x	○ 図示	○ 乳白 ○ 熱線反射	○	○ あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
表面材の合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質 (※ 広葉樹 1種 ○ _____) 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ○ ポリエステル化粧合板 ○ メラミン化粧合板 ○ _____ 接着の程度 (○ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ MDF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ ビニル床シート等	○ 下地材の除去	※ 図示による ○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 合成樹脂塗床材	○ 機械的除去工法	※ 図示による ○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ フローリング張り床材	○ 目荒し工法	○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 床組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 下地用製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			○ 1級 ※ 2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ 造作用製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			○ 無節 ○ 上小節 ○ 小節 ○ 並																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ 広葉樹製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	等 級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			○ 特等 ※ 1等 ○ 2等 ○	※ 10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使用箇所	樹 種	寸 法	材 面 の 品 質	防 虫 処 理	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			※ A種 ○ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ 造作用集成材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
						※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ 造作用集成材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				※ 15%以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸 法	化粧板厚	見付材面の品質	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
						※ 15%以下 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ 造作用単板積層材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防 虫 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			○ 表面化粧加工なし ○ 1等 ○ 2等 ○ 3等 ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 造作用単板積層材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
使用箇所	寸 法	表面の品質	含 水 率	防 虫 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		○ 表面化粧加工なし ○ _____ ○ 表面化粧加工あり ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工	※ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	品 名	厚 さ	樹 種 名	接 着 程 度	板 面 の 品 質	其 他 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※ 押入れ、 物入れ		※ 5.5mm ○ _____		※ 1類 ○ 2類	広葉樹 ○ 2等以上 針葉樹 ※ C-D以上 ○ _____	○ 防虫処理 ○ 難燃処理 ○ 防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	品 名	等 級	厚 さ	樹 種 名	接 着 程 度	板 面 の 品 質	保 存 処 理	其 他 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※ 畳床下 地材、フ ロ ー リ ン グ 張 り 下 地 材		※ 2級 以上 ○ _____	※ 12mm ○ _____		※ 1類 ○ 特類	※ C-D 以上 ○ _____		○ 防虫処理 ○ 強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	品 名	厚 さ	単 板 の 樹 種 名	接 着 程 度	防 虫 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					○ 1類 ○ 特類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接 着 程 度	防 虫 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				○ 1類 ○ 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使用箇所	品 目	厚 さ	接 着 程 度	単 板 の 樹 種 名	化 粧 加 工 の 方 法	防 虫 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
						○ 1類 ○ 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

⑥	内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15mm ○</td> <td>※13Pタイプ又は13Mタイプ ○</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ○ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 ※ かつがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1「鉄鋼の垂れめっきの種類」のF種程度の垂れめっきを施したものを ○</p> <p>○ 防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <p>○ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ K2 ○ K3 ○ K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ K2 ○ K3 ○ K4</td> </tr> </table> <p>○ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 薬剤の製造所の仕様による</td> <td>※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 _____</p> <p>○ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 ※ 行う (範囲:ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理 K) ○ 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		※15mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分		○ K2 ○ K3 ○ K4		○ K2 ○ K3 ○ K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※ 薬剤の製造所の仕様による	※ JIS K 15711に適合又は同等品		○	○
	使用箇所	厚さ	各種区分																																						
		※15mm ○	※13Pタイプ又は13Mタイプ ○																																						
	使用箇所	等級	厚さ																																						
	使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																			
	適用部材	保存処理性能区分																																							
		○ K2 ○ K3 ○ K4																																							
		○ K2 ○ K3 ○ K4																																							
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																							
	※ 薬剤の製造所の仕様による	※ JIS K 15711に適合又は同等品																																							
	○	○																																							
6	軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)	<p>野線等の種類 屋内 ※ 19型 ○ 25型 (表6.6.1)</p> <p>屋外 ○ 19型 ※ 25型</p> <p>野線受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm</p> <p>周辺部の端からの寸法 _____ mm</p> <p>野線の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 ※ 有り ○ 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 ※ 再利用しない ○ 再利用する</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 ○ 行う (_____ 箇所以上、 _____ 箇所) ○ 行わない</p> <p>開口補強</p> <p>つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ○ _____</p> <p>天井のふところの補強</p> <p>(1.5m以上3m以下) ※ 改修標仕6.6.4(8)による ○ _____</p> <p>(3mを超える) ※ 図示による ○ _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない</p>																																							
7	軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	<p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1)</p> <p>※ 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ _____</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示による ○ _____</p>																																							
⑧	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)	<p>● ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>○ 単層ビニル床シート</td> <td>TS</td> <td>○ 2.5</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 熱溶接</td> <td>※ 仕上表による</td> </tr> <tr> <td>※ 複層ビニル床シート</td> <td>FS</td> <td>○ 2.0</td> <td>○ マーブル</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>○ 発泡複層ビニル床シート</td> <td>HS</td> <td>○</td> <td>○ 柄物</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ クッションフロア</td> <td>KS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	○ 単層ビニル床シート	TS	○ 2.5	※ 無地	※ 熱溶接	※ 仕上表による	※ 複層ビニル床シート	FS	○ 2.0	○ マーブル	○		発泡層有	○ 発泡複層ビニル床シート	HS	○	○ 柄物	○		○ クッションフロア	KS										
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																			
発泡層無	○ 単層ビニル床シート	TS	○ 2.5	※ 無地	※ 熱溶接	※ 仕上表による																																			
	※ 複層ビニル床シート	FS	○ 2.0	○ マーブル	○																																				
発泡層有	○ 発泡複層ビニル床シート	HS	○	○ 柄物	○																																				
	○ クッションフロア	KS																																							

⑥	内装改修工事	<p>○ ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>※ コボ「ジョイント」床タイル</td> <td>KT</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 単層ビニル床タイル</td> <td>TT</td> <td>○ 2.0</td> <td></td> <td>○ 300×300</td> <td>○ 450×450</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">置敷形</td> <td>○ 複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>○ 2.0</td> <td>○ 無地</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 2.5</td> <td>○ 柄物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 3.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 置敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>○ 4.0</td> <td></td> <td>○ 600×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>FOB</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 帯電防止床シート ○ 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>※ 体積抵抗値 1.0×10⁹ Ω以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 塩化ビニル系</td> <td>※ 300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ レジンコンクリート系</td> <td>○ 150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 磁器又はセラミックタイル</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 防滑性床シート ○ 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 軟質 ○ 硬質</td> <td>※ 60 ○ 75 ○ 100</td> <td>※ 1.5 ○ 2.0</td> </tr> </table> <p>○ ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 単層品 ○ 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用</td> <td>※ 無地</td> <td>※ ト「ド」工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○ つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 「リッパ」工法</td> <td>○ 適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 一種</td> <td>※ ループバイル</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 二種</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※ 市松敷き ○ _____</p> <p>階段部分 ※ 模様流し ○ _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ _____</p>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接着形	※ コボ「ジョイント」床タイル	KT	※ 2.0				○ 単層ビニル床タイル	TT	○ 2.0		○ 300×300	○ 450×450	置敷形	○ 複層ビニル床タイル	FT	○ 2.0	○ 無地					○ 2.5	○ 柄物					○ 3.0					○ 置敷きビニル床タイル	FOA	○ 4.0		○ 600×500			○ 薄型置敷きビニル床タイル	FOB	○				種類	性能	厚さ (mm)	○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下		種類	形状	備考	○ 塩化ビニル系	※ 300mm角		○ レジンコンクリート系	○ 150mm角		○ 磁器又はセラミックタイル	○		種類	厚さ (mm)	備考	○			種類	寸法	厚さ (mm)	○			種類	高さ (mm)	厚さ (mm)	○ 軟質 ○ 硬質	※ 60 ○ 75 ○ 100	※ 1.5 ○ 2.0	色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)		○ 単層品 ○ 積層品			種類	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	○ A種			○ 適用	※ 無地	※ ト「ド」工法		○ B種				○	○ つづり縫い		○ C種							バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			○ 「リッパ」工法	○ 適用				○ 全面接着工法			種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	※ 一種	※ ループバイル	※ 500×500	※ 6.5		○ 二種	○	○	○	
	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																						
	接着形	※ コボ「ジョイント」床タイル	KT	※ 2.0																																																																																																																																																									
		○ 単層ビニル床タイル	TT	○ 2.0		○ 300×300	○ 450×450																																																																																																																																																						
	置敷形	○ 複層ビニル床タイル	FT	○ 2.0	○ 無地																																																																																																																																																								
				○ 2.5	○ 柄物																																																																																																																																																								
				○ 3.0																																																																																																																																																									
		○ 置敷きビニル床タイル	FOA	○ 4.0		○ 600×500																																																																																																																																																							
		○ 薄型置敷きビニル床タイル	FOB	○																																																																																																																																																									
	種類	性能	厚さ (mm)																																																																																																																																																										
○	※ 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下																																																																																																																																																												
種類	形状	備考																																																																																																																																																											
○ 塩化ビニル系	※ 300mm角																																																																																																																																																												
○ レジンコンクリート系	○ 150mm角																																																																																																																																																												
○ 磁器又はセラミックタイル	○																																																																																																																																																												
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																											
○																																																																																																																																																													
種類	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																											
○																																																																																																																																																													
種類	高さ (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																											
○ 軟質 ○ 硬質	※ 60 ○ 75 ○ 100	※ 1.5 ○ 2.0																																																																																																																																																											
色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																																																																																																																										
	○ 単層品 ○ 積層品																																																																																																																																																												
種類	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																							
○ A種			○ 適用	※ 無地	※ ト「ド」工法																																																																																																																																																								
○ B種				○	○ つづり縫い																																																																																																																																																								
○ C種																																																																																																																																																													
バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																									
		○ 「リッパ」工法	○ 適用																																																																																																																																																										
		○ 全面接着工法																																																																																																																																																											
種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																									
※ 一種	※ ループバイル	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																										
○ 二種	○	○	○																																																																																																																																																										
9	カーペット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)	<p>○ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td></td> <td></td> <td>○ 適用</td> <td>※ 無地</td> <td>※ ト「ド」工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○ つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 「リッパ」工法</td> <td>○ 適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 一種</td> <td>※ ループバイル</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 二種</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※ 市松敷き ○ _____</p> <p>階段部分 ※ 模様流し ○ _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ _____</p>	種類	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	○ A種			○ 適用	※ 無地	※ ト「ド」工法		○ B種				○	○ つづり縫い		○ C種							バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			○ 「リッパ」工法	○ 適用				○ 全面接着工法			種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	※ 一種	※ ループバイル	※ 500×500	※ 6.5		○ 二種	○	○	○																																																																																																		
種類	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																							
○ A種			○ 適用	※ 無地	※ ト「ド」工法																																																																																																																																																								
○ B種				○	○ つづり縫い																																																																																																																																																								
○ C種																																																																																																																																																													
バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																									
		○ 「リッパ」工法	○ 適用																																																																																																																																																										
		○ 全面接着工法																																																																																																																																																											
種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																									
※ 一種	※ ループバイル	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																										
○ 二種	○	○	○																																																																																																																																																										
10	合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)	<p>厚膜型塗床材</p> <p>○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</p> <p>※ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ</p> <p>塗厚 (mm) ○ _____</p> <p>○ エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>※ 薄膜流しのべ工法 (○ 平滑 ○ 防滑)</p> <p>○ 厚膜流しのべ工法 (○ 平滑 ○ 防滑)</p> <p>○ 樹脂モルタル工法 (○ 平滑 ○ 防滑)</p> <p>薄膜型塗床材</p> <p>○ エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p>																																																																																																																																																											

⑥	内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.11.2(2)による</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○</td> <td></td> <td>釘留め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ ド1等</td> <td>○</td> <td>○ 15</td> <td>○ 表6.11.1</td> <td>○ 根太張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 12</td> <td>○ 表6.11.3</td> <td>○ 直張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 8</td> <td>○ 表6.11.5</td> <td>○ 接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 8</td> <td></td> <td>○ 接着工法</td> <td>○ 防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>※ ド1等</td> <td>○</td> <td>○ 15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 1×6タイプ</td> <td></td> <td>○ 8</td> <td>釘留め工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ フローリング</td> <td>※ なら</td> <td>○ 15</td> <td>○ 根太張り工法</td> <td>○ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボードタイプ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 直張り工法</td> <td>○ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 直張り工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸補修材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ _____</p> <p>仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種</p> <p>○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地そのままワックス塗り ○ _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 (KT- _____)</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: ○ C1 ○ C2)</p> <p>13 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>表面への化粧張り等の加工 ※ 図示による ○ _____</p> <p>種別 ※ 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td>○ セッコウボード (GB-R)</td> <td>※ 12.5 (不燃)</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 化粧セッコウボード (GB-D)</td> <td>○ 杉板模様</td> <td>○ 12.5 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ トラバーチン模様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(化粧下地は専用のものとする)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)</td> <td>○ トラバーチン模様</td> <td>※ 9.5 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 模様なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ シージングセッコウボード (GB-S)</td> <td>○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 強化セッコウボード (GB-F)</td> <td>○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール吸音ボード (RW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ グラスウール吸音ボード (GW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 吸音あきせッコウボード (GB-P)</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ● 6.0 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による ※ 1.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 難燃木セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 断熱木セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 火山性ガラス質被覆層板</td> <td>○ 研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 防虫処理 ○ 行う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理 ○ 行う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防虫処理 ○ 行う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3)</p> <p>○ A種 ○ B種</p> <p>セッコウボードの目地処理 (表6.13.5)</p> <p>○ 継目処理 ○ 突付け ○ 目透かし</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5)</p> <p>○ ベベルエッジ ○ スクエアエッジ</p>	種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	○ フローリング	※ なら	○		釘留め工法		※ ド1等	○	○ 15	○ 表6.11.1	○ 根太張り工法				○ 12	○ 表6.11.3	○ 直張り工法				○ 8	○ 表6.11.5	○ 接着工法		○ フローリング	※ なら	○ 8		○ 接着工法	○ 防水処理足金物付	※ ド1等	○	○ 15						○				種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	○ 1×6タイプ		○ 8	釘留め工法			○ フローリング	※ なら	○ 15	○ 根太張り工法	○ A種		ボードタイプ	○	○		○ B種					○ 直張り工法	○ C種					○ 直張り工法						○ 接着工法			種類	規格	厚さ (mm)	等	○ セッコウボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃)	○ 9.5 (準不燃)		○ 化粧セッコウボード (GB-D)	○ 杉板模様	○ 12.5 (不燃)			○ トラバーチン模様				(化粧下地は専用のものとする)			○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様	※ 9.5 (不燃)			○ 模様なし			○ シージングセッコウボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)			○ 強化セッコウボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)			○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○			○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○			○ 吸音あきせッコウボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)			○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)				立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)				軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)				立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)			● けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ● 6.0 ○			○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2			○ 難燃木セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15			○ 断熱木セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15			○ 火山性ガラス質被覆層板	○ 研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)			○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種				板面の品質 防虫処理 ○ 行う			○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度				化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理 ○ 行う			○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法				表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防虫処理 ○ 行う			○ その他下張り用合板			
	種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																																						
	○ フローリング	※ なら	○		釘留め工法																																																																																																																																																																																																							
	※ ド1等	○	○ 15	○ 表6.11.1	○ 根太張り工法																																																																																																																																																																																																							
			○ 12	○ 表6.11.3	○ 直張り工法																																																																																																																																																																																																							
			○ 8	○ 表6.11.5	○ 接着工法																																																																																																																																																																																																							
	○ フローリング	※ なら	○ 8		○ 接着工法	○ 防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																						
	※ ド1等	○	○ 15																																																																																																																																																																																																									
			○																																																																																																																																																																																																									
	種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																																						
○ 1×6タイプ		○ 8	釘留め工法																																																																																																																																																																																																									
○ フローリング	※ なら	○ 15	○ 根太張り工法	○ A種																																																																																																																																																																																																								
ボードタイプ	○	○		○ B種																																																																																																																																																																																																								
			○ 直張り工法	○ C種																																																																																																																																																																																																								
			○ 直張り工法																																																																																																																																																																																																									
			○ 接着工法																																																																																																																																																																																																									
種類	規格	厚さ (mm)	等																																																																																																																																																																																																									
○ セッコウボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃)	○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																										
○ 化粧セッコウボード (GB-D)	○ 杉板模様	○ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																										
	○ トラバーチン模様																																																																																																																																																																																																											
	(化粧下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																											
○ 不燃積層セッコウボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様	※ 9.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																										
	○ 模様なし																																																																																																																																																																																																											
○ シージングセッコウボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																											
○ 強化セッコウボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																											
○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○																																																																																																																																																																																																											
○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○																																																																																																																																																																																																											
○ 吸音あきせッコウボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																											
○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)																																																																																																																																																																																																											
	立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)																																																																																																																																																																																																											
	軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃)																																																																																																																																																																																																											
	立休模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)																																																																																																																																																																																																											
● けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) ○ 8.0 ● 6.0 ○																																																																																																																																																																																																											
○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2																																																																																																																																																																																																											
○ 難燃木セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																																																																																																																																																											
○ 断熱木セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																																																																																																																																																											
○ 火山性ガラス質被覆層板	○ 研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○) ○ 無研磨品 (○ 3 ○ 6 ○ 9 ○ 9.5 ○)																																																																																																																																																																																																											
○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																																																																											
	板面の品質 防虫処理 ○ 行う																																																																																																																																																																																																											
○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																											
	化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理 ○ 行う																																																																																																																																																																																																											
○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																											
	表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防虫処理 ○ 行う																																																																																																																																																																																																											
○ その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																												
14	壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)	<p>防火性能・種類・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>防火性能</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.4)</p> <p>コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.5)</p> <p>せっこうボード面及びその他のボード面 ○ A種 ※ B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 ○ アルミニウム製 ○ 塩化ビニル製</p>	施工箇所	防火性能	品質・規格																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	防火性能	品質・規格																																																																																																																																																																																																										
15	天井廻り縁	<p>モルタル ○ 現場調合材料</p> <p>○ 既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材</p> <p>○ 設ける (形状: _____)</p> <p>床目地 ○ 設ける ○ 設けない</p> <p>目地の種類 ※ 押目地 ○ _____</p> <p>目地割り ※ 2m程度 ○ _____</p> <p>最大目地間隔 ※ 3m程度 ○ _____</p>																																																																																																																																																																																																										
16	モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)	<p>伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ _____</p> <p>壁面 ※ 図示による ○ _____</p> <p>タイルの試験張り ○ 行わない ○ 行う</p> <p>タイルの見本焼 ○ 行わない ○ 行う</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う</p> <p>接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・目地の種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 無釉</td> <td>○ 有り</td> <td></td> <td>○ 有り</td> <td>※ 標準</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 施釉</td> <td>○ 無し</td> <td></td> <td>○ 無し</td> <td>○ 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ セツ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 無釉</td> <td>○ 有り</td> <td></td> <td>○ 有り</td> <td>※ 標準</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 施釉</td> <td>○ 無し</td> <td></td> <td>○ 無し</td> <td>○ 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ セツ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 磁器</td> <td>○ 無釉</td> <td>○ 有り</td> <td></td> <td>○ 有り</td> <td>※ 標準</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 陶器</td> <td>○ 施釉</td> <td>○ 無し</td> <td></td> <td>○ 無し</td> <td>○ 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ セツ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>○ 密着張り ○ 改良接着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>○ マスク張り ○ モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>○ 既調合モルタル _____</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ○ 目荒し工法 ○ _____</p>	施工箇所・形状・目地の種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他			○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準					○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注					○ セツ器										○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準					○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注					○ セツ器										○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準					○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注					○ セツ器																																																																																																													
施工箇所・形状・目地の種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他																																																																																																																																																																																																			
		○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準																																																																																																																																																																																																					
		○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注																																																																																																																																																																																																					
		○ セツ器																																																																																																																																																																																																										
		○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準																																																																																																																																																																																																					
		○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注																																																																																																																																																																																																					
		○ セツ器																																																																																																																																																																																																										
		○ 磁器	○ 無釉	○ 有り		○ 有り	※ 標準																																																																																																																																																																																																					
		○ 陶器	○ 施釉	○ 無し		○ 無し	○ 特注																																																																																																																																																																																																					
		○ セツ器																																																																																																																																																																																																										
17	タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)	<p>塗厚 (mm) ○ 10 ○ 15 ○ _____</p>																																																																																																																																																																																																										
18	セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)	<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ 図示 ○ _____ (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>○ RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂れめっき鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及び押出成形セメント面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">せっこうボード及びその他「ド」面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> </table>	素地	種別	備考	木部	○ RA種		※ 不透明塗料塗りの場合はRB種		○ RC種		鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種		○ RC種		○ RC種		垂れめっき鋼面	○ RA種 ※ RB種		○ RC種		○ RC種		モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種		コンクリート面及び押出成形セメント面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種		せっこうボード及びその他「ド」面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種																																																																																																																																																														
素地	種別	備考																																																																																																																																																																																																										
木部	○ RA種																																																																																																																																																																																																											
	※ 不透明塗料塗りの場合はRB種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
垂れめっき鋼面	○ RA種 ※ RB種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																										
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
コンクリート面及び押出成形セメント面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																										
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
せっこうボード及びその他「ド」面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																																																																																																																																																																																										
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											
	○ RC種																																																																																																																																																																																																											

⑦	内装改修工事	<p>SCALE</p> <p>A</p> <p>特記仕様書 (6)</p> <p>No. 6</p>																																														
	①	塗装材料 (7.1.3)	<p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____</p>																																													
	②	下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)	<p>塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ 図示 ○ _____ (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>○ RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂れめっき鋼面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及び押出成形セメント面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">せっこうボード及びその他「ド」面</td> <td>○ RA種 ※ RB種</td> <td>ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ RC種</td> <td></td> </tr> </table>	素地	種別	備考	木部	○ RA種		※ 不透明塗料塗りの場合はRB種		○ RC種		鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種		○ RC種		○ RC種		垂れめっき鋼面	○ RA種 ※ RB種		○ RC種		○ RC種		モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種		コンクリート面及び押出成形セメント面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種		せっこうボード及びその他「ド」面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない	○ RC種		○ RC種	
	素地	種別	備考																																													
	木部	○ RA種																																														
		※ 不透明塗料塗りの場合はRB種																																														
		○ RC種																																														
	鉄鋼面	○ RA種 ※ RB種																																														
		○ RC種																																														
		○ RC種																																														
垂れめっき鋼面	○ RA種 ※ RB種																																															
	○ RC種																																															
	○ RC種																																															
モルタル及びコンクリート面及びALCパネル面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																														
	○ RC種																																															
	○ RC種																																															
コンクリート面及び押出成形セメント面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																														
	○ RC種																																															
	○ RC種																																															
せっこうボード及びその他「ド」面	○ RA種 ※ RB種	ひび割れ部の補修 ○ 適用する ○ 適用しない																																														
	○ RC種																																															
	○ RC種																																															

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項		
7 塗装改修工事	3 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2)~(表7.3.7) 種別 下地面等 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ○B種 透明塗料塗りの場合 ○A種 ※B種 鉄鋼面 (DP以外) ○A種 ○B種 ※C種 鉄鋼面 (DP) ○A種 ※B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 ○A種 ○B種 珪素面及びせっこう'スチ-面 (DP) ○A種 ※B種 コンクリ-面 (DP以外) 及びALC'珪素面 ○A種 ※B種 押出成形セメント板面及びコンクリ-面 (DP) ○A種 ○B種 コンクリ-面 (DPのみ) ○A種 ※B種 せっこう'スチ-面及び 目地:継目処理工法 ※A種 ○B種 その他の'スチ-面 目地:継目処理工法以外 ○A種 ※B種	8 1 耐震補強工事 (鉄筋工事)	1 鉄筋の種類 (8.2.1)	(表8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備 考 ※SD295 D16以下 ※SD345 D19以上 ○ ※SD295はF _c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	8 1 耐震補強工事 (コンクリ-工事)	10 無筋コンクリ- (8.11.1) (8.11.2)	コンクリ-の種類 ※普通コンクリ- ○ 設計基準強度 ※18N/mm ² ○ スラブ ※15cm又は18cm ○ セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ○図示による()	
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 表地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 SOP 塗替え ○A種 ※C種 ○ (工程の種類は) 新規見え掛り ○A種 ※A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ ○A種 ※B種 ○ EP-G 塗替え ○A種 ※B種 ※C種 ○ (工程の種類は) 新規見え掛り ○A種 ※B種 ※A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ ○A種 ※B種 ※B種 ○ DP 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○B種(下地調整) ○C種(下地調整) (工程の種類は) (a)による 表7.4.4) 新規 7.4.2(1)(イ) ○A種 (a)による 亜鉛めっき鋼面 SOP 塗替え ※A種 ○B種 ※C種 ○ (工程の種類は) 鋼製建具等 ※A種 ○B種 ※A種 ○ 表7.4.5) 規 その他 ※B種 ○ ※B種 ○ EP-G 塗替え ○C種 ○ ※C種 ○ (工程の種類は) 鋼製建具等 ○C種 ○ ※A種 ○ 表7.4.5) 規 その他 ○C種 ○ ※B種 ○ DP 塗替え ○B種 ○ - (工程の種類は) 新規 ○B種 ○ - 表7.4.6)		2 溶接金網(8.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)		3 鉄筋の継手及び定着(8.3.4)(8.4.2)(8.4.3)	部 位 接 合 方 法 径(mm) ○ ○ 重ね継手 ○ガス圧接継手 D19以上 ○ ○ 機械式継手 ○溶接継手 ○ ○ 重ね継手 ○ガス圧接継手 D16以下 ○ ○ 機械式継手 ○溶接継手 ○ 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※構造図による 施工完了後の継手部の試験 ※行う ○行わない 不合格となった継手部への措置等 ※監督職員と協議する ○ 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき ※構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 ※行う ○行わない 不合格となった溶接部への措置等 ※監督職員と協議する ○ 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※構造図による○ ○ 鉄筋継手位置 ※構造図による ○表8.3.3による ○ 鉄筋の定着長さ ※構造図による ○表8.3.4による ○ 機械式定着工法 適用箇所、種類 ※構造図による ○ 帯筋組立の形、継手及び定着 ※構造図による	11 コンクリ-特-車の 過積載防止対策等
5 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	5 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1)~(表7.13.1) 記号 名称 種 別 SOP 合成樹脂脂系 木部 新規外部 ※A種 ○B種 ○C種 ペイント塗り 新規内部 ○A種 ※B種 ○C種 種類 塗替え ○A種 ※B種(外部の場合)工程3. ※1種 工程4は行わない) ○C種 ○ 鉄鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※A種 ○B種 ○C種 塗替え その他塗替え ○A種 ※B種 ○C種 ・新規	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(8.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※構造図による ○表8.3.6による(次の2項目のかぶり厚さを除く。) ○軽量コンクリ-で土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○埋物の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 機械式継手及び溶接継手のあき ○	4 構造体用モルタル (8.2.6)	モルタル圧縮強度 フロー値	8 1 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事)	1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)	○ 金属系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____ 径 _____ 埋込み長さ _____ セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ○ 接合筋 種類 _____ 長さ _____ 径 _____ ○ 接着系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____ 種類 ※ カプセル型回転・打撃式 ○ アンカー筋 ※ 改修仕様表8.2.1の異形棒鋼 種類 _____ 径 _____ 埋込み長さ _____ 新設壁内への定着長さ _____ 埋め込み配管等の探査 範囲 ※ あと施工アンカー施工部分全て 方法 ※ 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に ○ 図示による
	2 鉄骨の製作工場 (8.1.5)	○ 監督職員の承諾する工場 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を 取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (O S O H O M O R O J) グレード以上	2 普通コンクリ-の材料 (8.2.5)	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントの形種(施工箇所 _____) ○シリアセメント ○フライアッシュセメントのB種(施工箇所 _____)	5 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8)	合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「コンクリ-型枠用合板の規格」による合板 ○ 合板の材質 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ(mm) ※ 12 ○ 打放し仕上げのせき板 ※合板せき板を用いる場合 (表8.1.4) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 ○ A種 ※8.2.7(2)(7) ○ ○ B種 ※8.2.7(2)(4) ○ ○ C種 ※8.2.7(2)(4) ○ ○ 合板せき板を用いない場合 せき板の材料 _____ コンクリ-の仕上げの平たんさ 種 別 適 用 箇 所 ○ a種 _____ ○ b種 _____ ○ c種 _____ スリーブの材種 (表8.2.6) 適 用 箇 所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 ※つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、 つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 ※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU) 上記以外の円形スリーブ ※溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) ○ 円形スリーブ(溶融亜鉛めっき鋼板)は、筒形の両側を外型に折り曲げてつばを設ける 硬質ポリ塩化ビニル管は、防災区画を貫通する場合には使用しない。 外部に露する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示による ○ 20mm シアコネクタ-とセパレータ-の兼用 ○ 可 ○ 不可		2 鉄骨製作工場における施工管理 技術者(8.1.6)	○ 適用する ○ 適用しない
	6 コンクリ-の試験 (8.8.2) ~ (8.8.5)	※フレッシュコンクリ-の試験 ○ 省略する	1 コンクリ-の強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリ-の種類 ※ I類 ○ II類 ○ 普通コンクリ- 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 構造体 基礎 ○24 ○ ○18 ○ 上部 ○24 ○ ○18 ○ ○ 軽量コンクリ- 打 設 部 位 (適用箇所) F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 ○21 ○ ○21 ○ ※構造体コンクリ-の発注強度は以下のとおりとする。 [F _c + 構造体強度補正值(S)] N/mm ² (標準6.14.1によるもの及び土間コンクリ-は構造体強度補正は行わない)	6 暑中コンクリ- (8.10.2)	※暑中における構造強度補正值(S)	3 鋼材の種類 (8.2.8)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 _____ JIS G 3101 SM400A _____ JIS G 3106 SN400A _____ JIS G 3136 ※ 図示による	
	7 軽量コンクリ- (8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可 種類 ○ 1種 ○ 2種 気乾単位容積質量 _____ t/m ³	2 普通コンクリ-の強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	○ 普通コンクリ- 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 構造体 基礎 ○24 ○ ○18 ○ 上部 ○24 ○ ○18 ○ ○ 軽量コンクリ- 打 設 部 位 (適用箇所) F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 ○21 ○ ○21 ○ ※構造体コンクリ-の発注強度は以下のとおりとする。 [F _c + 構造体強度補正值(S)] N/mm ² (標準6.14.1によるもの及び土間コンクリ-は構造体強度補正は行わない)	7 軽量コンクリ- (8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可 種類 ○ 1種 ○ 2種 気乾単位容積質量 _____ t/m ³	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 ○トルシア高力ボルト(建築基準法の認定品) ○ J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び _____ すべり係数試験対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) ○ 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量 _____	
	8 暑中コンクリ- (8.10.2)	※暑中における構造強度補正值(S)	1 コンクリ-の強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリ-の種類 ※ I類 ○ II類 ○ 普通コンクリ- 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 構造体 基礎 ○24 ○ ○18 ○ 上部 ○24 ○ ○18 ○ ○ 軽量コンクリ- 打 設 部 位 (適用箇所) F _c (N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 ○21 ○ ○21 ○ ※構造体コンクリ-の発注強度は以下のとおりとする。 [F _c + 構造体強度補正值(S)] N/mm ² (標準6.14.1によるもの及び土間コンクリ-は構造体強度補正は行わない)	8 暑中コンクリ- (8.10.2)	※暑中における構造強度補正值(S)	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 ○トルシア高力ボルト(建築基準法の認定品) ○ J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び _____ すべり係数試験対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) ○ 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量 _____	
	9 寒中コンクリ- (8.11.1)	※予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第11節 (寒中コンクリ-)による。	2 普通コンクリ-の材料 (8.2.5)	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントの形種(施工箇所 _____) ○シリアセメント ○フライアッシュセメントのB種(施工箇所 _____)	9 寒中コンクリ- (8.11.1)	※予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第11節 (寒中コンクリ-)による。	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 ○トルシア高力ボルト(建築基準法の認定品) ○ J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び _____ すべり係数試験対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) ○ 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量 _____	



一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝 義

FILE No.

工事名

菟道小学校体育館空調設置及び長寿命化改修建築工事

SCALE

A

特記仕様書(7)

No. 7

DATE

章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項																											
8-14 耐震補強工事(鉄骨工事)	<p>5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)</p> <p>6 溶接材料 (8.2.10)</p> <p>7 スラット (8.2.11)</p> <p>8 工作図 (8.13.2)</p> <p>9 ボルト孔 (8.13.8)</p> <p>10 仮組</p> <p>11 技能資格者</p> <p>12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)</p> <p>13 溶接部の試験 (8.15.12)</p> <p>14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)</p>	<p>8-14 耐震補強工事(鉄骨工事)</p> <p>15 耐火被覆 (8.18.2)~(8.18.9)</p> <p>16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>1 グラウト材 (8.2.12)</p> <p>2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)</p>	<p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>○乾式吹付ロックウール ○半乾式吹付ロックウール ○湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>○繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>○高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5mm張りモルタル塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>○30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table> <p>適用</p> <p>○構造用アンカーボルト 材質 ○ SNR400B ○ アンカーフレームの形状及び寸法 ○ ○ 図示による ○</p> <p>○建方用アンカーボルト 材質 ○ SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種類 ○ A種 ○ B種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm</p> <p>グラウト材</p> <p>※ 早強型特殊セメント系無収縮モルタル ○</p> <p>無収縮モルタルの調査</p> <p>※ 製造所で調査されたプレミックスタイプ ○ 現場調査</p> <p>無収縮グラウト材の品質</p> <p>圧縮強度 (N/mm²) ※ 30以上 ○ ※ 一般部コンクリートと同等以上の強度(構造コンクリート増設工事の壁頭部)</p> <p>コンステンションJ140-1値(秒) ※ 6~10 ○ 乾燥収縮 (10⁻⁴) ※ 0 ○</p> <p>※ グラウト材の品質管理は次による</p> <p>圧縮強度試験 ※ 行う ○ 行わない コンステンション試験 ※ 行う ○ 行わない</p> <p>モルタルの種類 ※ 無収縮モルタル ○ 材料の調査等 ※ 公共建築工事標準仕様書(84年版)7.2.9(7)(10.3)による。 ○</p> <p>厚さ ○ 工法 ※ 図示による ○ ※ A種 ○ B種</p>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	○乾式吹付ロックウール ○半乾式吹付ロックウール ○湿式ロックウール		耐火板張り	○繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	○高断熱ロックウール		5mm張りモルタル塗り	-		耐火塗料			性能	適用箇所(部位・部分)	○30分耐火		○1時間耐火		○2時間耐火		○3時間耐火		<p>8-16 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.21.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.21.3)</p> <p>4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)</p> <p>5 コンクリートの打込み工法 (8.21.5)</p> <p>6 既存構造体との取合い (8.21.9)</p> <p>7 仕上げ (8.21.10)</p> <p>8-17 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.22.2)</p>	<p>8-17 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.22.3)</p> <p>4 既存構造体との取合い (8.22.7)</p> <p>5 仕上げ (8.22.9)</p> <p>8-18 耐震補強工事(柱補強工事)</p> <p>1 補強工法</p> <p>2 既存部分の撤去 (8.23.2)</p> <p>3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)</p> <p>4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)</p> <p>5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)</p>	<p>目荒しの程度 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-3による。</p> <p>割製補強筋 ※以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により径が異なるので注意する) ○ 図示による</p> <p>目荒しの程度 既存柱・梁 ※平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) ※平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による</p> <p>割製補強筋 ※「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」とし、はしご筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による</p> <p>開口付増設壁の開口部鉄筋及び増設そで壁の端部補筋 ※ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き ○ 図示による</p> <p>○ 流込み工法 ○ 圧入工法</p> <p>※ 8.19.9の方法による他、以下に注意する ※ 開口周囲の既存壁をはずり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 ※ 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) ※ 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) ○ 図示による</p> <p>※ 図示による ○</p> <p>目荒し程度 ※平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) ※ 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(※ 30R ○)</p> <p>○ 図示による</p> <p>柱頭のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚のスリット ○ 設ける ○ 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ ○ mm 打込みの工法 ○ 流込み工法 ○ 圧入工法</p> <p>鋼板の加工 ○ 円形 ○ 角形 ○ 柱頭のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚のスリット ○ 設ける ○ 設けない 柱脚スリットを設ける場合の剥落防止処理方法 ○ 小口塞ぎ鉄板溶接 ○ 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 ※ 本特記仕様書8-5-1による ○ グラウト材の厚さ ○ 20mm ○ mm</p>
種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																
耐火材吹付け	○乾式吹付ロックウール ○半乾式吹付ロックウール ○湿式ロックウール																																	
耐火板張り	○繊維混入ケイ酸カルシウム板																																	
耐火材巻付け	○高断熱ロックウール																																	
5mm張りモルタル塗り	-																																	
耐火塗料																																		
性能	適用箇所(部位・部分)																																	
○30分耐火																																		
○1時間耐火																																		
○2時間耐火																																		
○3時間耐火																																		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9 ユニット及びその他の工事	<p>10 表示・標識 (20.2.11)</p> <p>衝突防止表示 ※ 図示による (市販品 ○ ステンレス製 径 30 mm ○ _____) ○ なし 法令に基づく表示 ※ 非常用出入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。</p> <p>室名札</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td></td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> </tr> <tr> <td>○ 10</td> <td>○ アルミ板</td> <td></td> <td>○ 丸</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> </tr> </table> <p>外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 50×250 ○ 60×250 ○ 図示による</p> <p>ビクトグラフ (便所、車いす、階段等)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>材 質</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 10</td> <td>○ アルミ板</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> <td></td> </tr> </table> <p>寸法 (mm) ○ 150×150 ○ 図示による</p> <p>案内板 (館内、各階、便所)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>○ 5</td> <td>○ アクリル板</td> <td></td> <td>○ 角太ゴシック</td> <td>○ シルク印刷</td> <td>○ 平付型</td> </tr> <tr> <td>○ 10</td> <td>○ アルミ板</td> <td></td> <td>○ 丸</td> <td>○</td> <td>○ 持出型</td> </tr> </table> <p>外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 600×600 ○ 100×600 ○ 200×200 ○ 図示による</p> <p>館名板等 品質・規格 _____</p> <p>11 タラップ (20.2.12)</p> <p>材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※ (表14.2.2) による種別 (※C種 ※種))</p> <p>12 ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>スラットレールの材質</th> </tr> <tr> <td>○ 横形 ※ ギヤ式</td> <td></td> <td>※ アルミ合金</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> </tr> <tr> <td>○ コード式</td> <td></td> <td></td> <td>○ 35</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 縦形 ※ 2本操作コード式</td> <td></td> <td>○ アルミスラット</td> <td>○ 80</td> <td>※ アルミ合金</td> </tr> <tr> <td>○ 1本操作コード式</td> <td></td> <td>○ ガラススラット</td> <td>○ 100</td> <td>○ 鋼製</td> </tr> </table> <p>(20.2.15)</p> <p>13 ロールスクリーン (20.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>○ スプリング式</td> <td>○ ガラス繊維製</td> <td>※ 製造所の仕様</td> <td>○ 図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ コード式</td> <td>○ 合成・天然繊維製</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 電動式</td> <td>○ 木製</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>(20.2.16)</p> <p>14 カーテン (20.2.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形 式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きれ地の シグナル</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>消防法で定める防火性能の表示があるもの</p> <p>15 カーテンレール (20.2.16)</p> <p>材料 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ○ ステンレス ○ _____ 形式 ○ 片引き ○ 引分け (増幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 ○ C型 ○ D型 ※ 角型 強さによる区分 ※ 10-90 ○ 仕上げ ※ アルマイト ○ _____</p> <p>16 ブラインドボックスカーテンボックス</p> <p>● 図示による ○ 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) ○ 90×150 ○ 150×80 ○ 120×80 ● 180×120 表面処理 ○ C-1 (無着色) ○ C-2 (着色) ● 木製</p> <p>17 くつふきマット</p> <p>材質 ○ 塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) ○ 硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ○ ○ ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)</p> <p>18 鋼製書架及び棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規 格 等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>○ 鋼製書架</td> <td>※ JIS S 1039 の規格による</td> <td>○ 1種 ○ 2種 ○ 3種</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製物品棚</td> <td>○ 法務省型</td> <td>○ 4種 ○ 5種 ○ 6種</td> </tr> </table> <p>19 収納家具 (木製)</p> <p>材質、形状、寸法 ※ 図示による ※ _____ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ※ _____</p>	厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型	○ 10	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型	厚さ (mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考	○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型		○ 10	○ アルミ板	○	○ 持出型		厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型	○ 10	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型	形 式	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	スラットレールの材質	○ 横形 ※ ギヤ式		※ アルミ合金	※ 25	※ 鋼製	○ コード式			○ 35	○	○ 縦形 ※ 2本操作コード式		○ アルミスラット	○ 80	※ アルミ合金	○ 1本操作コード式		○ ガラススラット	○ 100	○ 鋼製	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	○ スプリング式	○ ガラス繊維製	※ 製造所の仕様	○ 図示による		○ コード式	○ 合成・天然繊維製		○		○ 電動式	○ 木製		○		取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の シグナル	ひだの種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	種類	規 格 等	JISによる種類	○ 鋼製書架	※ JIS S 1039 の規格による	○ 1種 ○ 2種 ○ 3種	○ 鋼製物品棚	○ 法務省型	○ 4種 ○ 5種 ○ 6種	<p>20 掲示板</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>表面の材質</th> <th>無明器具</th> <th>施 錠</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>○ 屋内</td> <td>○ アルミ製 (B-2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 屋外</td> <td>○ アルミ製 (B-2)</td> <td>○ あり</td> <td>○ あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td>○ なし</td> <td>○ なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>21 カウンター</p> <p>品質・規格 _____</p> <p>22 洗面カウンター</p> <p>材 種 ○ メラミン樹脂化粧板張り (芯材：集成材) ○ 人工大理石 (品質 図示) 奥行き (mm) ○ 約450 ○ 約600 ○ _____</p> <p>23 流しユニット</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部品寸法 (mm)</th> <th>規 格</th> <th>仕 様</th> </tr> <tr> <td>○ 流し台</td> <td></td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>○ コンロ台</td> <td></td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>○ 吊戸棚</td> <td></td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>○ 水切り棚</td> <td></td> <td></td> <td>○ 優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ ステンレス製 1段式</td> </tr> </table> <p>24 非常用救助袋等</p> <p>※ 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 ○ 傾斜式 ○ 垂直式 品質・規格 _____</p> <p>25 鍵箱</p> <p>市販品 形式 ※ 釣下式 ○ 差込式 (○ 30 ○ 60 ○ 120 ○ _____) 組用 (____) 個</p> <p>26 車止め</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 上下式鎖内蔵型</td> <td>○ ステンレス製 (SUS304)</td> <td>○ φ76.3 t=2.0</td> <td>○ 6L+700</td> </tr> <tr> <td>(○ スプリング付き) ○</td> <td></td> <td>○ φ114.3 t=2.5</td> <td>○ 6L+850</td> </tr> </table> <p>基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度</p> <p>27 フェンス</p> <table border="1"> <tr> <th>表 面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>○ 亜鉛めっき ● 樹脂塗装</td> <td>○ メッシュフェンス ○ 4x4x40x40</td> <td>● 片開き</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル被覆 ○</td> <td>● ネットフェンス ○</td> <td>○ 両開き</td> </tr> </table> <p>28 コートライン引き</p> <p>巻線 ※ 500W 100V 消火器 (・ 4型 ・ 6型 ※ 10型 ・ 20型) ・</p> <p>29 収納台車</p> <p>椅子収納台車 8ビット8台 寸法 W1000×L4500×H650 万能収納台車 2ビット2台 寸法 W1000×L1500×H650 1台 寸法 W1000×L2000×H650 1台 株式会社 小川長春館 同等品以上</p> <p>30 天井点検口</p> <p>アルミニウム製 450角 目地タイプ</p> <p>31 防球ガード</p> <p>フルオープンタイプ BG-D1835E ※設置用補強材等部材含む 日晴金属株式会社 同等品以上</p> <p>32 消火器 消火器BOX</p> <p>種類 ※ 粉末ABC消火器 (・ 4型 ・ 6型 ※ 10型 ・ 20型) ・ なお、申請手続きも本工事にて行うこととする</p>	材 質	表面の材質	無明器具	施 錠	品質・規格	○ 屋内	○ アルミ製 (B-2)					○ ステンレス製 (SUS304)				○ 屋外	○ アルミ製 (B-2)	○ あり	○ あり			○ ステンレス製 (SUS304)	○ なし	○ なし		種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様	○ 流し台			○ 優良住宅部品	○ コンロ台			○ 優良住宅部品	○ 吊戸棚			○ 優良住宅部品	○ 水切り棚			○ 優良住宅部品	○			○ ステンレス製 1段式	形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	○ 上下式鎖内蔵型	○ ステンレス製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ 6L+700	(○ スプリング付き) ○		○ φ114.3 t=2.5	○ 6L+850	表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	○ 亜鉛めっき ● 樹脂塗装	○ メッシュフェンス ○ 4x4x40x40	● 片開き	○ ビニル被覆 ○	● ネットフェンス ○	○ 両開き	<p>10 排水工事</p> <p>3 緑石 (21.3.1)</p> <p>歩車道境界ブロックのJISによる呼び名 ※ A ○ _____ 地先境界ブロックのJISによる呼び名 ○ A ○ C ○ _____ 砂利地業の厚さ ※ 100mm ○ _____</p> <p>4 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)</p> <p>鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 ○ 240 ○ 300A ○ 360A ○ _____ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 $f_c(N/mm^2)$ ※ 18 ○ _____ スランプ (cm) ○ 15 ○ 18 ○ _____</p> <p>現場打の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ○ _____</p> <p>11 舗装工事</p> <p>1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)</p> <p>路床の構成 ○ 凍上抑制層 厚さ ○ 図示による ○ _____ ○ 透水性舗装フィルター層の厚さ 車道部 ○ 図示による ○ 150mm ○ _____ 歩道部 ○ 図示による ○ 50mm ○ _____ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合は粒度試験) ○ 行う ○ 行わない 盛土に用いる材料 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1) 路床安定処理 ○ 行う ○ 行わない 路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 (表22.2.1) 種 類 ○ 地盤改良材 () ○ 高炉セメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号 添加量 _____ kg/m³ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※ 行う (埋戻し部、盛土部) ○ 行わない</p> <p>2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)</p> <p>路盤の厚さ _____ mm 材料 ○ 再生クラッシュヤラン (RC-40, 30, 20) ○ クラッシュヤラン (C-40, 30, 20) ○ ｸﾞﾗﾝｼﾞｯｸ鉄鋼スﾗｸﾞ (GS-40) 路盤締固め度の試験 ※ 行う</p> <p>3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗 装 の 種 類</th> <th>表層 (mm)</th> <th>基層 (mm)</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※ アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td>※ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> </table> <p>アスファルト ● 再生アスファルト (● 60~80 ○ 80~100) ○ ストレートアスファルト</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> <p>施工 アスファルト混合物の抽出試験 ● 行う ○ 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ● 行う ○ 行わない</p> <p>4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>部 位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>設計基準強度 (N/m²)</th> <th>スランプ (cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構成 早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する 目地 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ 種類 ○ 突合せ目地 ○ 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ _____ 間隔 ○ 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ○ 3m程度ごと ○ _____ コンクリート版厚さの試験 ※ 行う</p>	舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類	※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物	区分	一般地域	寒冷地域	表層	● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)	コンクリートの種類	部 位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m ²)	スランプ (cm)						<p>11 舗装工事</p> <p>5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系アスファルト混合物</td> <td>○ 車路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石</td> <td>○ 歩行者用通路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7アスファルト混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>舗装の厚さ _____ mm</p> <p>○ 常温系ニート工法 ○ 常温系塗布工法</p> <p>着色部の下部 舗装の平坦性 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)</p> <p>舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____ 表層の厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない</p> <p>7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <p>○ コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>○ 普通平板 (N)</td> <td>○ カラー平板 (C)</td> <td>○ 300角</td> <td>※ 60 ※ 砂</td> </tr> <tr> <td>○ 洗出平板 (W)</td> <td>○ 掘石 (S)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>○ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック</td> <td>車路</td> <td></td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 京エレンガ</td> <td>歩行者用通路</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック</td> <td></td> <td></td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td></td> <td></td> <td>○ 80</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂</p> <p>○ 舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>基 層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 花崗岩</td> <td></td> <td>○ 80~100</td> <td>○ うちこ張り</td> <td>○ コンクリート版</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 7アスファルト混合物</td> <td>※ 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____ クッション材 ※ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>8 砂利敷き (22.9.2)</p> <p>通 路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュヤランとする</p> <p>9 白線引き</p> <p>種 類 ○ 溶融式 ○ ペイント式 幅 (cm) ○ 15 ○ _____</p>	種 類	部 位	配合その他	※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車路		添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路		結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)			7アスファルト混合物等の抽出試験			○ 適用する ※ 適用しない			種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地	○ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60 ※ 砂	○ 洗出平板 (W)	○ 掘石 (S)	○	○	種 類	部 位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩及び表面加工等	※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品	○ 京エレンガ	歩行者用通路		○	○		○ 透水性ブロック			※ 60	※ 3.0	○	○ 植生ブロック			○ 80	○	○				※ 80						○ 100			種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)	○ 花崗岩		○ 80~100	○ うちこ張り	○ コンクリート版	※ 70	○		○	○	○ 7アスファルト混合物	※ 50						○	<p>12 環境配慮改修工事</p> <p>1 一般事項 (9.1.1)</p> <p>○ 石綿含有吹付け材除去工事 ○ 除去工法 () ○ 封じ込め工法 () ○ 囲い込み工法 () ○ 石綿含有保温材除去工事 ○ 石綿含有成形板等除去工事 ○ 石綿含有仕上塗材除去工事</p> <p>2 仕上げ工事 (9.1.1)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示による ○ _____</p>
厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 10	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
厚さ (mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 5	○ アクリル板	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 10	○ アルミ板	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 5	○ アクリル板		○ 角太ゴシック	○ シルク印刷	○ 平付型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 10	○ アルミ板		○ 丸	○	○ 持出型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
形 式	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	スラットレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 横形 ※ ギヤ式		※ アルミ合金	※ 25	※ 鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ コード式			○ 35	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 縦形 ※ 2本操作コード式		○ アルミスラット	○ 80	※ アルミ合金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 1本操作コード式		○ ガラススラット	○ 100	○ 鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ スプリング式	○ ガラス繊維製	※ 製造所の仕様	○ 図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ コード式	○ 合成・天然繊維製		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 電動式	○ 木製		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の シグナル	ひだの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	規 格 等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 鋼製書架	※ JIS S 1039 の規格による	○ 1種 ○ 2種 ○ 3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 鋼製物品棚	○ 法務省型	○ 4種 ○ 5種 ○ 6種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材 質	表面の材質	無明器具	施 錠	品質・規格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 屋内	○ アルミ製 (B-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○ ステンレス製 (SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○ 屋外	○ アルミ製 (B-2)	○ あり	○ あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	○ ステンレス製 (SUS304)	○ なし	○ なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 流し台			○ 優良住宅部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ コンロ台			○ 優良住宅部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 吊戸棚			○ 優良住宅部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 水切り棚			○ 優良住宅部品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○			○ ステンレス製 1段式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 上下式鎖内蔵型	○ ステンレス製 (SUS304)	○ φ76.3 t=2.0	○ 6L+700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(○ スプリング付き) ○		○ φ114.3 t=2.5	○ 6L+850																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 亜鉛めっき ● 樹脂塗装	○ メッシュフェンス ○ 4x4x40x40	● 片開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ ビニル被覆 ○	● ネットフェンス ○	○ 両開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※ アスファルト舗装			※ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	一般地域	寒冷地域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
表層	● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
コンクリートの種類	部 位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m ²)	スランプ (cm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種 類	部 位	配合その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
添加材 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂 (添加量 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7アスファルト混合物等の抽出試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	○ 300角	※ 60 ※ 砂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 洗出平板 (W)	○ 掘石 (S)	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	部 位	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ 普通ブロック	車路		※ 80	※ 5.0	※ 標準品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 京エレンガ	歩行者用通路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 透水性ブロック			※ 60	※ 3.0	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 植生ブロック			○ 80	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			※ 80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			○ 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 花崗岩		○ 80~100	○ うちこ張り	○ コンクリート版	※ 70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○		○	○	○ 7アスファルト混合物	※ 50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
訂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										



一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名

菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事

特記仕様書 (10)

SCALE

A

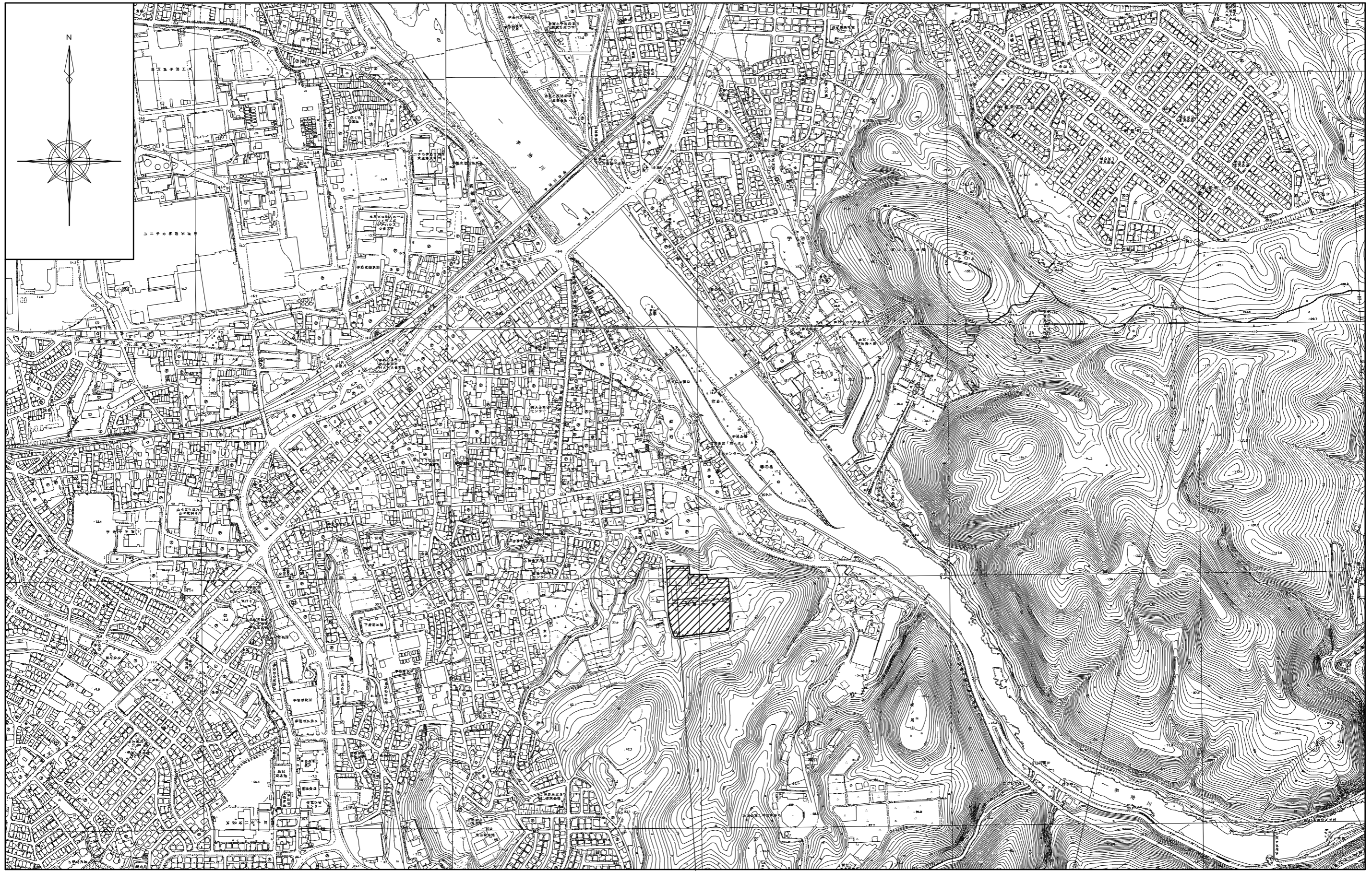
No.

10

DATE

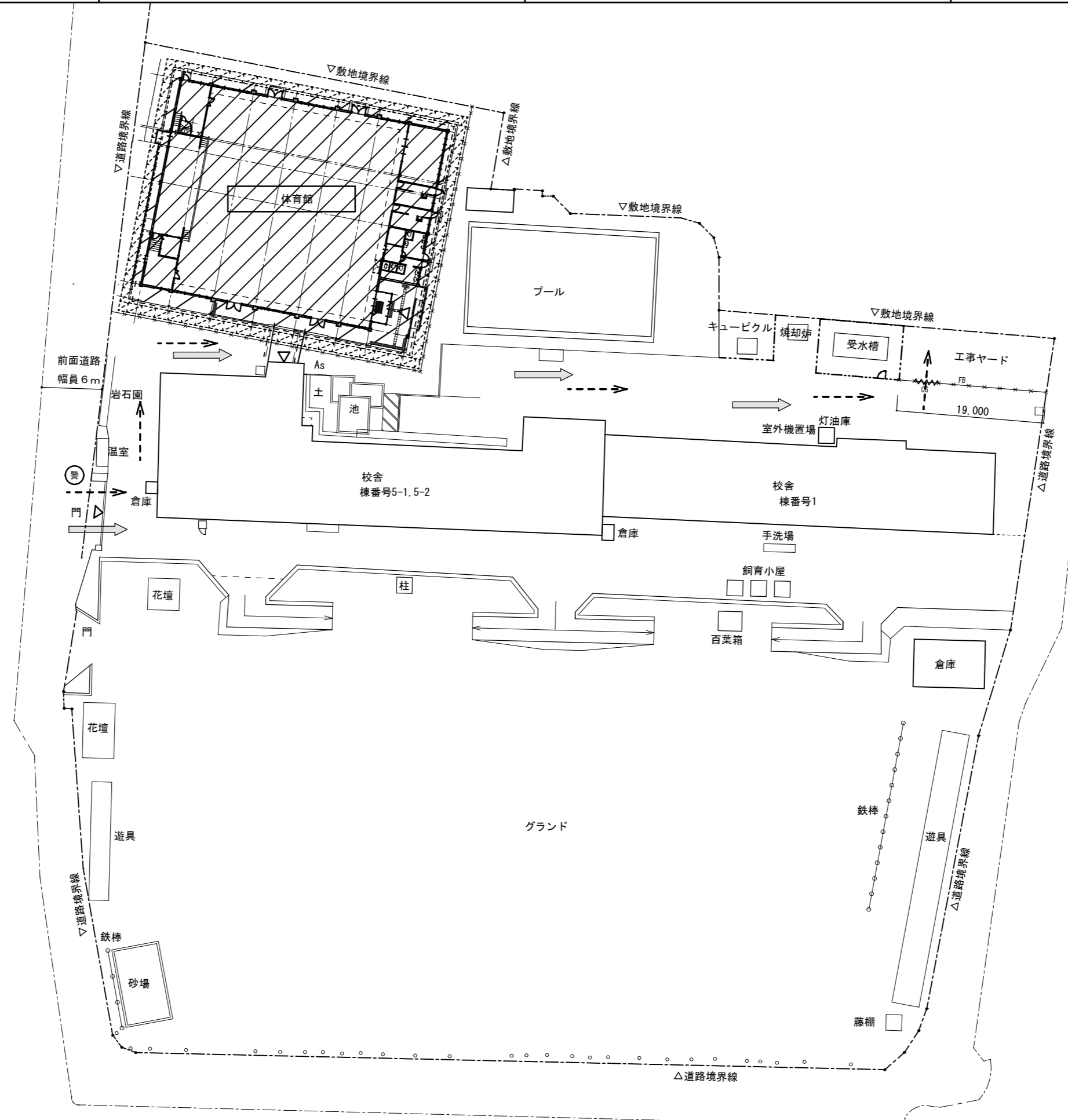
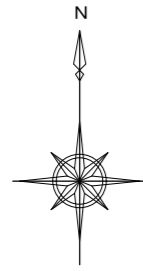
アスベスト対策工事仕様書

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																		
13	①適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 ● アスベスト含有吹付け材除去工事 ● 除去工法 (湿式グラインダー工法) ○ 封じ込め工法 () ○ 囲い込み工法 () ○ アスベスト含有保温材等除去工事 ○ アスベスト含有成形板除去工事	13	⑤仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示による ○ _____	13	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 ※ 図示による ○ _____ 除去の方法 ※ 原形のまま手ばらし ○ 手ばらし以外 (この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする) ○ _____ 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○石綿保温材</td> <td>○石綿含有耐火被覆材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けいそう土保温材</td> <td>○石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有パーライト保温材</td> <td>○屋根用折板裏断熱材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けい酸カルシウム保温材</td> <td>○煙突用断熱材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有水練り保温材</td> <td>○塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種 類	○石綿保温材	○石綿含有耐火被覆材	○石綿含有けいそう土保温材	○石綿含有けい酸カルシウム板第二種	○石綿含有パーライト保温材	○屋根用折板裏断熱材	○石綿含有けい酸カルシウム保温材	○煙突用断熱材	○石綿含有水練り保温材	○塩基性炭酸マグネシウム保温材	13	10 アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 ※ 図示による ○ _____ 除去の方法 ※ 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 ○ _____ 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○石綿含有スレート</td> <td></td> <td>○石綿含有ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○石綿含有押出成形セメント板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>●石綿含有石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	○石綿含有スレート		○石綿含有ビニル床タイル	2.0	○石綿含有けい酸カルシウム板				○石綿含有押出成形セメント板				○石綿含有岩綿吸音天井板		○		●石綿含有石膏ボード	9.5	○															
	種 類	種 類																																																											
○石綿保温材	○石綿含有耐火被覆材																																																												
○石綿含有けいそう土保温材	○石綿含有けい酸カルシウム板第二種																																																												
○石綿含有パーライト保温材	○屋根用折板裏断熱材																																																												
○石綿含有けい酸カルシウム保温材	○煙突用断熱材																																																												
○石綿含有水練り保温材	○塩基性炭酸マグネシウム保温材																																																												
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																																										
○石綿含有スレート		○石綿含有ビニル床タイル	2.0																																																										
○石綿含有けい酸カルシウム板																																																													
○石綿含有押出成形セメント板																																																													
○石綿含有岩綿吸音天井板		○																																																											
●石綿含有石膏ボード	9.5	○																																																											
②法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。	⑥石綿作業主任者 (9.1.2)	石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。	⑦特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	⑧アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 ※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。	⑨アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 ※ 図示による (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) ○ 全ての室 ○ _____	⑩アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.5)	事前調査 ・ 施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・ 施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 ※ 図示による ○ _____ 調査事項 ※石綿使用部位の確認 ※石綿層の厚さの確認 ※施工範囲と工事管理区分の確認 ※更衣施設等の仮設計画 ※廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 ○ 行う (分析結果を監督職員に提出する) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ (箇所数)</td> <td>○ (箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (箇所数)</td> <td>○ (箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (箇所数)</td> <td>○ (箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (箇所数)</td> <td>○ (箇所数)</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル ※JIS A 14811に基づくこと。 ○ 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○ あり ○ なし アスベスト粉じん濃度測定 ● 行う <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出吹き出し口</td> <td>各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td>シート撤去後</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>1週間以降</td> </tr> </tbody> </table> ※周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 ○ 行わない 測定機関 ※ (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 ○ _____ 報告書提出部数 ※ 3部 ○ 部	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点		除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置			排出吹き出し口	各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点		除去作業後	除去作業室内	● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート養生中	除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																											
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																																											
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																																											
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																																											
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																																											
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																																										
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																											
	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点																																																											
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																											
	負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置																																																												
	排出吹き出し口	各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点																																																											
除去作業後	除去作業室内	● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート養生中																																																										
除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中																																																										
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後																																																										
	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降																																																										



工事場所
 京都府宇治市宇治搭川102番地 地内

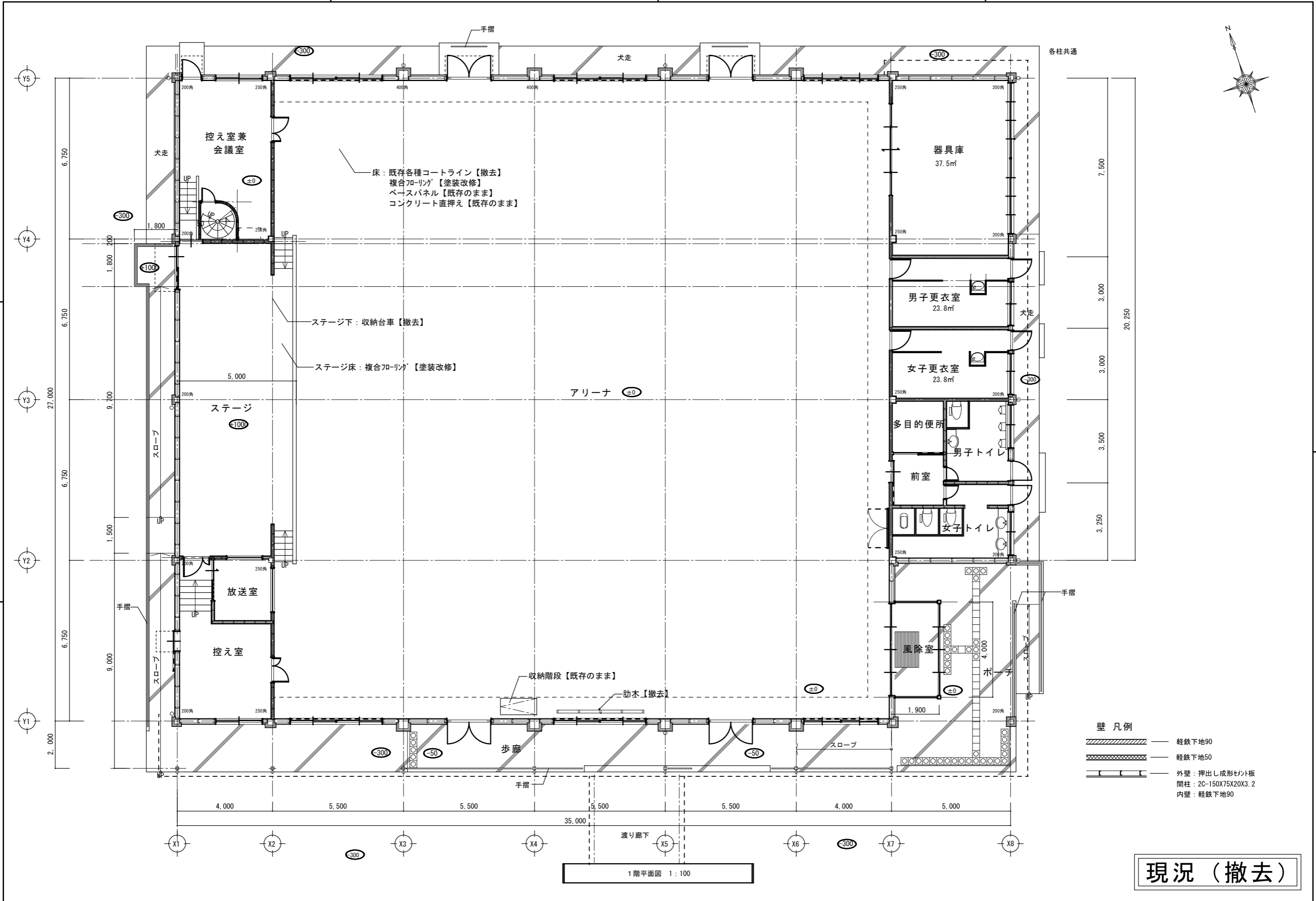
訂 正	・	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	付近見取図	SCALE	A
	・					1 : 2500 (A2)	No.	
	・							12
	・				DATE			



仮設工事 凡例	
←	施設利用者・施設関係者車両等動線を示す
←---	工事車両等経路を示す
⋈ ^{OG}	アルミキャストゲート W=3.0m H=1.8m
⋈ ^{FB}	フェンスバリアケード
▨	改修建物を示す
⋈	仮設足場を示す(参考)
⊙	交通誘導員
△	建物出入口を示す

- ・場内の運転は最徐行とする
- ・生徒の登下校時間帯は、入退場を禁止とする
- ・大型車の入退場は交通整理員等の誘導により、入退場を行うこと
- ・高所作業車6日程度を見込む。
高所作業時は事前に学校と協議を行うこと。

配置図 1:500

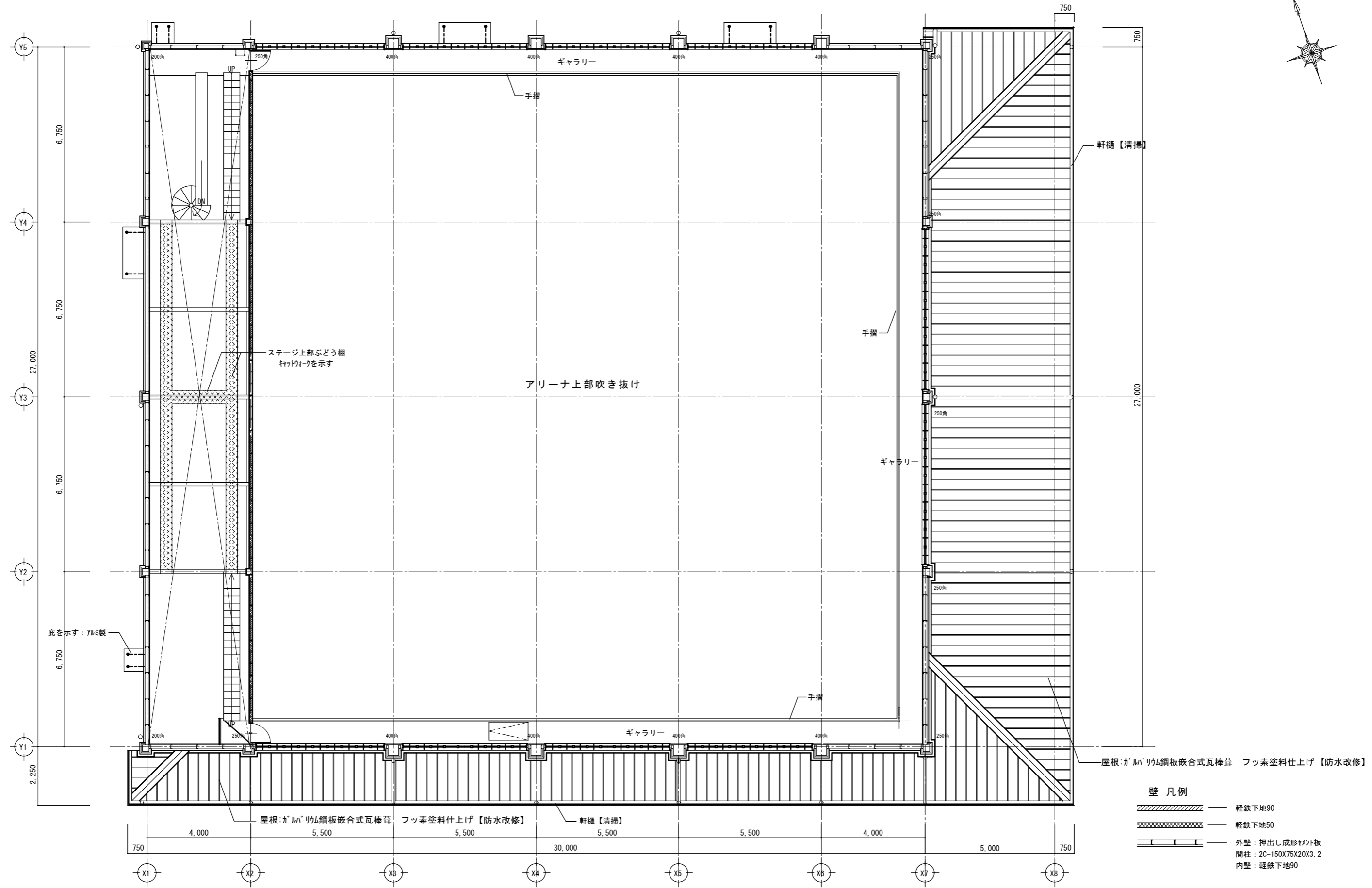


1階平面図 1:100

現況 (撤去)

- 壁 凡例
- 軽鉄下地90
 - 軽鉄下地50
 - 外壁：押出し成形セメント板
間柱：2C-150X75X20X3.2
内壁：軽鉄下地90

訂 正	●	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝 義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)	SCALE	A
	●					1階平面図	1:100 (A2)	No.
	●				DATE			14

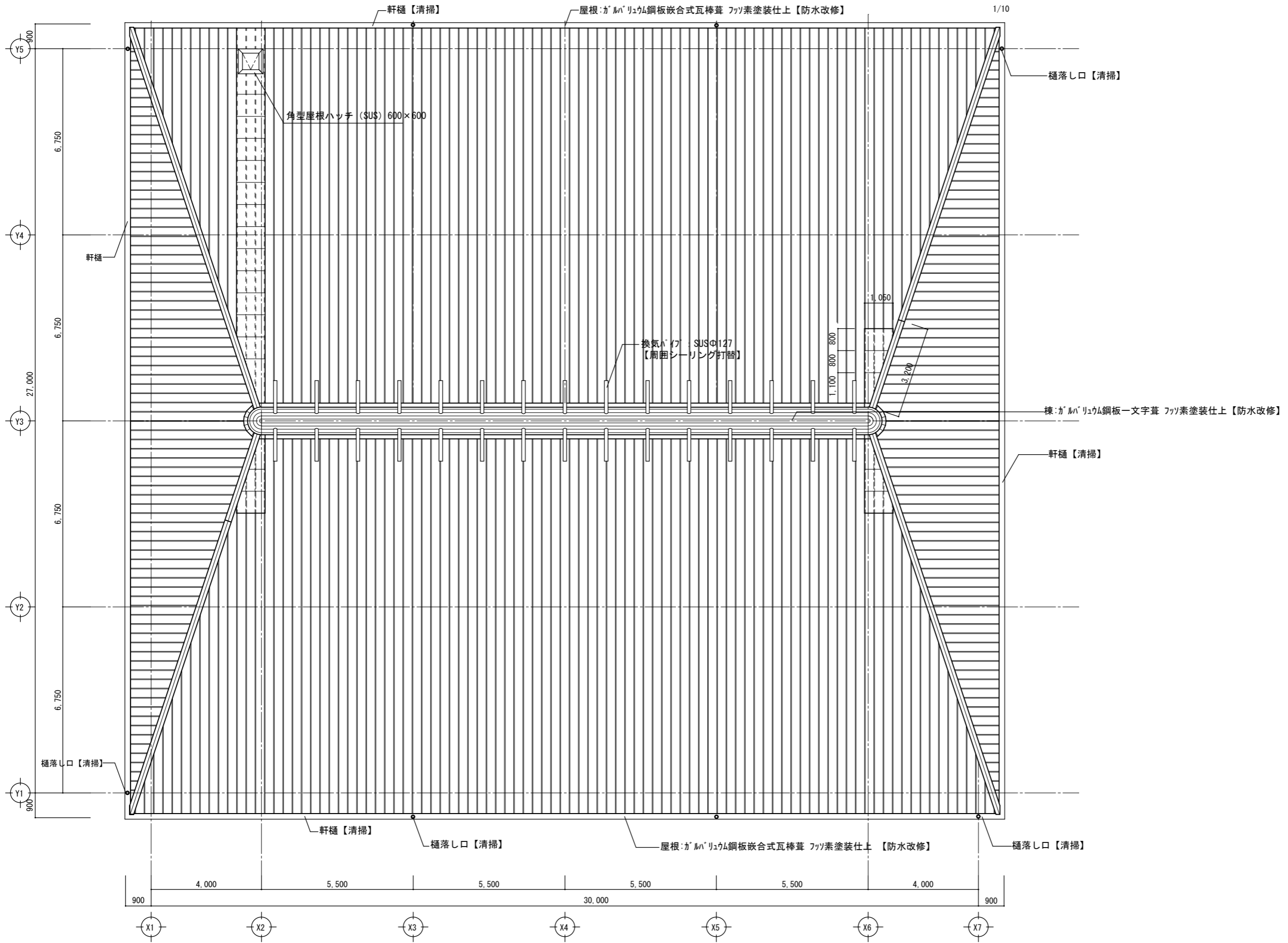


2階平面図 1:100

現況（撤去）

- 壁 凡例
- 軽鉄下地90
 - 軽鉄下地50
 - 外壁: 押出し成形セメント板
間柱: 2C-150X75X20X3.2
内壁: 軽鉄下地90

訂 正	建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No. 	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事 DATE	現況（撤去） 2階平面図	SCALE 1:100 (A2)	A No. 15
--------	---	--	------------------	---------------------------------------	-----------------	---------------------	----------------



屋根伏図 1:100

現況 (撤去)

訂	・	
正	・	

BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

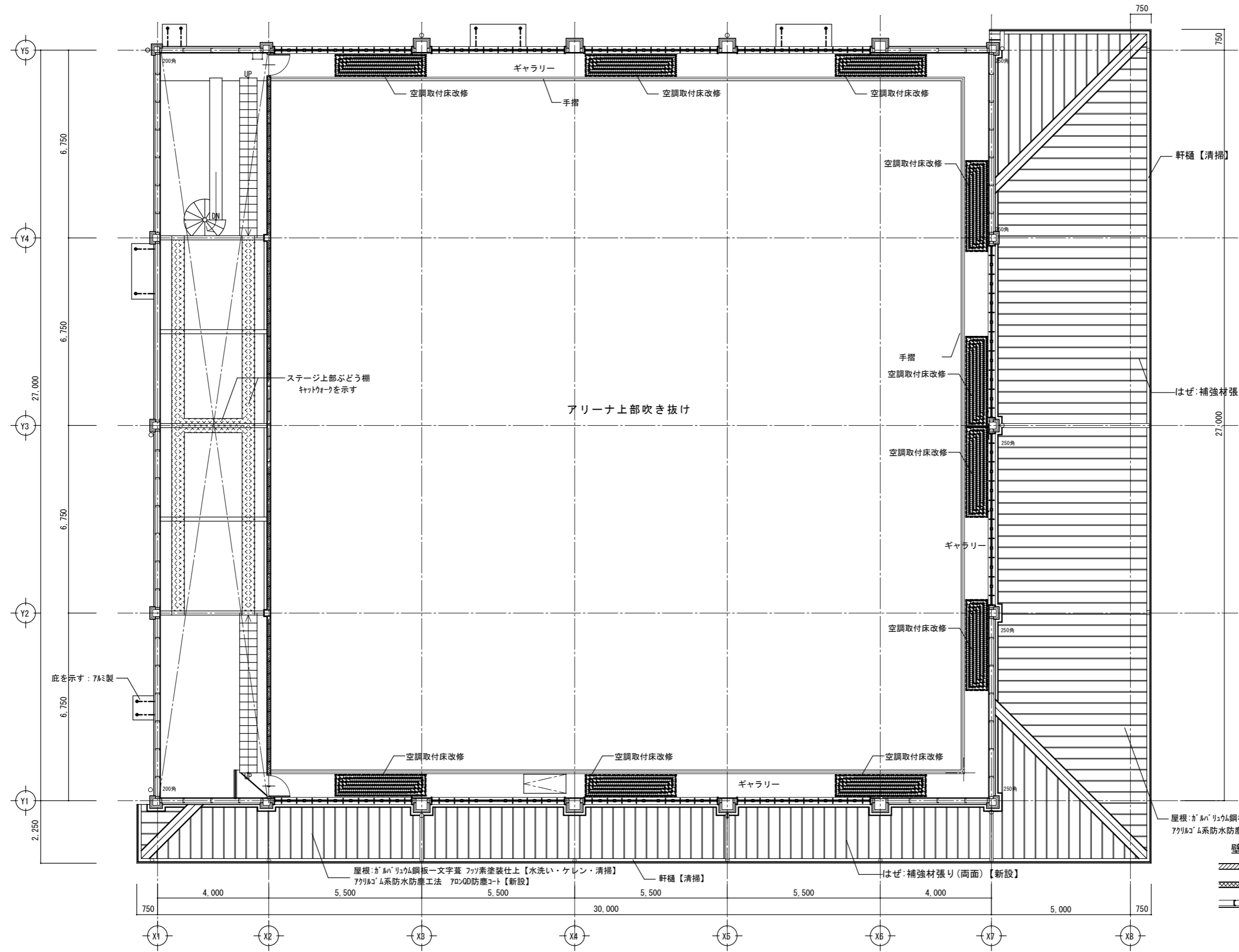
一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝義

FILE No.	
----------	--

工事名
 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事

DATE

現況 (撤去)	SCALE	A
屋根伏図	1:100 (A2)	No.
		16



屋根:ガルバリウム鋼板一文字葺 フッ素塗装仕上【水洗い・ケレン・清掃】
 アクリル系防水防塵工法 7mmOD防塵コート【新設】

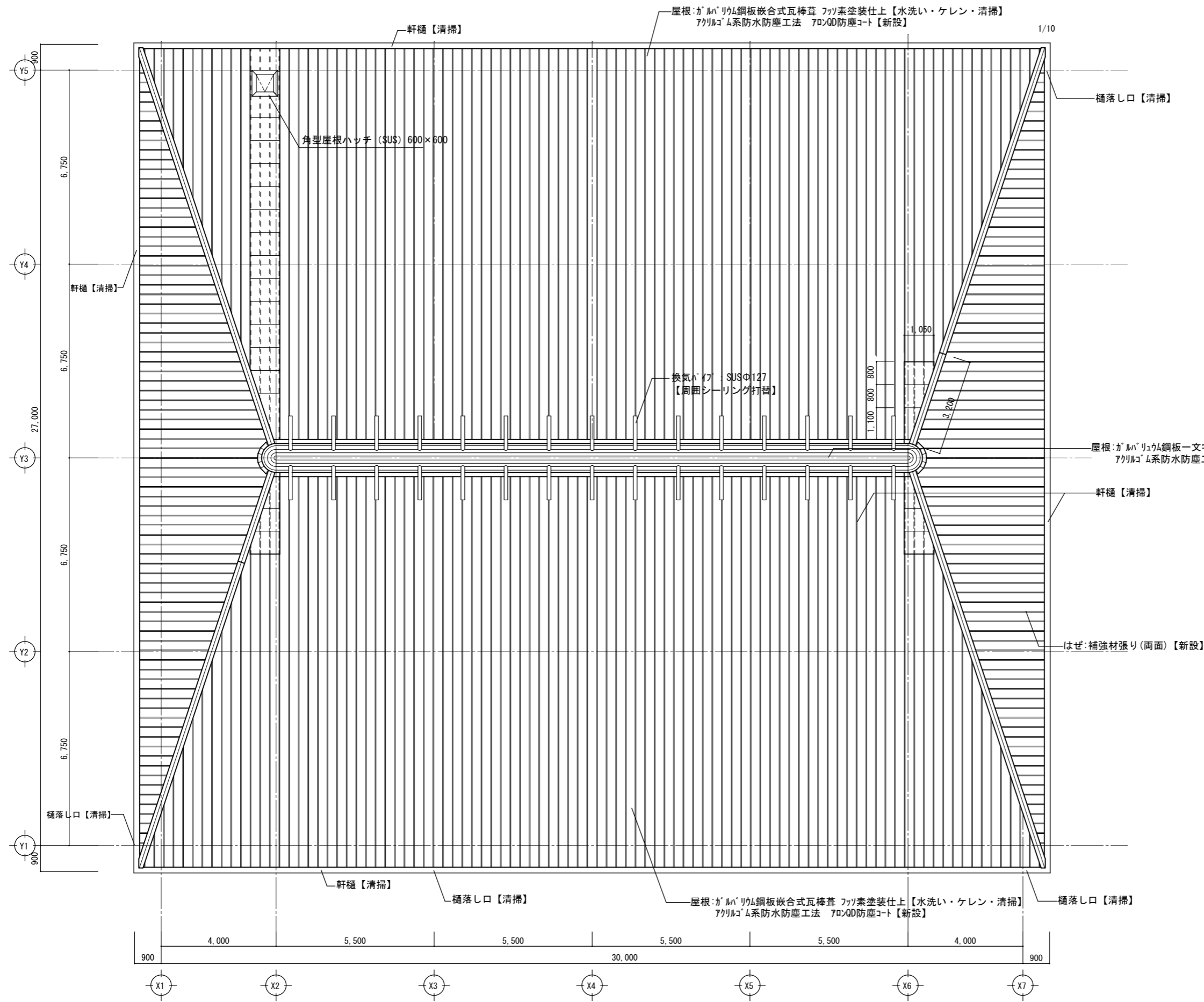
壁 凡例

- 軽鉄下地90
- 軽鉄下地50
- 外壁: 押出し成形セメント板
間柱: 2C-150X75X20X3.2
内壁: 軽鉄下地90

2階平面図 1:100

改 修 後

訂 正	設計	BCY'S	一級建築士事務所	FILE No.	工事名	改修後	SCALE	A
	建築事務所	株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義		菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	2階平面図	1:100 (A2)	No.
					DATE			18

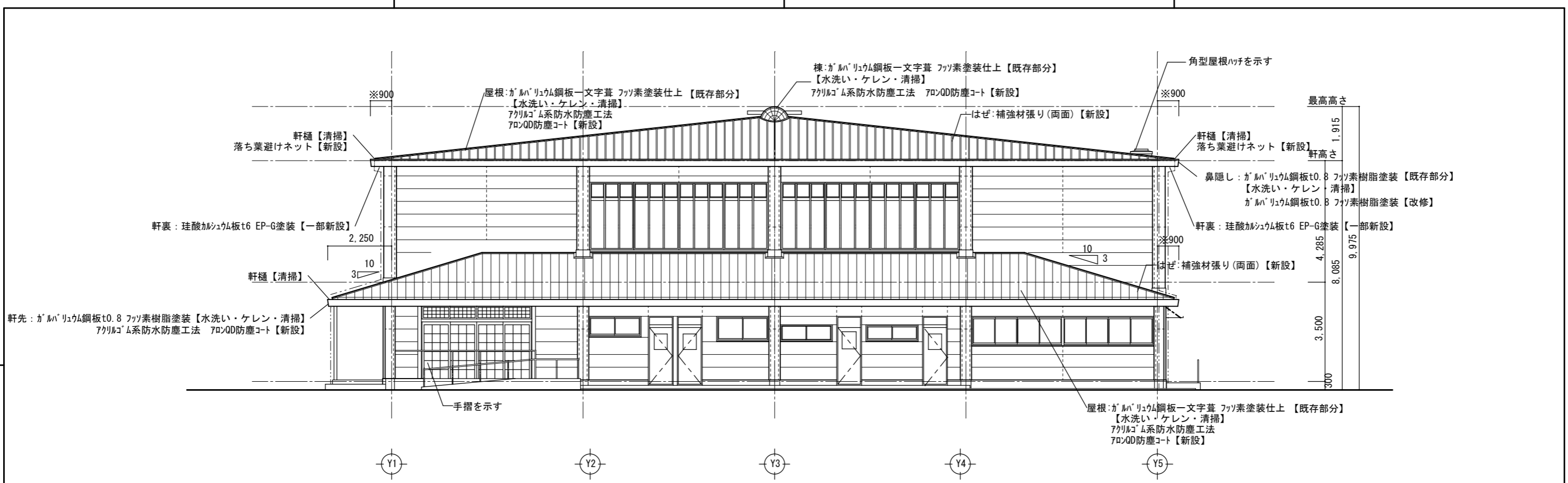


屋根伏図 1 : 100

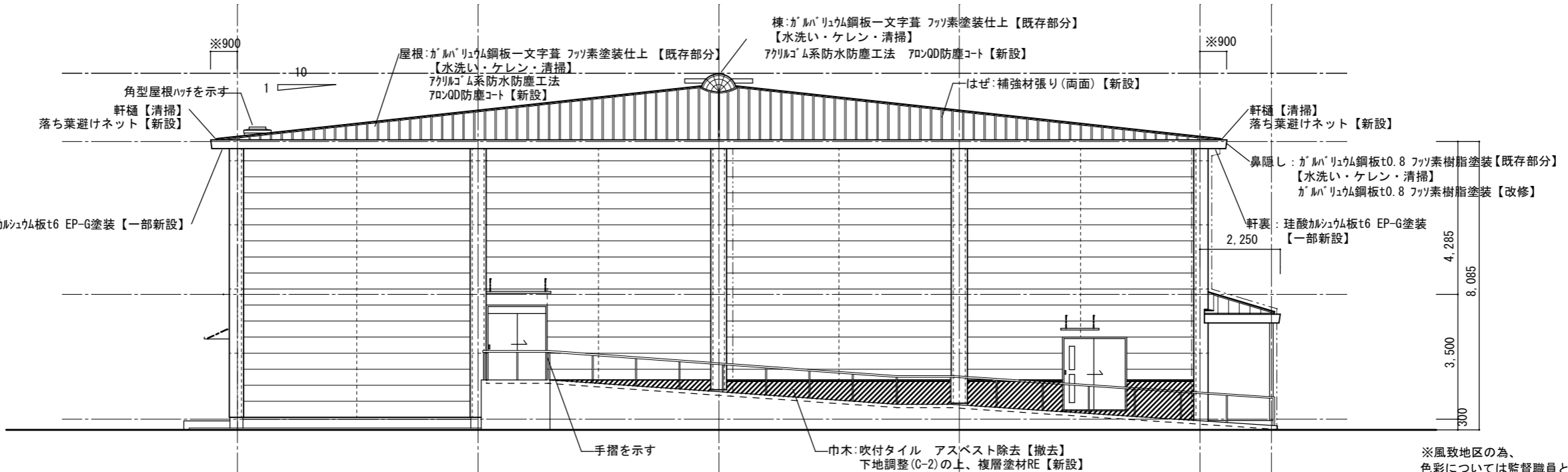
※風致地区の為、色彩については監督職員と協議して決定すること

改 修 後

訂 正	日	●	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
	日	●			屋根伏図		1 : 100 (A2) No.	19	



東側立面図 1 : 100



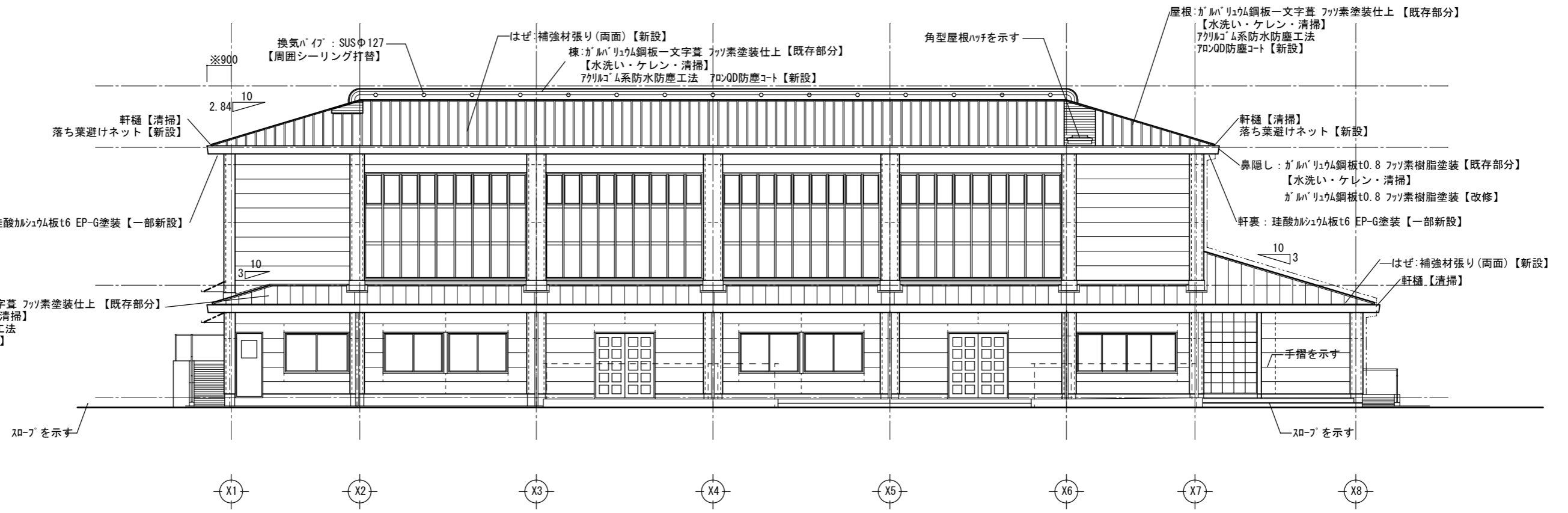
西側立面図 1 : 100

※風致地区の為、色彩については監督職員と協議して決定すること

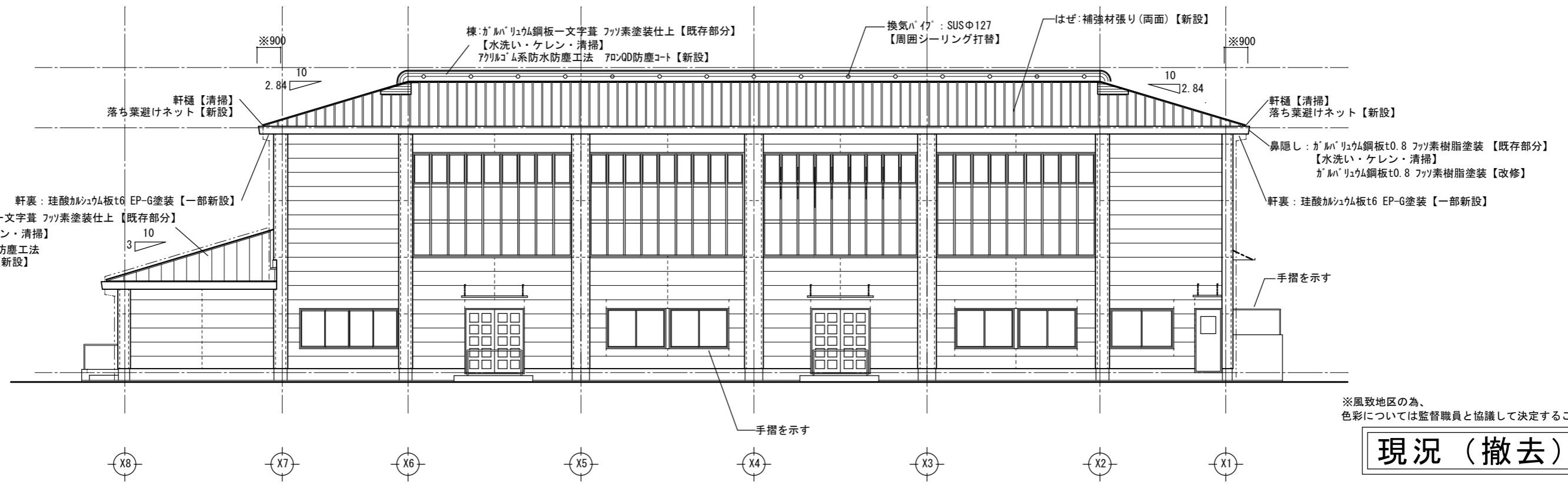
現況（撤去）

改修後

訂 正	BCY'S	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況（撤去）、改修後 立面図(1)	SCALE 1 : 100 (A2)	A No. 20
	株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ			DATE			



南側立面図 1:100



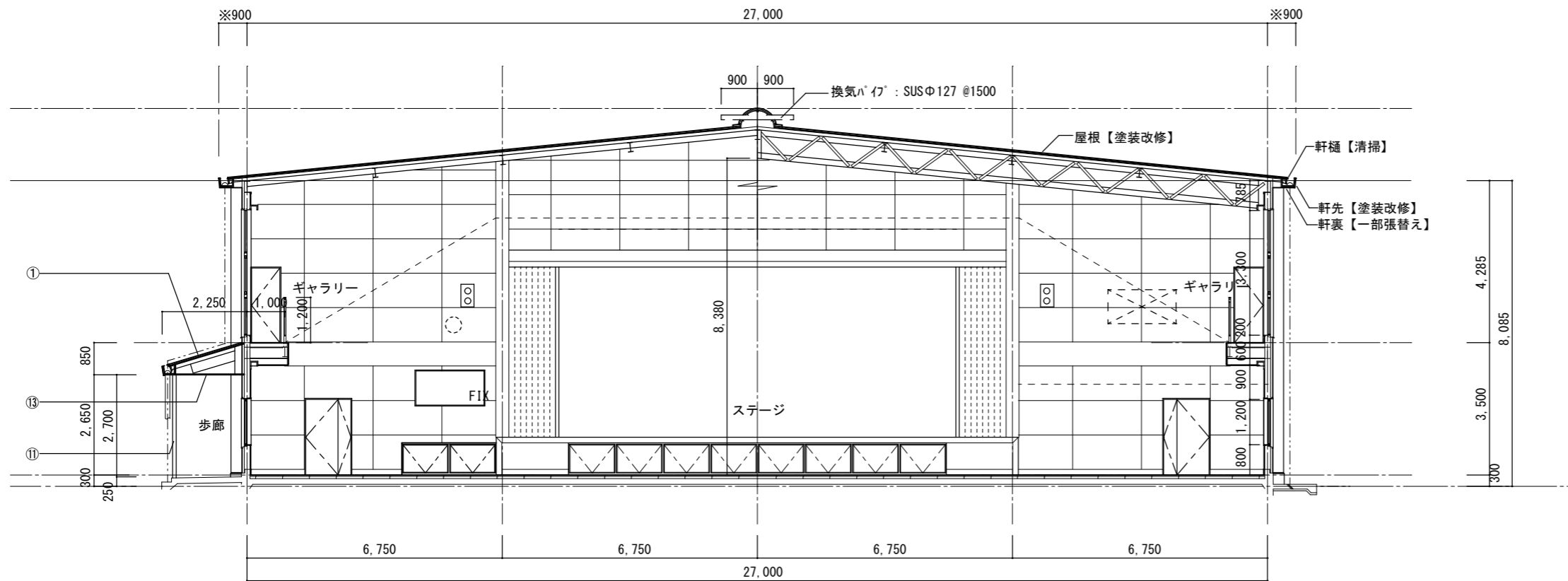
北側立面図 1:100

※風致地区の為、
色彩については監督職員と協議して決定すること

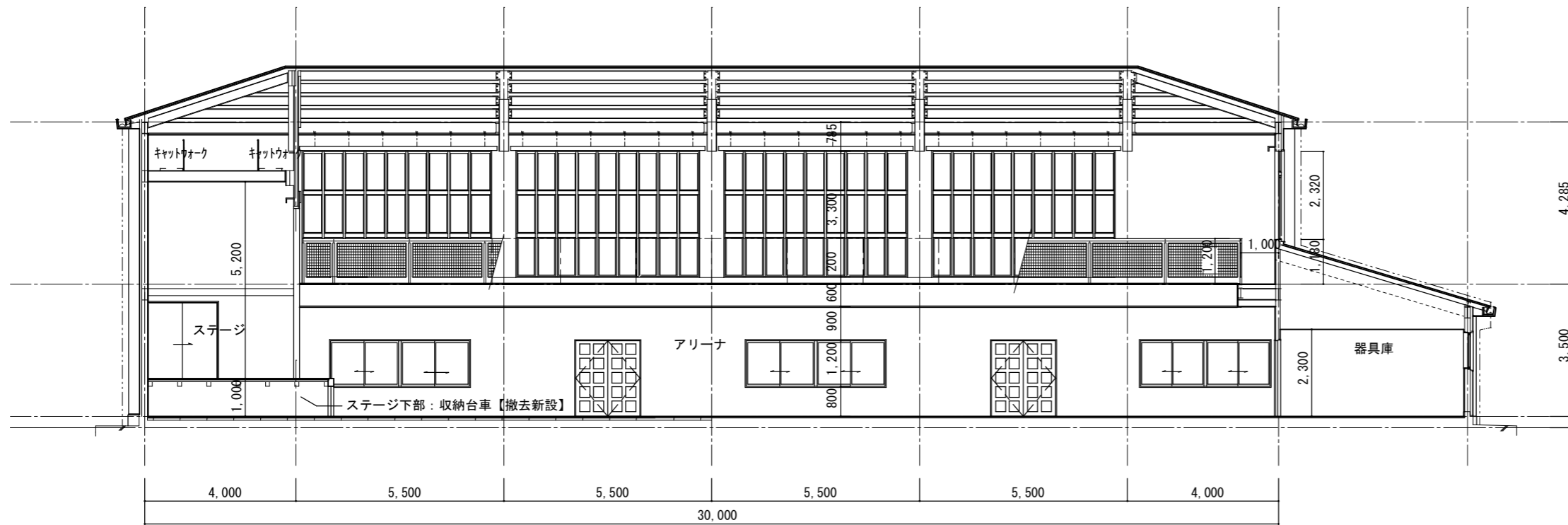
現況（撤去）

改修後

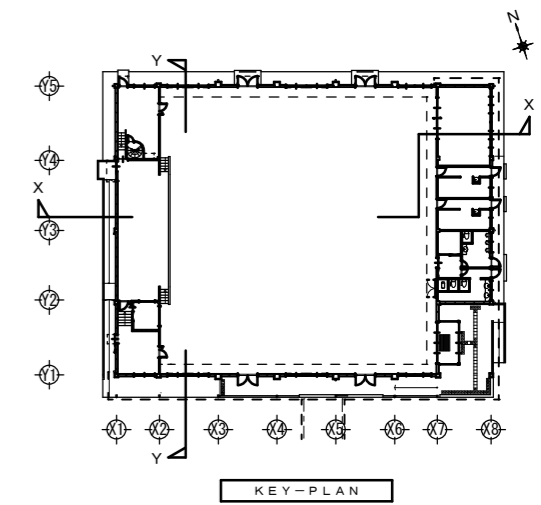
訂 正	BCY'S	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝 義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況（撤去）、改修後 立面図(2)	SCALE 1:100 (A2)	A No. 21
	株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ			DATE			



Y-Y 断面図 1:100

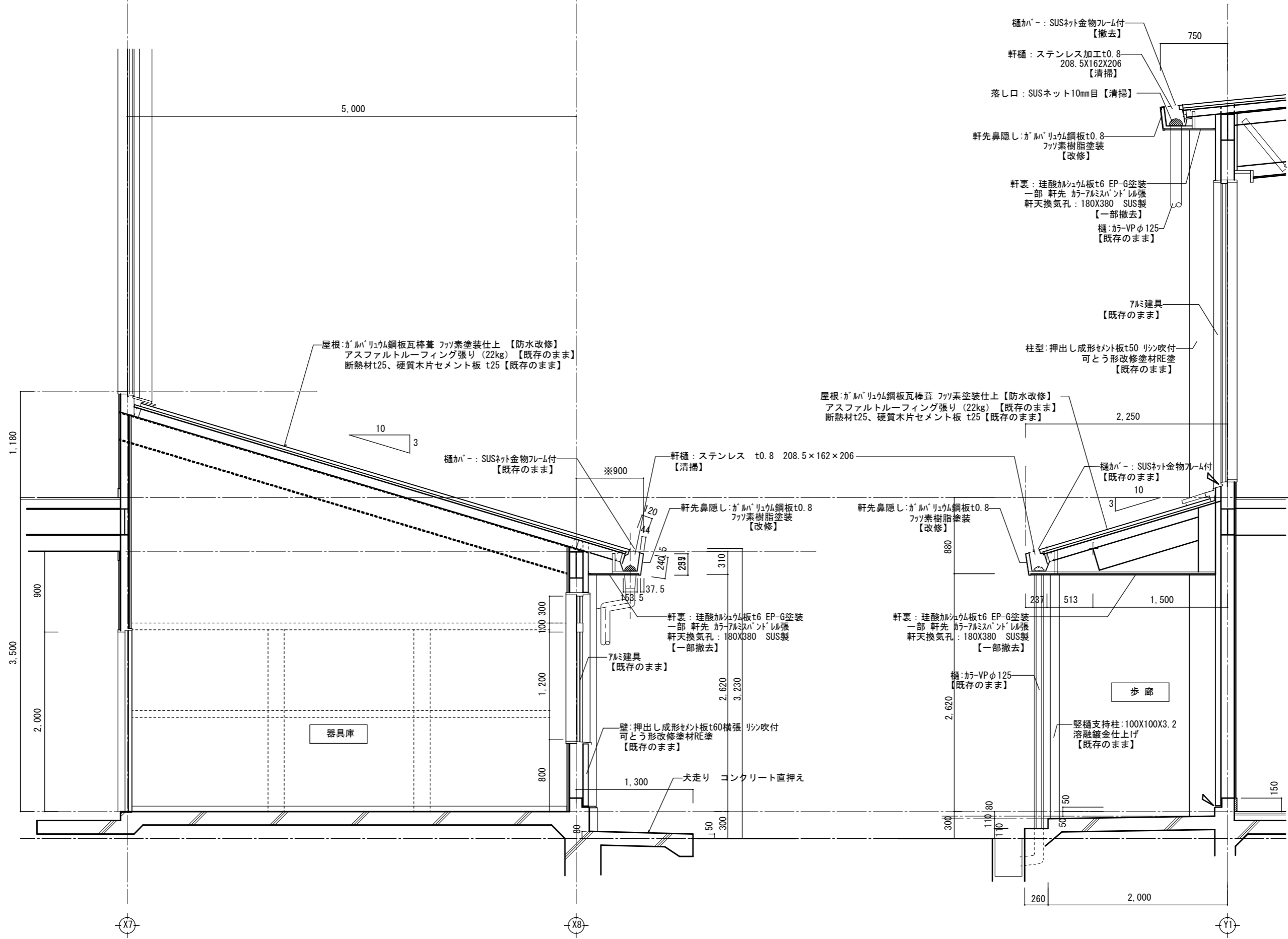


X-X 断面図 1:100



参 考 図

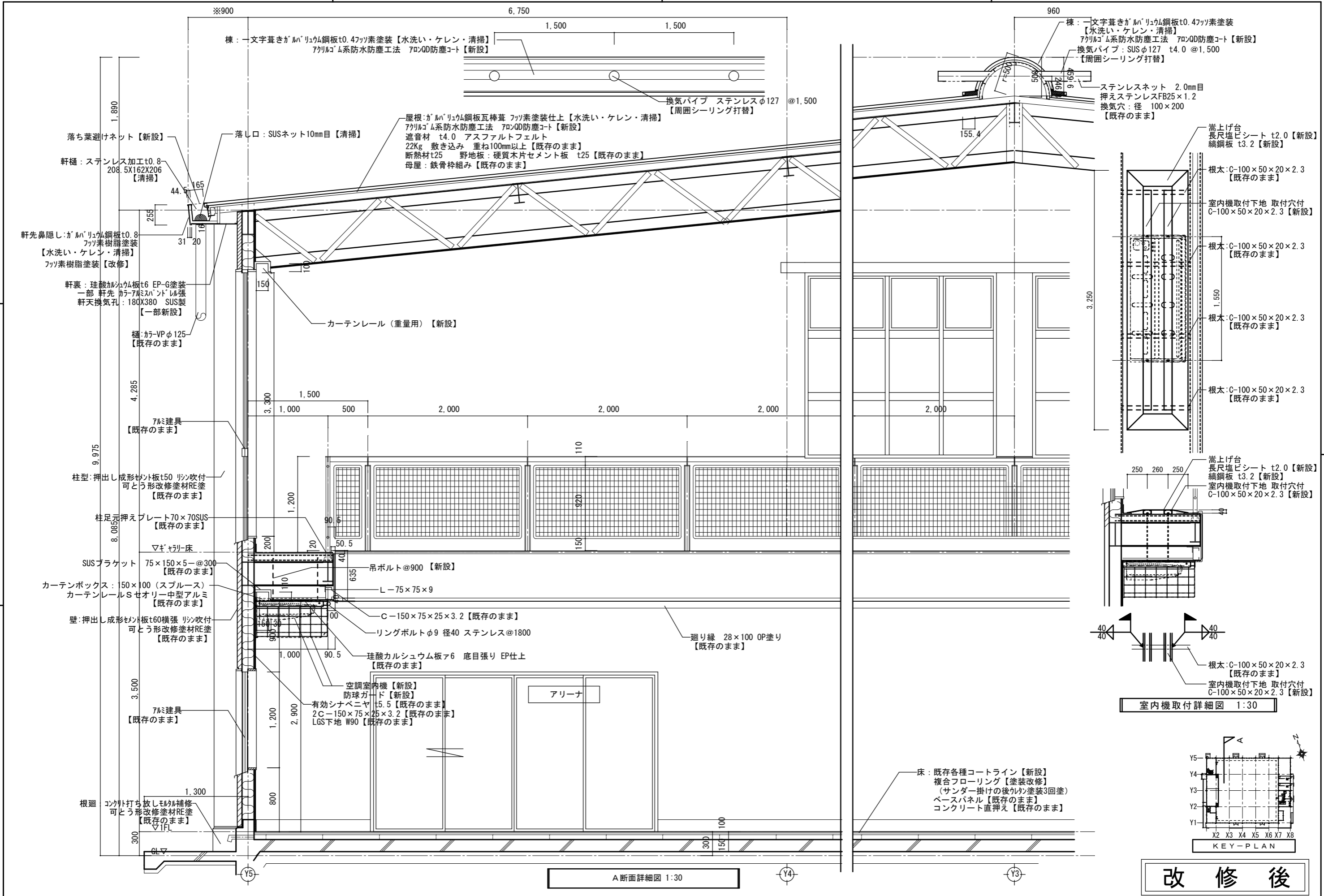
訂 正	・	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	参考図	SCALE	A
	・			断面図		1:100 (A2)	No.	
	・							22
	・				DATE			



B断面詳細図 1:30

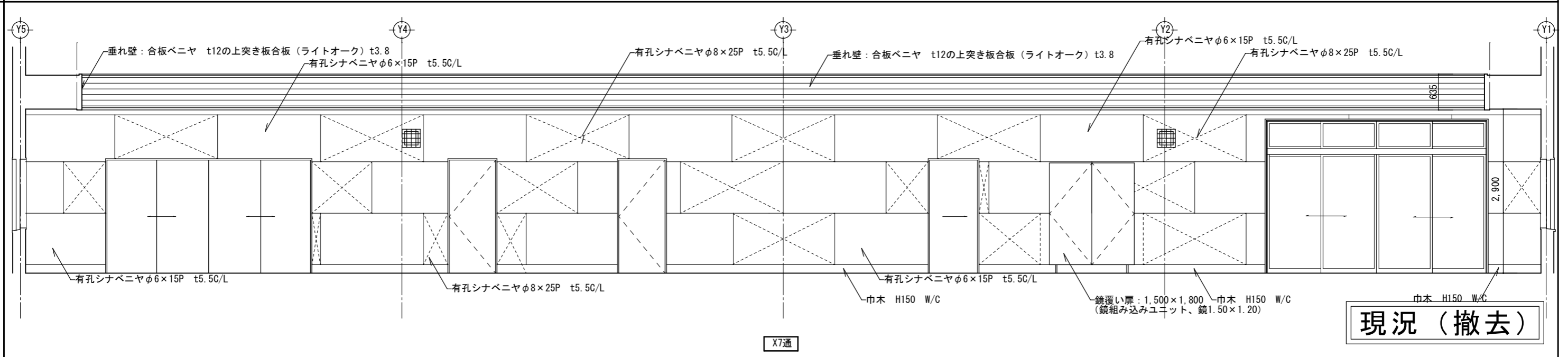
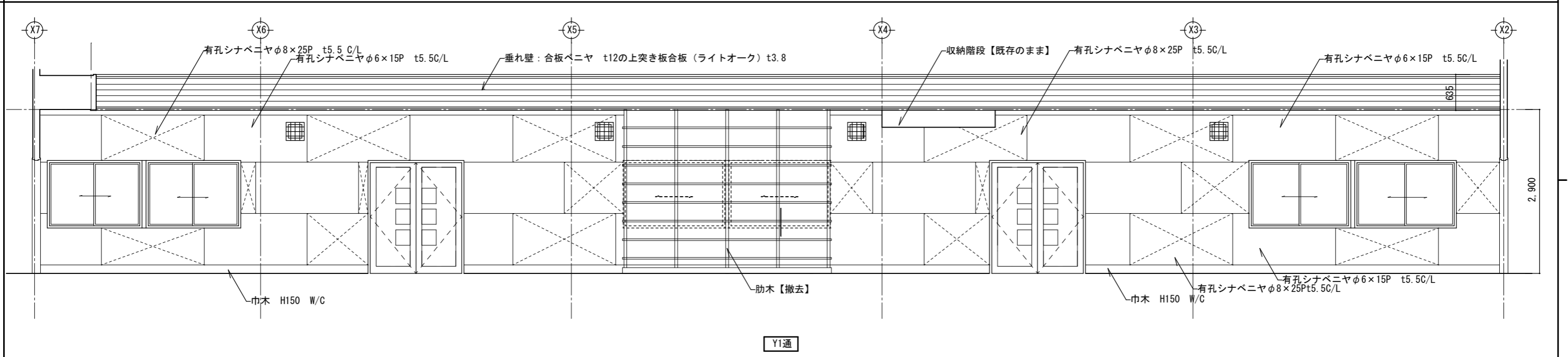
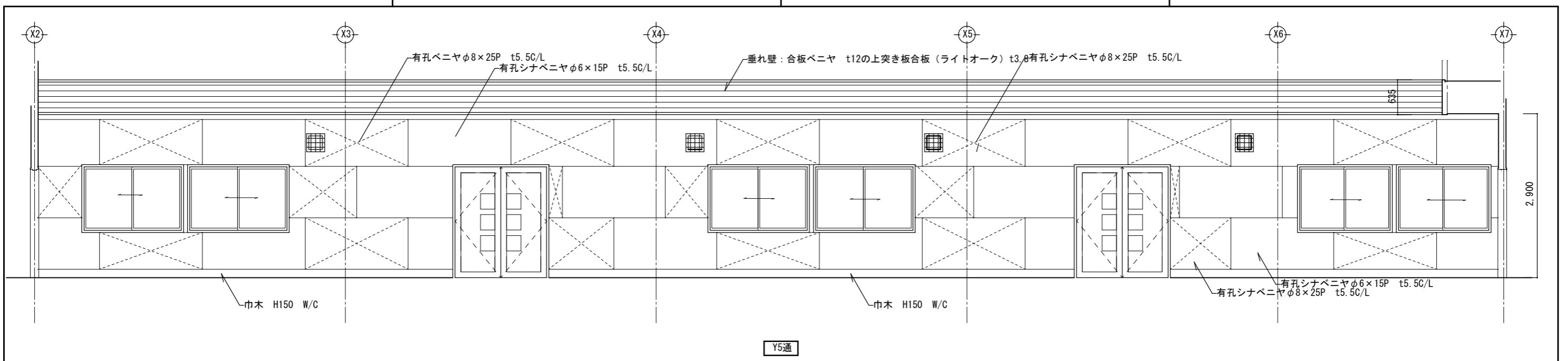
現況 (撤去)

訂	・	BCY'S	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)	SCALE	A
	正					株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	断面詳細図 (2)	1:30 (A2)
						DATE		



改修後

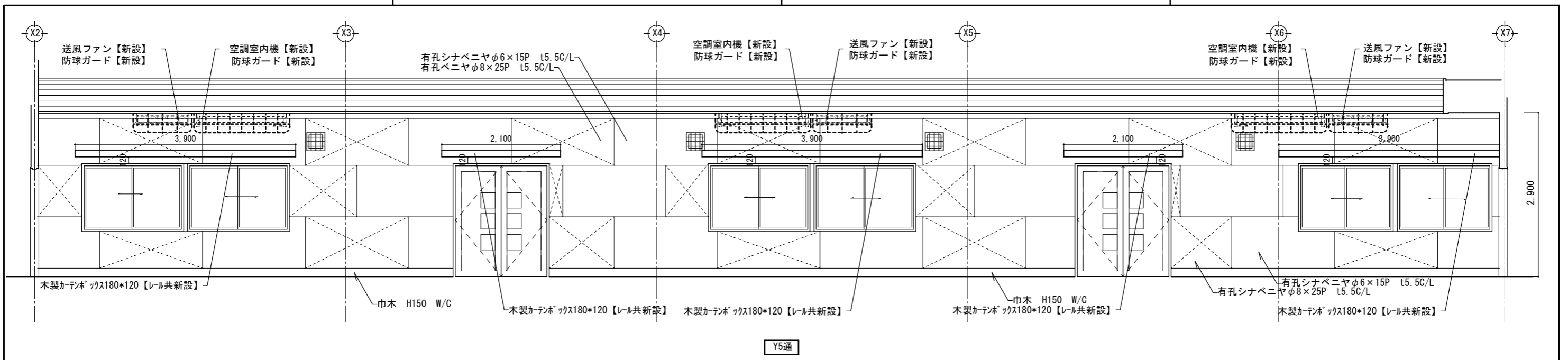
訂	・	BCY'S	一級建築士事務所	FILE No.	工事名	改修	SCALE	A
正	・	株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士登録第 204199 号		菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	断面詳細図(1)	1:30 (A2)	No.
	・		山本 勝義					25
	・				DATE			



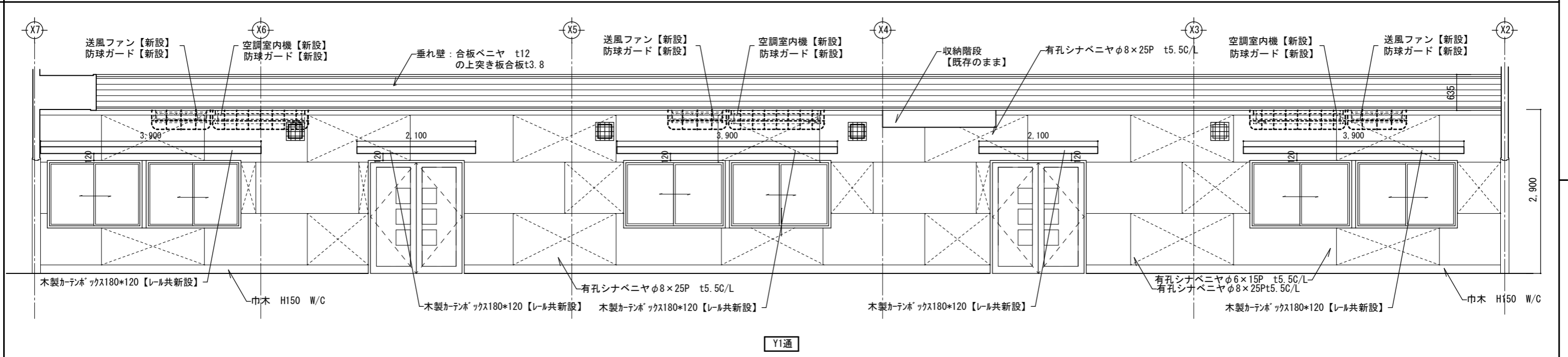
訂	・			FILE No.	工事名	現況（撤去）	SCALE	A
正	・				菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	展開図	1 : 50 (A2)	No.
	・							27
	・				DATE			

BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

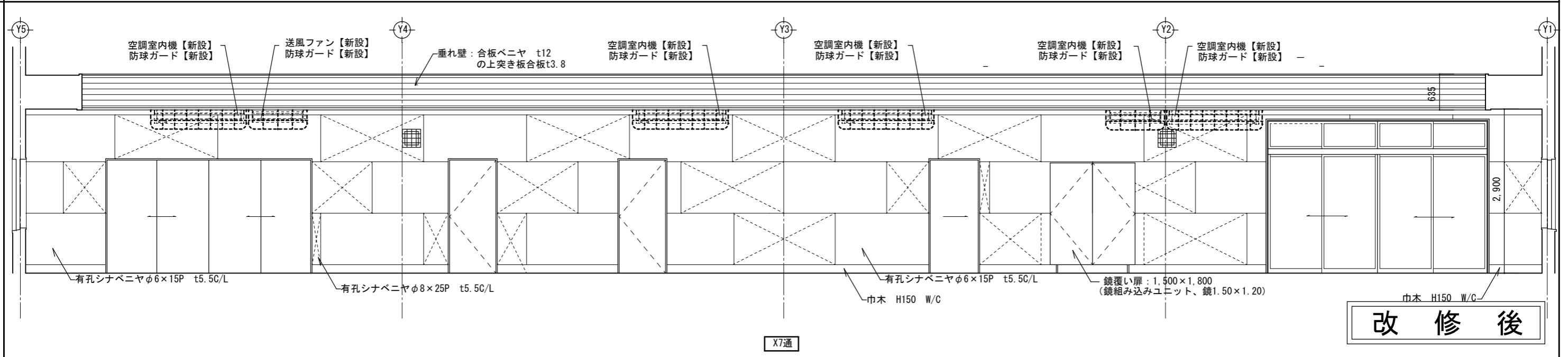
一級建築士事務所
 一級建築士登録第 204199 号
 山本 勝義



Y5通

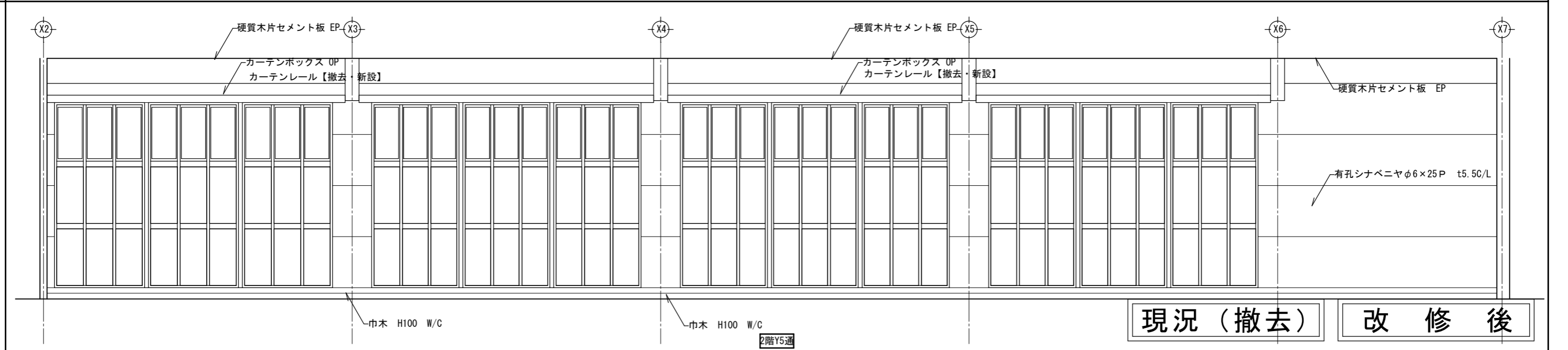
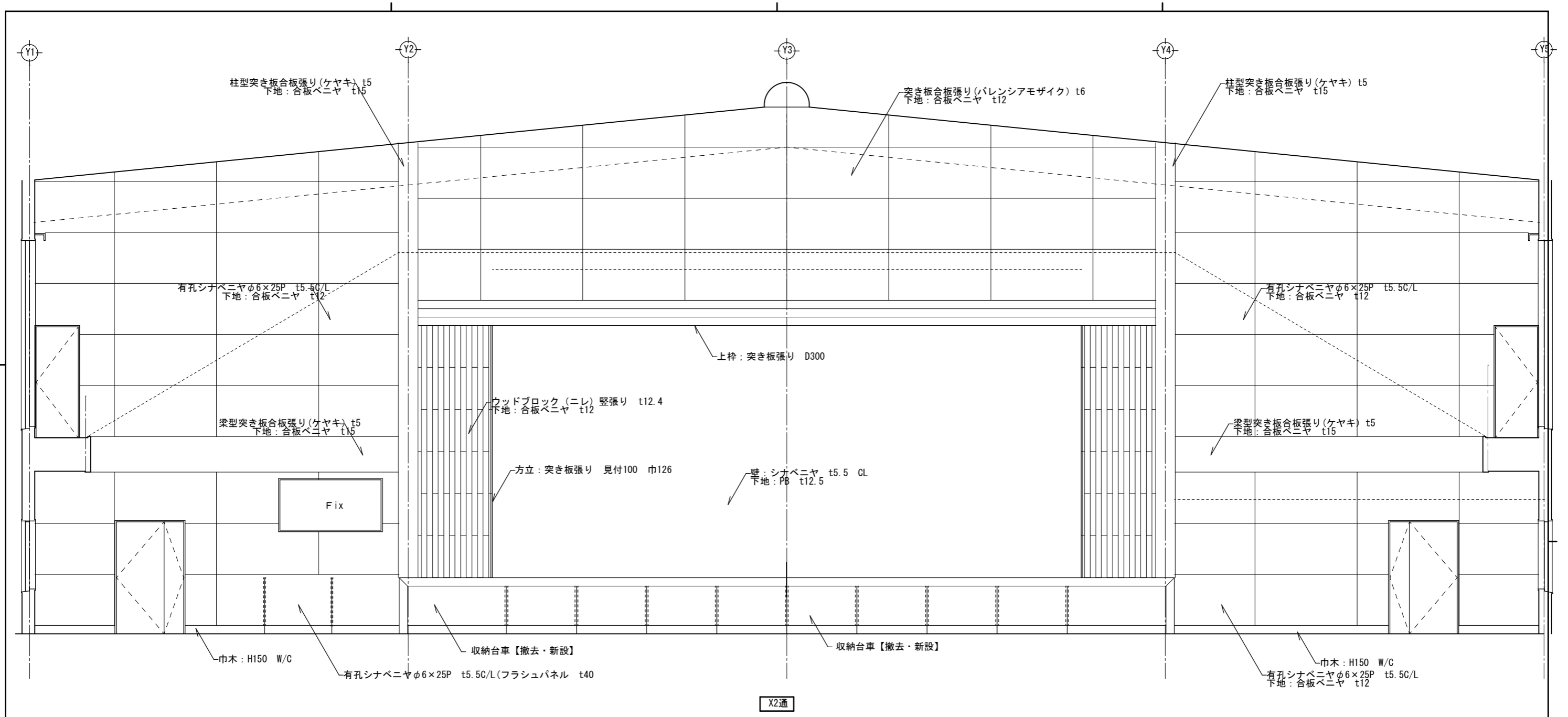


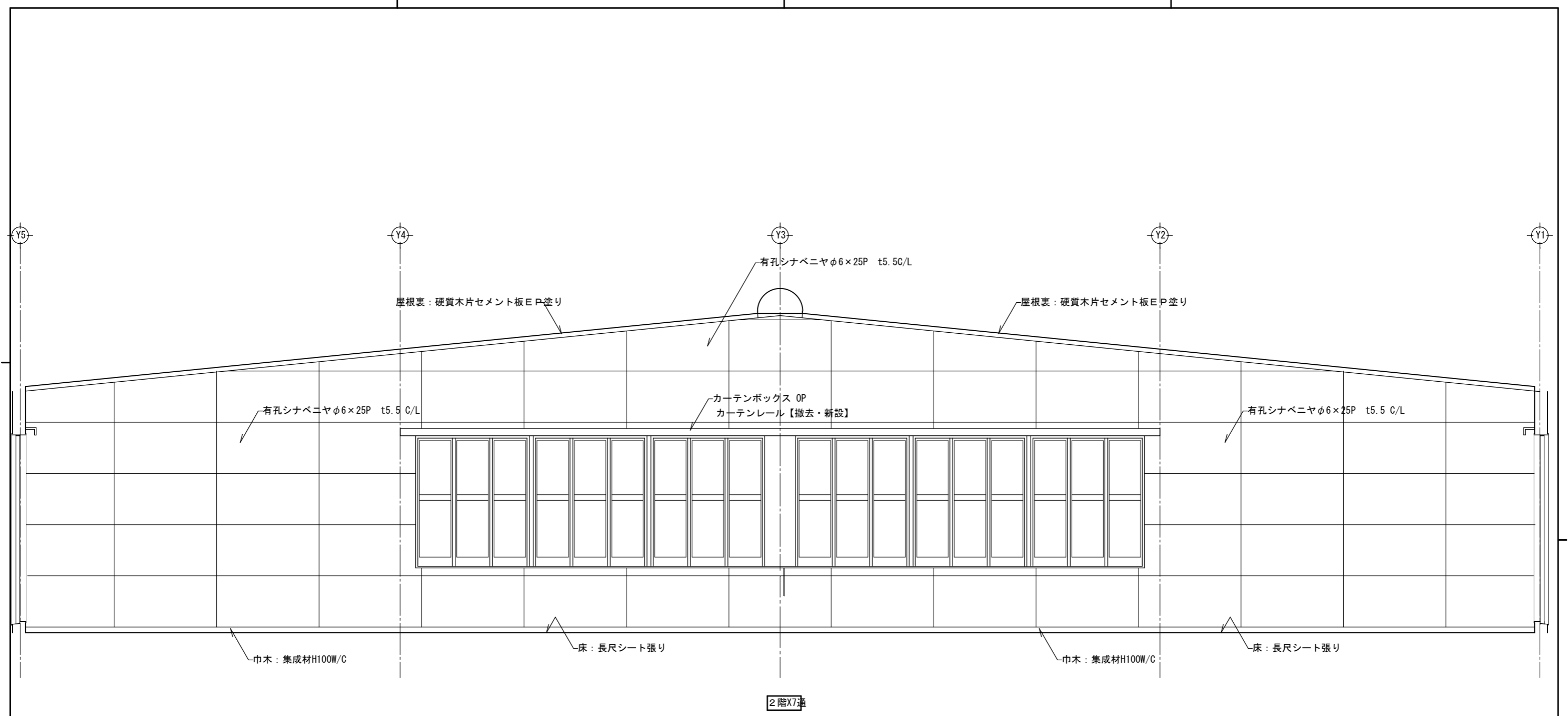
Y1通



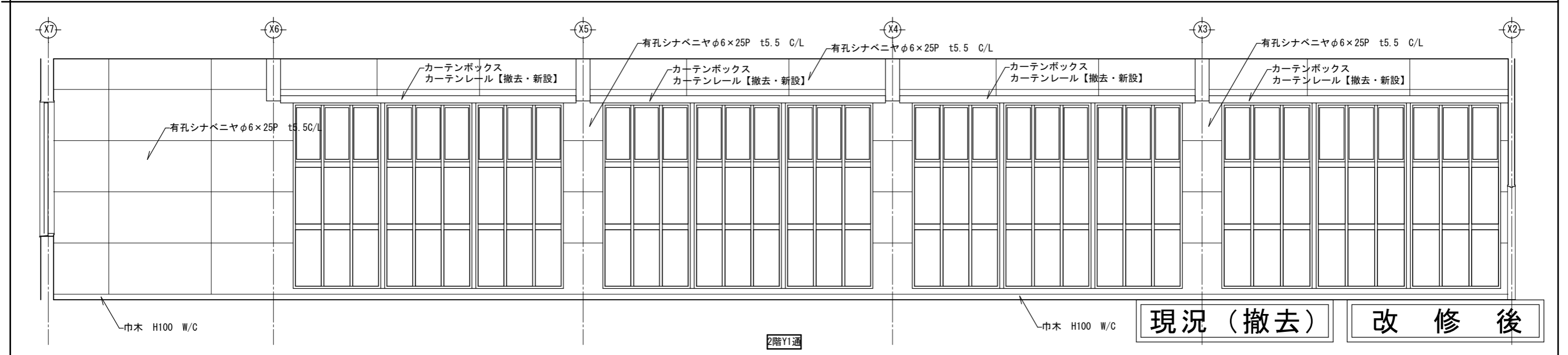
X7通

改修後





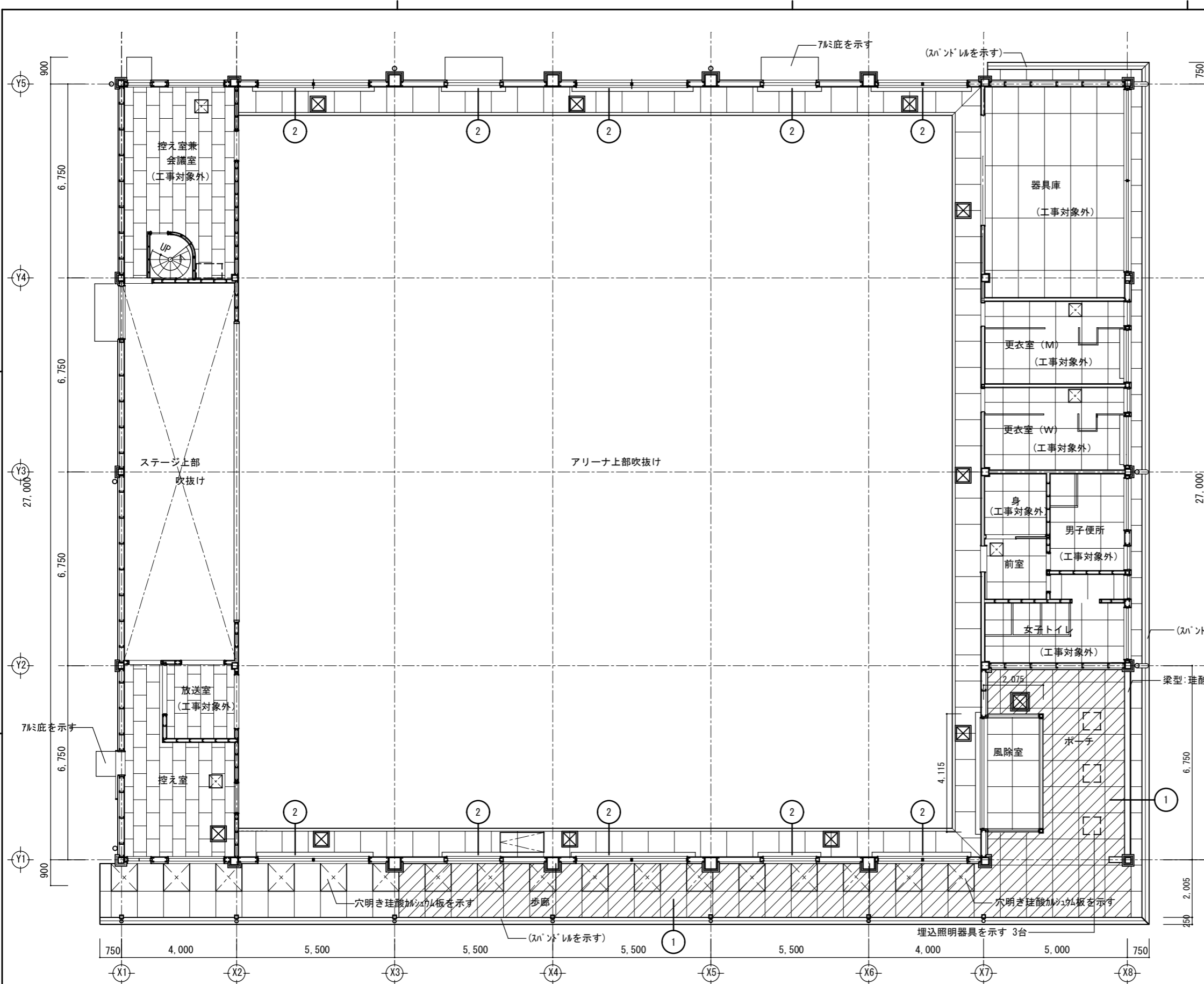
2階Y7通



2階Y1通

現況（撤去）

改修後



天井仕上凡例		改修内容
①	軒裏：珪酸カルシウム板 EP-G塗装 【LGS下地既存のまま】	【一部撤去・新設】
②	カーテンボックス：150×100（スプルース）	【既存のまま】
⊗	1階 穴明き珪酸カルシウム板 76mm底目張り EP-G塗装 不燃紙裏打ち	【一部撤去・新設】
⊗	2階軒天換気孔：ステンレス製 180×380	【既存のまま】
▨	天井改修範囲を示す	
⊠	アルミ製 天井点検口 450×450	【新設】
⊠	アルミ製 天井点検口 450×450	【撤去・新設】

現況（撤去）

改修後

1階 天井伏図 1:100

訂	正	
---	---	--

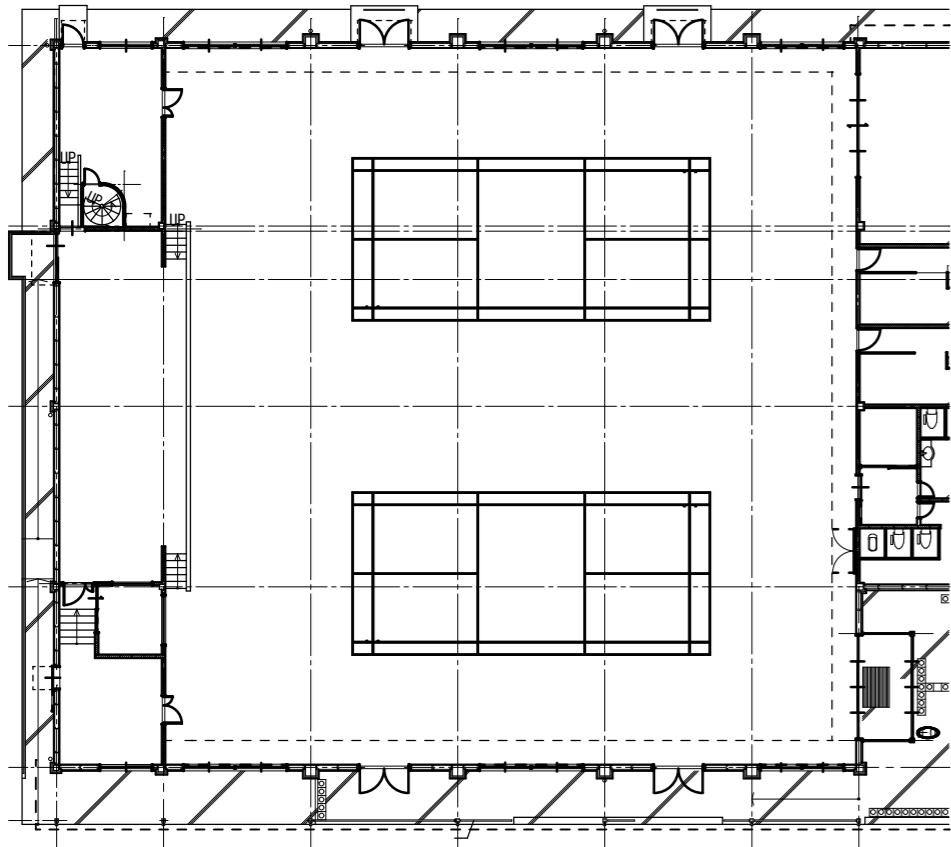
BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
 一級建築士事務所
 一級建築士登録第 204199 号
 山本 勝義

FILE No.	
工事名	菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事

現況（撤去）、改修後	SCALE	A
1階 天井伏図	1:100 (A2)	No.
		31

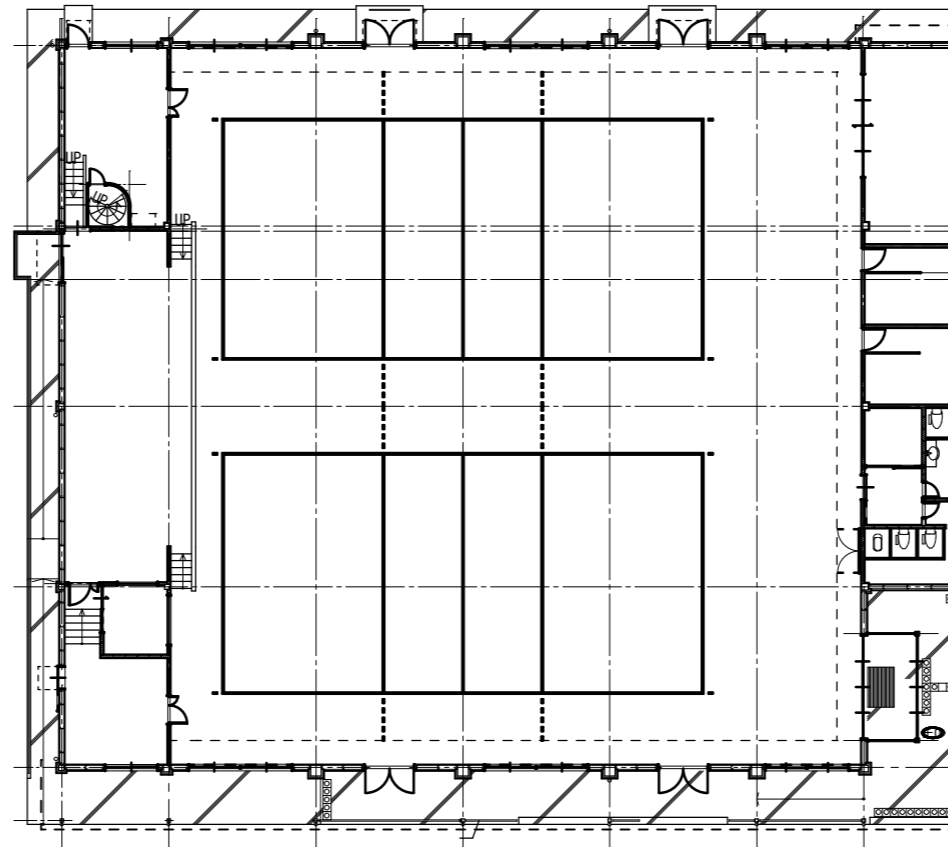
DATE

バドミントンコート



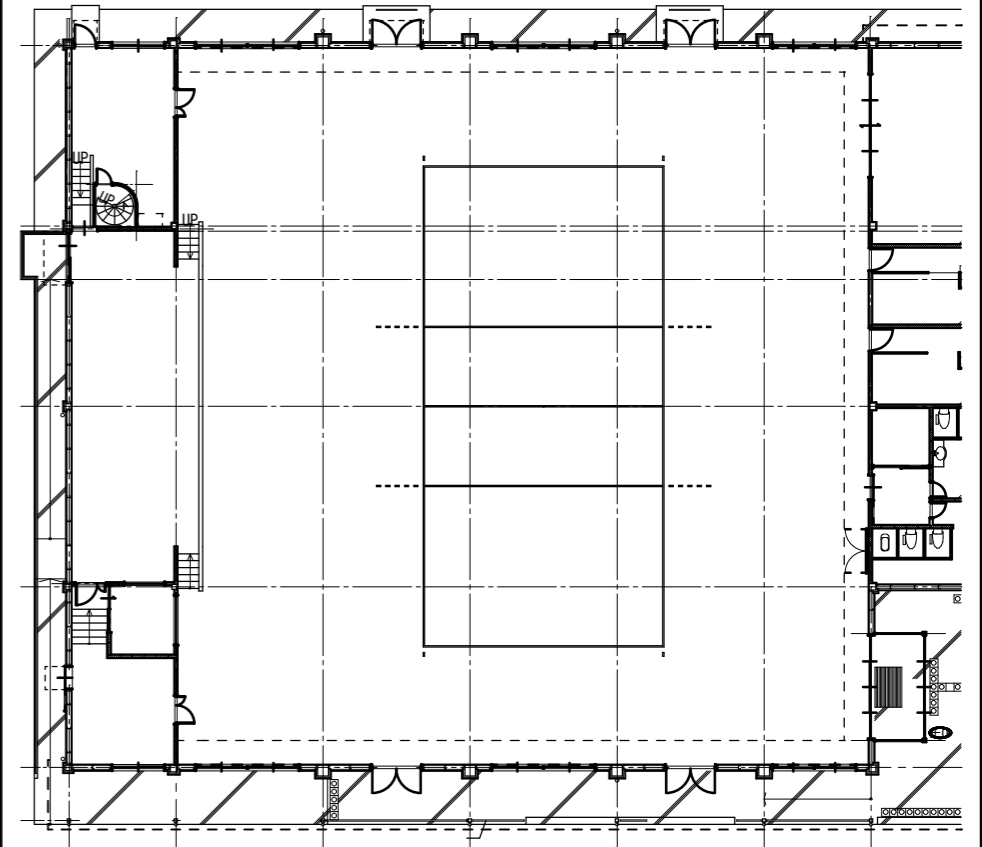
コートライン 配置図 1:200

バレーコート①



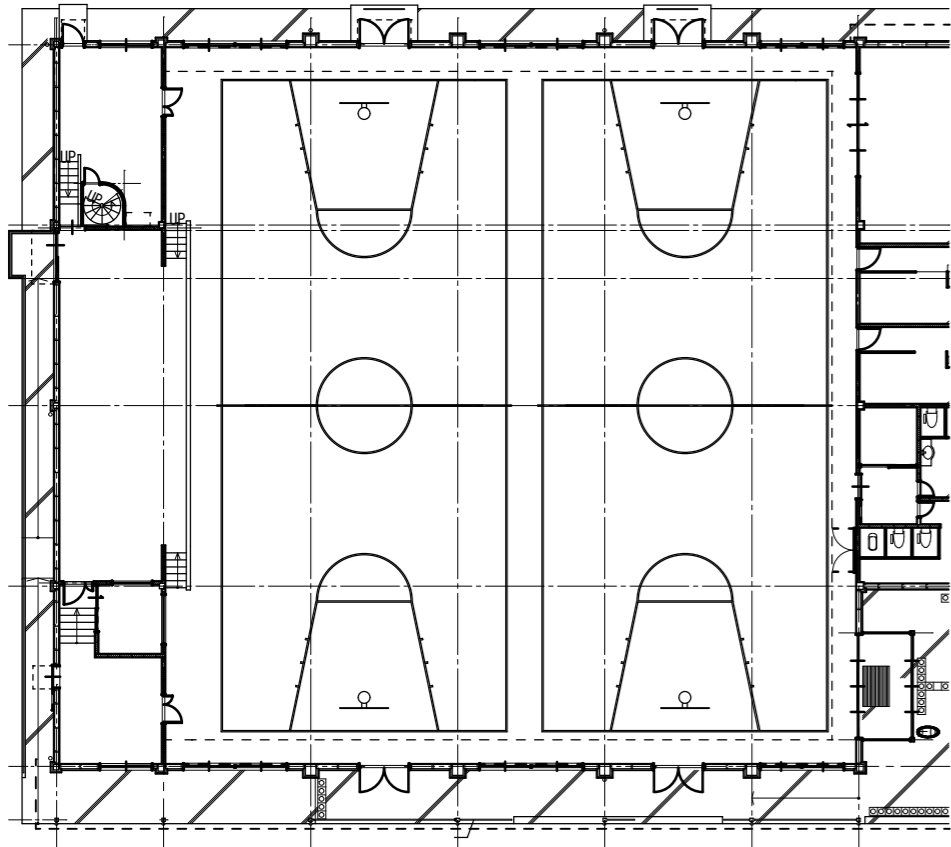
コートライン 配置図 1:200

バレーコート②



コートライン 配置図 1:200

バスケットボールコート



コートライン 配置図 1:200

コートライン一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
	SL212	2面	ミニバスケットボールコート 24,300×10,600 (内寸法)	実線	50mm	50mm
	SL213	1面	バレーボールコート (6人制) (外寸法) 18,000×9,000	実線	50mm	50mm
	SL213	2面	バレーボールコート (6人制) (外寸法) 18,000×9,000	実線	50mm	50mm
	SL215	2面	バドミントンコート (外寸法) 13,400×6,100	実線	40mm	40mm

※(サブ)ミニバスケットコート フリースローライン フリースローレーンはバスケットボードに合わせること
優先順位・ライン色は、監督職員に確認すること

現況 (撤去)

改修後

訂	・	
正	・	

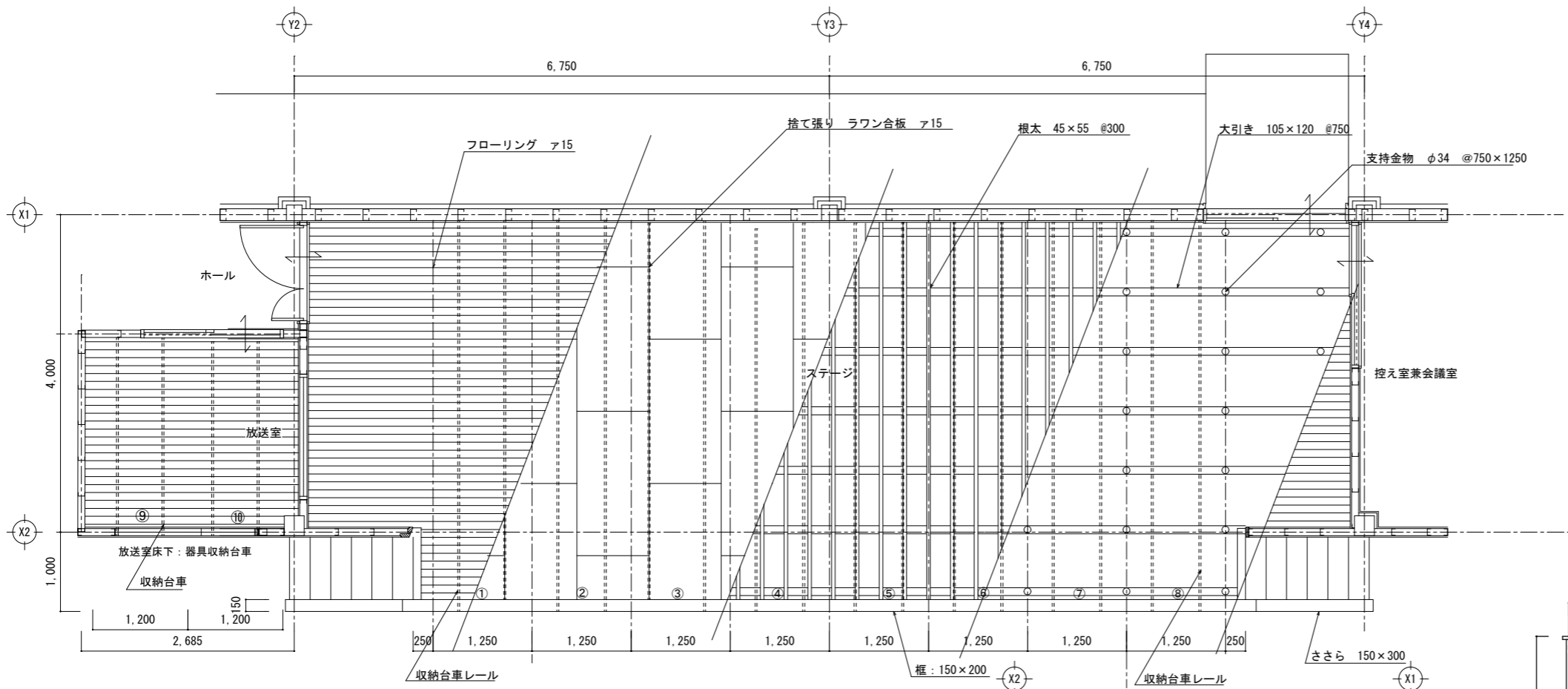
BCY'S
建築事務所
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

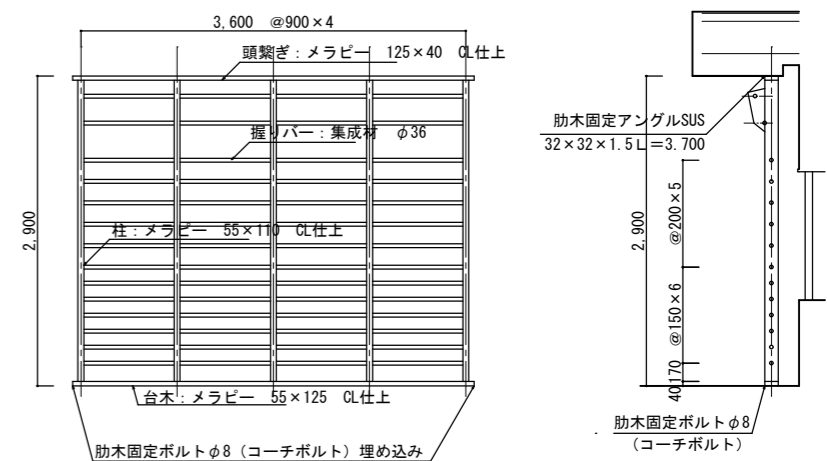
FILE No.	
工事名	菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事
DATE	

菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事

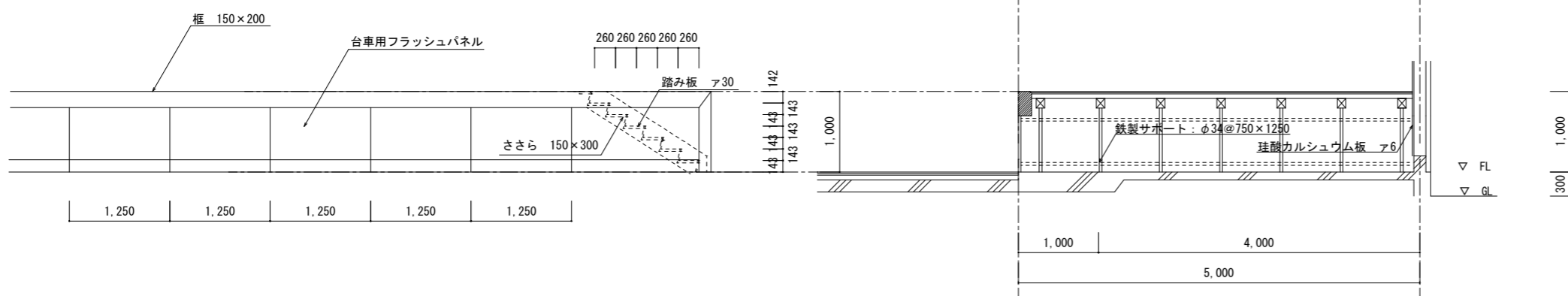
現況 (撤去)、改修後	SCALE	A
コートライン 配置図	1:200 (A2)	No.
		33



ステージ詳細図 1 : 100



肋木詳細図 1 : 50

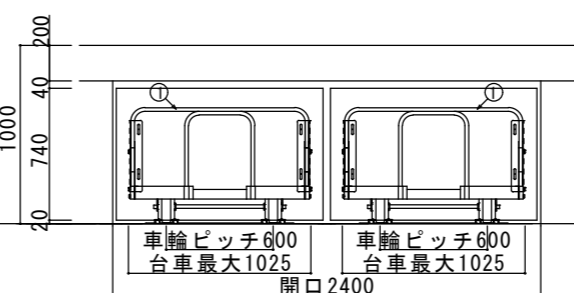
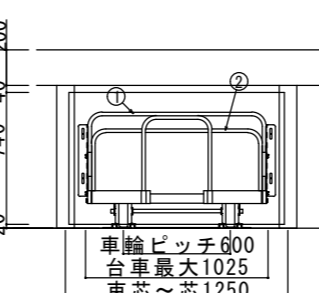
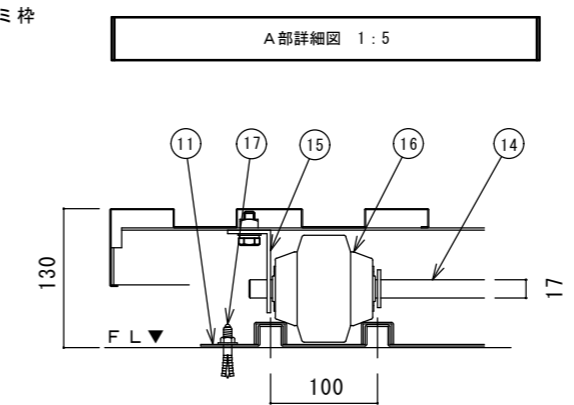
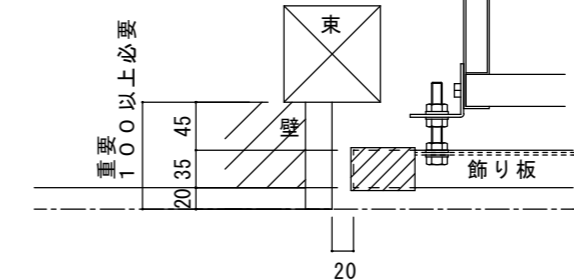
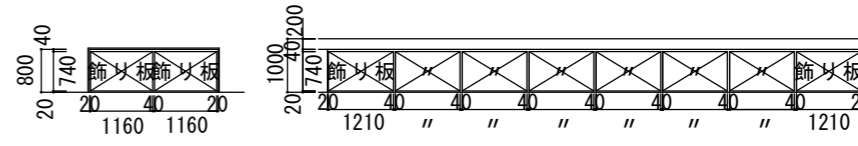
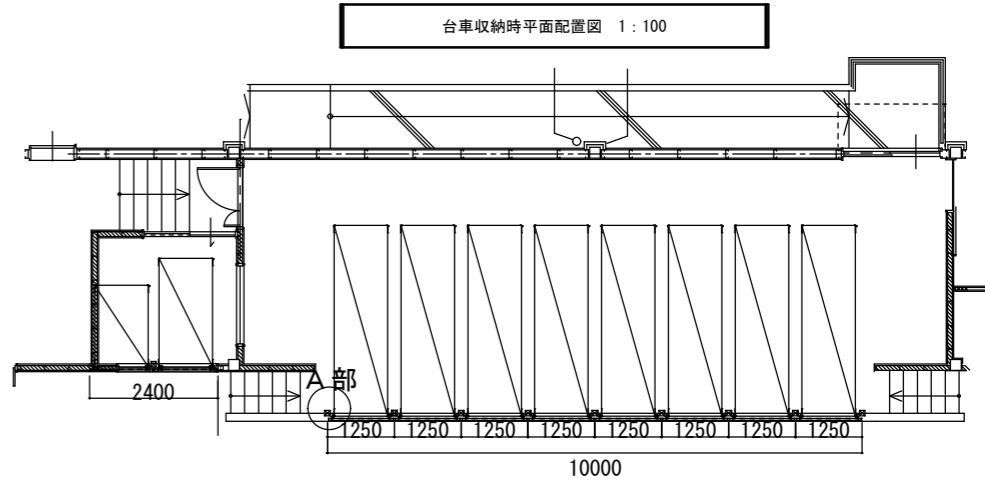
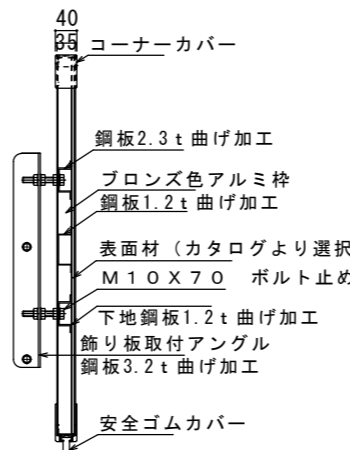
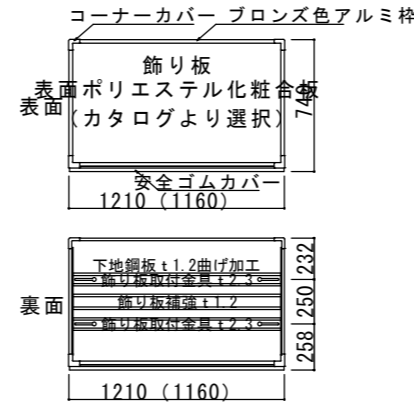
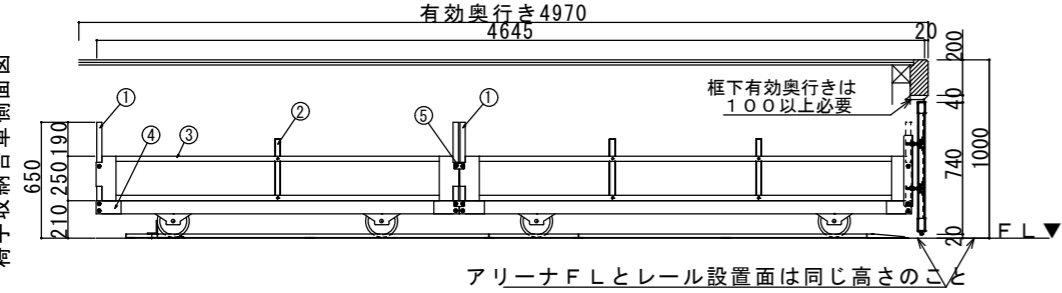
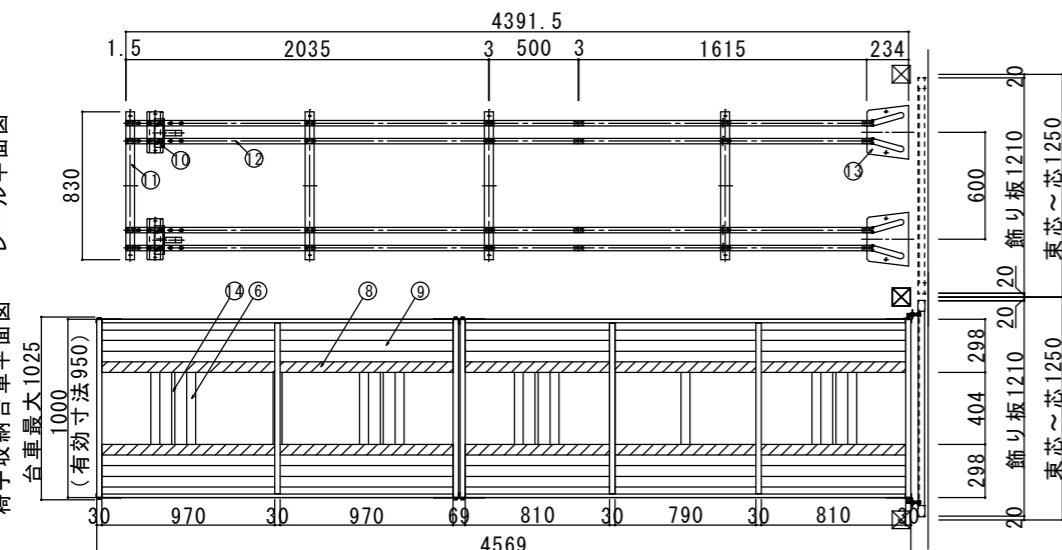
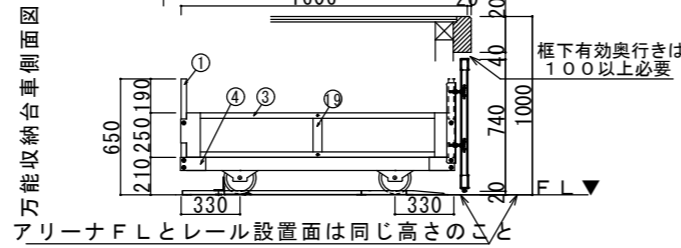
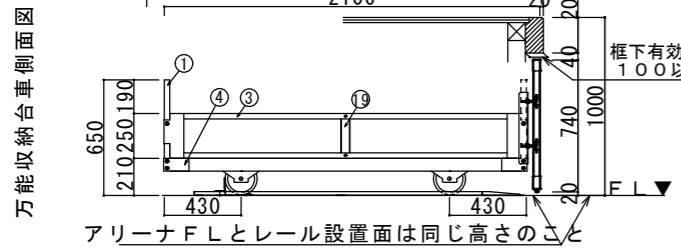
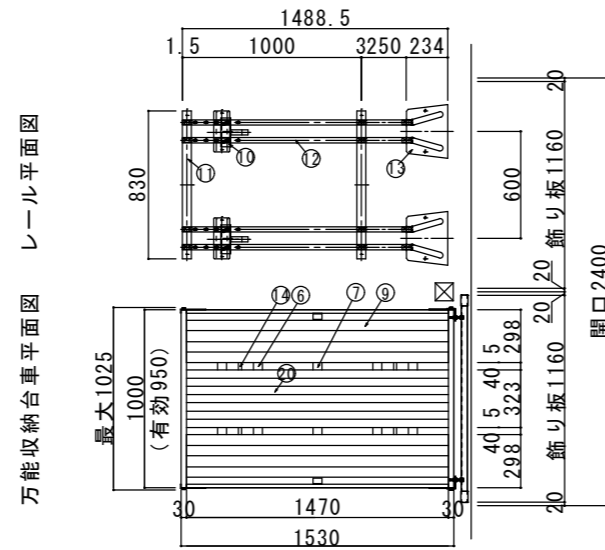
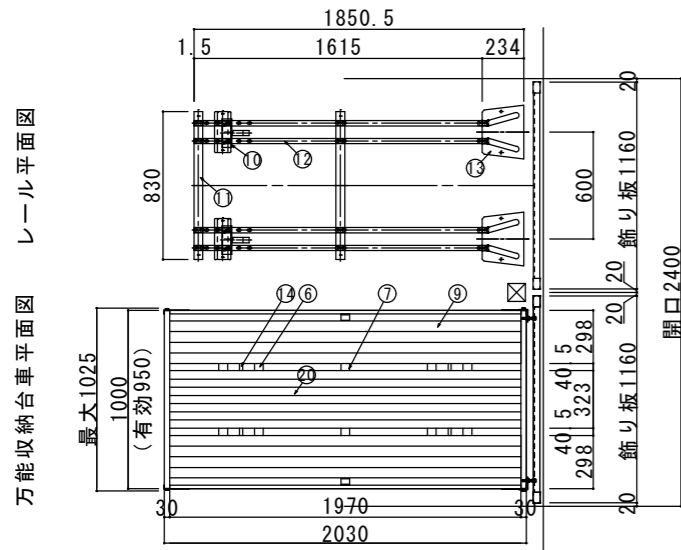


ステージ断面図 1 : 100

※ステージ下部収納台車・肋木【本体・金物共全て撤去】

現況（撤去）

訂正	・	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 菟道小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況（撤去）	SCALE	A
	・			DATE		ステージ詳細図 ステージ断面図 肋木詳細図	1 : 50 (A2) 1 : 50 (A2) 1 : 50 (A2)	No. 34



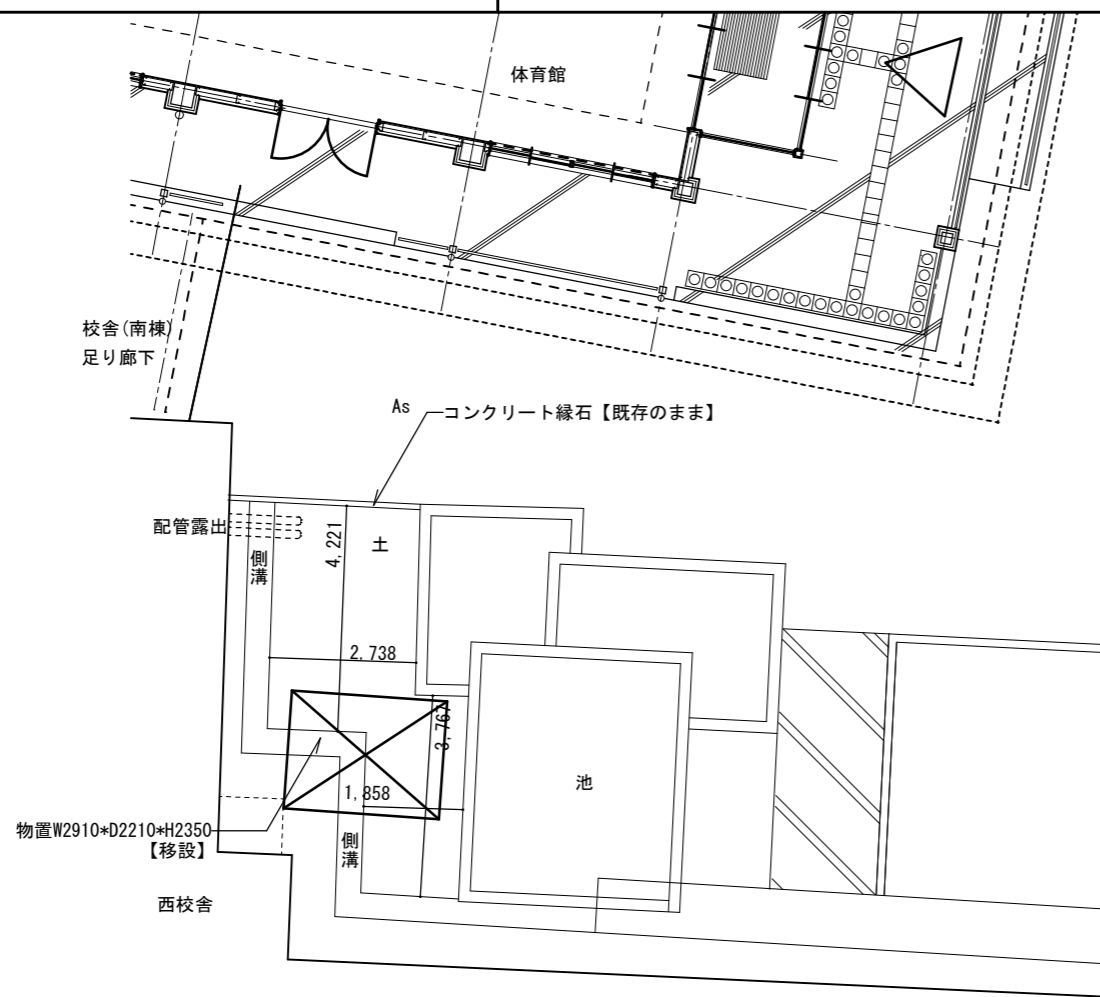
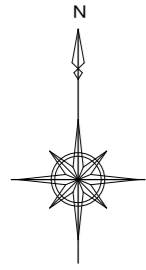
- 仕様
- MTトラック 椅子収納台車 8ピット8台
寸法 W1000×L4500×H650
 - MTトラック 万能収納台車 2ピット2台
寸法 W1000×L1500×H650 1ピット1台
寸法 W1000×L2000×H650 1ピット1台
 - 飾り板 10ピット10枚

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押し手	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
3	サイド枠	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結PLT1	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車軸	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面ポリエステル化粧合板 (カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付
19	サイド枠倒れ止	鋼材 4.5t	亜鉛メッキ
20	中床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
21	連結PLT2	鋼板 2.3t	黒色焼付
22	パイプ	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ

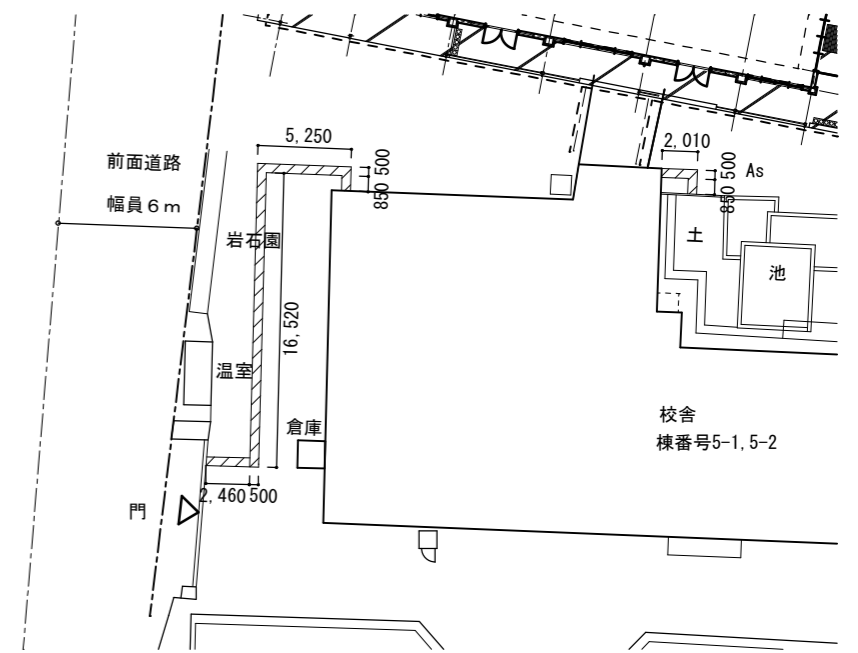
収納台車詳細図 1:30

台車正面図 1:30

改修後

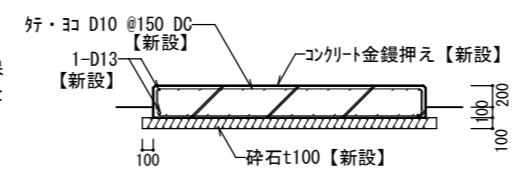
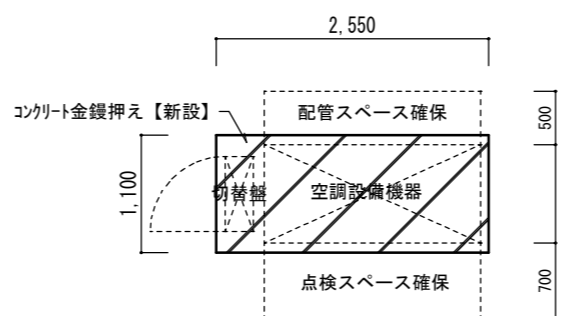
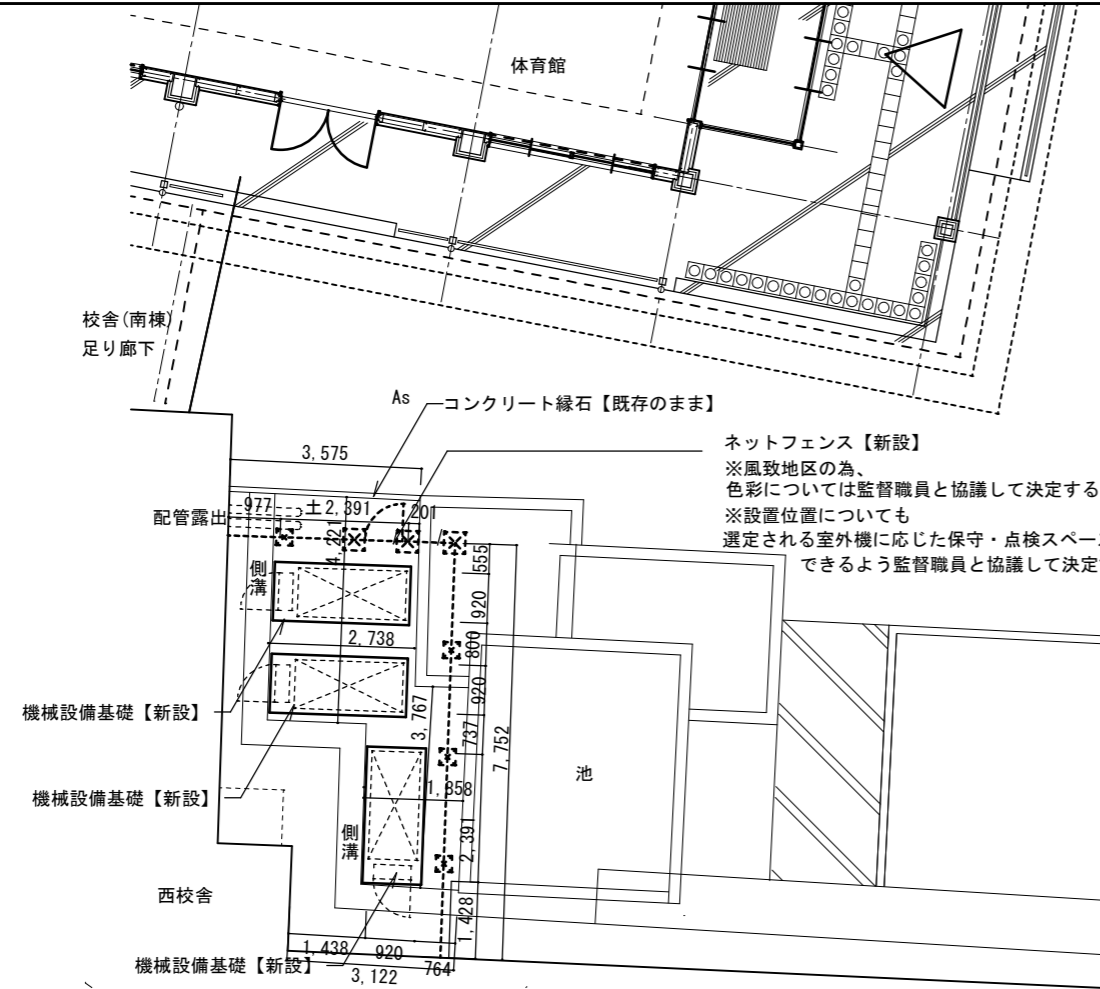
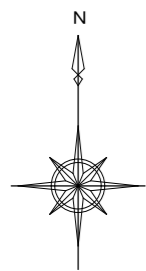


外構配置図 1:100



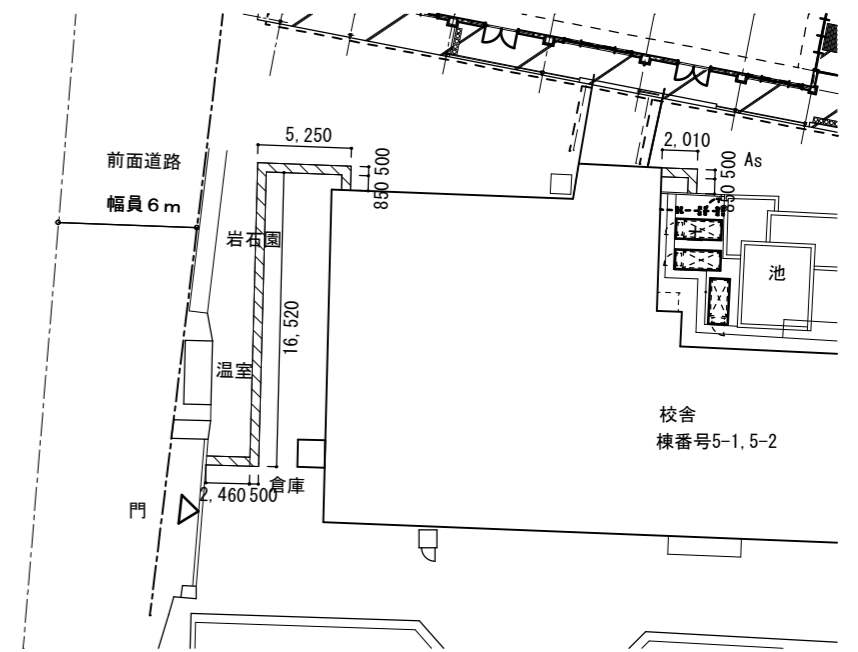
■凡例
 〰️ As撤去範囲を示す

現況 (撤去)



※ 最終のサイズ決定は、設備工事と調整を行うこと。
 ※ 設備工事の樹取付後のコンクリート部補修 (4カ所)

機械設備基礎詳細図 1:50



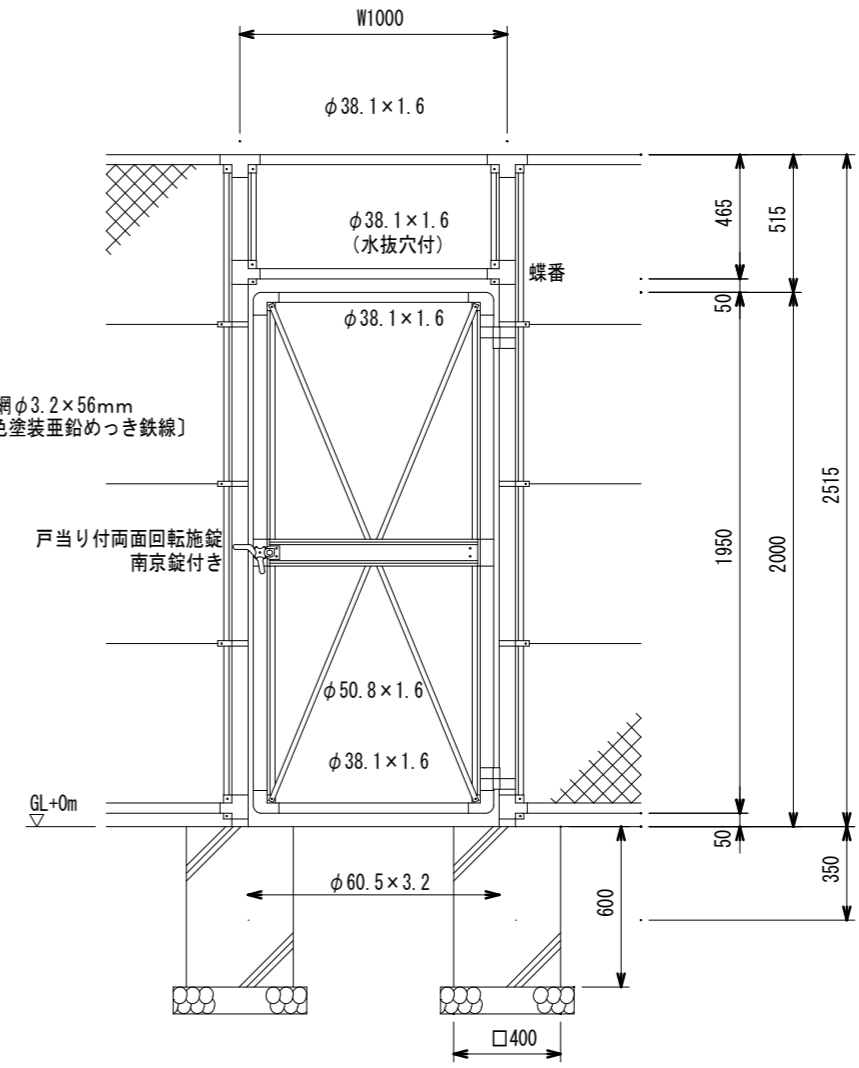
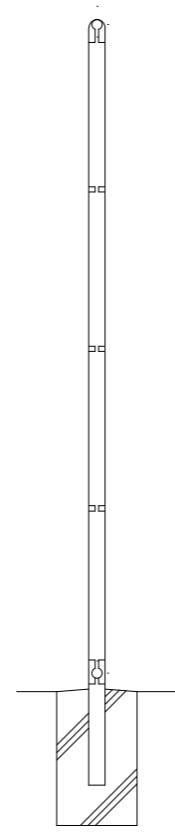
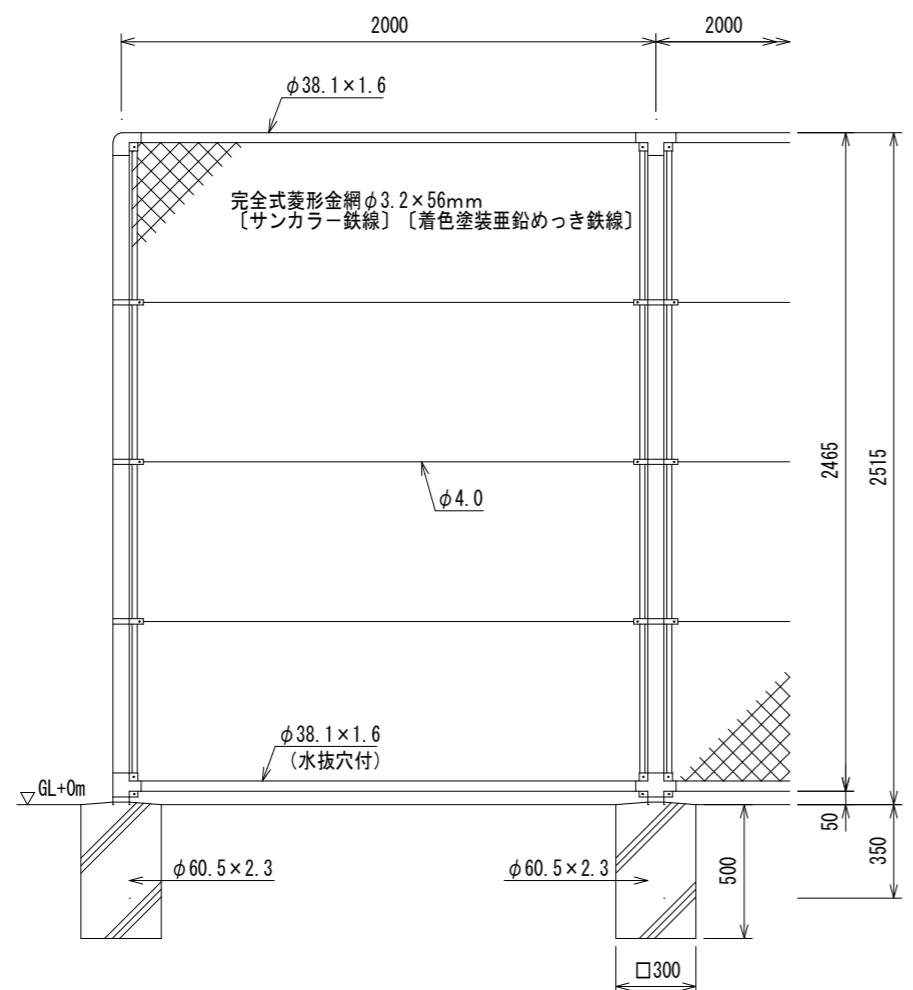
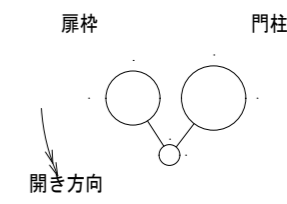
■凡例
 〰️ As舗装新設範囲を示す

改修後

外構配置図 1:300

※ 設備工事の樹取付後のコンクリート部補修 (4カ所)

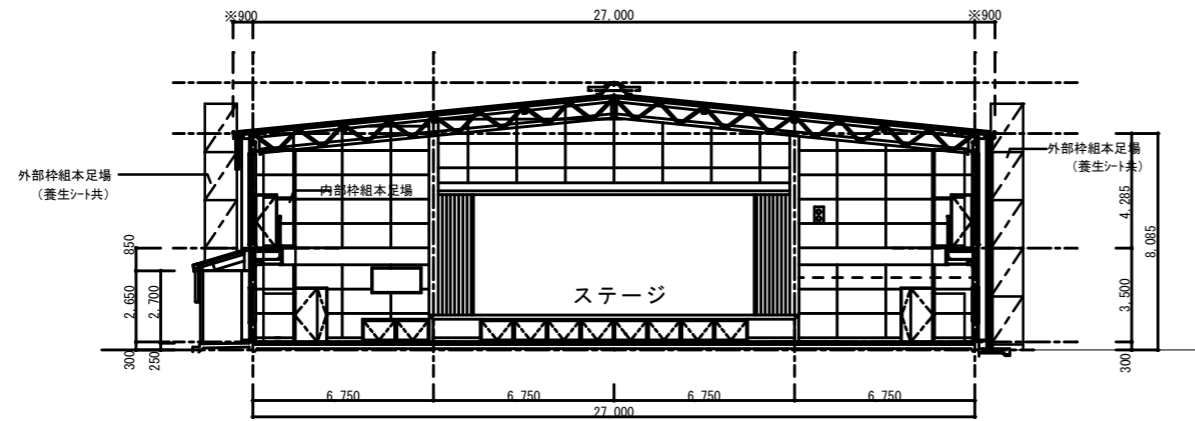
門柱・扉枠位置関係図



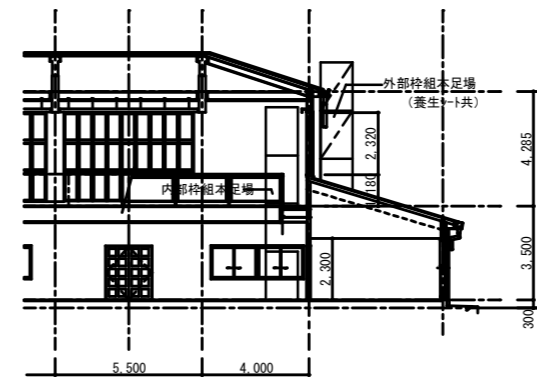
※ 朝日スチール工業 PC-A2500 同等品以上
フェンス詳細図 1:20

- 設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)
- 備考
1. 外装は金網類を除く他はめっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、施錠装置及びボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 本図門扉は片側180°開きとする。

改修後



断面図 - 1

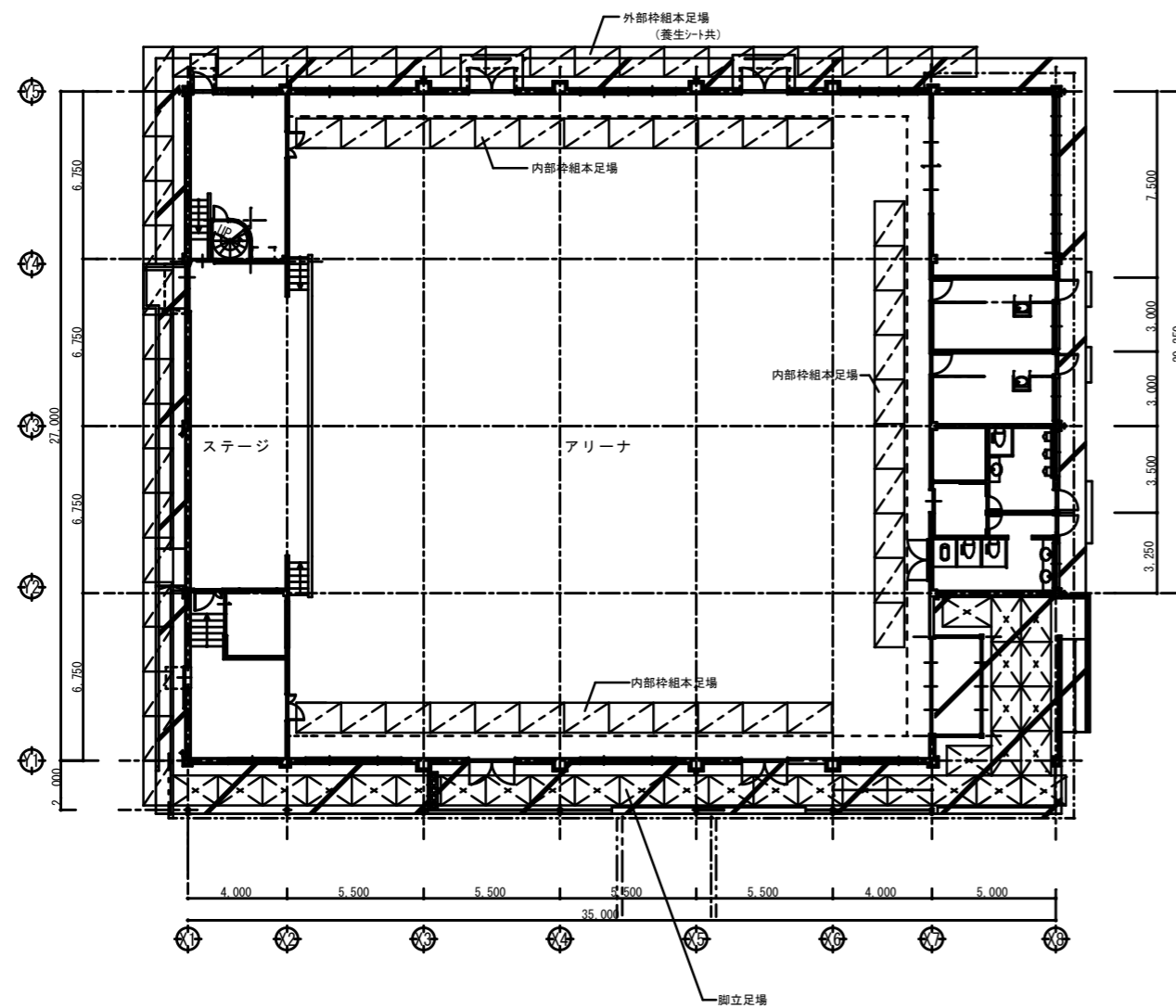


断面図 - 2

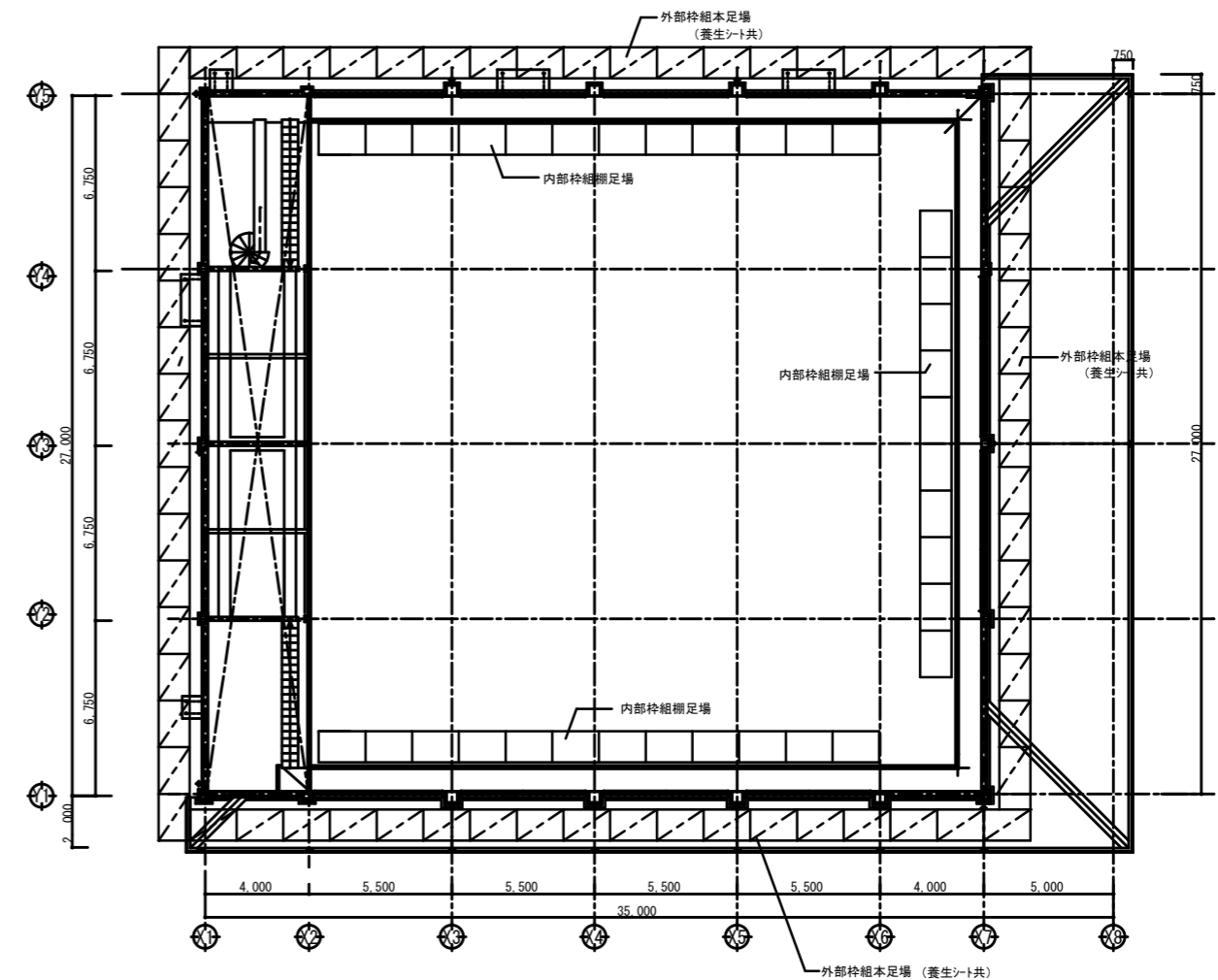
※ 凡例

- 枠組本足場 W=1200を示す(養生シート共 (防災I類))
- 枠組本足場
- 脚立足場

※アリーナ、足場設置箇所は床養生する。
(ビニルシートの上合板厚12mm)



1階平面図



上部平面図